

# 障害者福祉に関するアンケート 報告書

平成29年3月  
草津市



# 目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果概要	2
(1) 回答者属性	
(2) 日常生活での介助について	
(3) 障害の状況について	
(4) 住まいや暮らしについて	
(5) 日中活動や就労について	
(6) 障害福祉サービス等の利用状況と利用意向について	
(7) 相談相手について	
(8) 権利擁護について	
(9) 災害時の避難等について	
(10) 草津市の障害者施策について	
3. 障害当事者対象調査の結果	8
(1) 回答者属性	8
① アンケート記入者	
② 年齢	
③ 性別	
④-1 一緒に暮らしている人	
④-2 世帯人数	
⑤-1 日常生活での介助状況	
⑤-2 主に介助してくれる人	
⑤-3 介助の中心となる家族	
⑤-4 介助の中心となる家族の年齢	
⑤-5 介助の中心となる家族の健康状態	
(2) 障害の状況について	20
①-1 身体障害者手帳の所持状況	
①-2 身体障害者手帳の種類	
①-3 身体障害者手帳の主たる障害	
②-1 療育手帳の所持状況	
②-2 療育手帳の種類	
③-1 精神障害者保健福祉手帳の所持状況	

- ③-2 精神障害者保健福祉手帳の種類
- ④ 難病との診断を受けたことがあるか
- ⑤ 発達障害として診断されたことがあるか
- ⑥ 高次脳機能障害として診断されたことがあるか
- ⑦-1 医療的ケアを受けているか
- ⑦-2 現在を受けている医療的ケア

### (3) 住まいや暮らしについて

---

30

- ①-1 現在の暮らしの状況
- ①-2 入所・入院している人が将来に希望する生活
- ② 地域で生活するために、必要だと思う支援
- ③ 現在の生活で困っていることや不安に思っていること

### (4) 日中活動や就労について

---

45

- ①-1 一週間の外出頻度
- ①-2 外出時の同行者
- ①-3 外出の目的
- ②-1 外出時に困ることや、外出をとりやめたりすることはあるか
- ②-2 外出時、どのようなときに困るか、あるいは外出をとりやめるか
- ③-1 平日の日中の主な過ごし方
- ③-2 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている人の勤務形態
- ④-1 就労意欲
- ④-2 就労意欲のある人の就労状況
- ⑤ 職業訓練の受講意向
- ⑥-1 障害者の就労支援として必要だと思うこと
- ⑥-2 就労意欲はあるが、就労していない人が障害者の就労支援として必要だと思うこと
- ⑦-1 病院関係で困っていること
- ⑦-2 病院関係でどのようなことに困っているか

### (5) 障害福祉サービス等利用について

---

54

- ①-1 障害支援区分認定の状況
- ①-2 障害支援区分認定の種類
- ②-1 要介護認定の状況
- ②-2 要介護認定の種類
- ③ 障害福祉サービスの利用状況
- ④ 障害福祉サービスの利用意向

---

(6) 相談相手について 70

---

- ① 悩みや困ったことを相談する相手
- ② 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手方法

---

(7) 権利擁護について 72

---

- ①-1 障害により差別を受けた、または嫌な思いをした経験
- ①-2 差別を受けたり、嫌な思いをした場所
- ② 草津市民の障害者に対する理解について
- ③ 成年後見人制度の認知

---

(8) 災害時の避難等について 74

---

- ① 災害時の一人で避難できるか
- ② 近所に助けてくれる人はいるか
- ③ 災害時、障害があることで困ること、心配なこと

---

(9) 草津市の障害者施策について 88

---

- ① 各施策についての満足度
- ② 各施策についての重要度

---

(10) 自由記述 96

---

4. 市民対象調査の結果	98
--------------	----

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 普段、障害のある人とどのような関わりがあるか
- ④ 草津市の生活環境は障害のある人にとって使いやすいものだと思うか
- ⑤ 草津市は偏見や差別のないまちだと思うか
- ⑥ 草津市の障害者福祉についての認知度
- ⑦ 障害者福祉の用語についての認知度
- ⑧ 障害のある人々に関わるボランティア活動や交流活動についての関心
- ⑨ 障害のある人となない人が、お互いに理解し合うために重要だと思うこと
- ⑩ 自由記述

# 1. 調査概要

## ■目的

障害者の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向などを把握し、「障害者計画」「障害福祉計画」の基礎資料とすることを目的とし調査を実施しました。

## ■方法

郵送による配布・回収

## ■調査期間

平成29年1月13日～平成29年1月31日

## ■対象と回収の状況

調査対象	身体障害者 手帳所持者	療育手帳所 持者	精神障害者 保健福祉手帳 所持者	難病患者	一般市民
抽出方法	40歳未満は全数抽出、40歳以上は10歳階級で層化無作為抽出 (精神障害者保健福祉手帳、療育手帳保持者、および、免疫機能障害者を除く)	全数抽出 (精神障害者保健福祉手帳保持者を除く)	全数抽出	特定医療費(指定難病)受給者	無作為抽出
抽出基準日	平成28年11月30日				
配布数	3,010件			890件	1,000件
	40歳未満：195件 40歳以上：995件 合計：1,190件	968件	852件		
有効回答数(率)	1,708件 (43.8%)			390件 (39.0%)	

## 2. 調査結果概要

※集計結果について、端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### (1) 回答者属性

回答者の属性は、「男性」「女性」とともに約5割、「60～69歳」が最も多く1.6割、次いで「70～79歳」が1.4割、「40～49歳」が1.3割などとなっています。

同居している人は「配偶者」が最も多く約4割、次いで「父母」が約3割、「子ども」が2割強などとなっており、「いない（一人で暮らしている）」は1割となっています。

### (2) 日常生活での介助について

「全部介助が必要」なことは、全体では「お金の管理」が最も多く、次いで「薬の管理」、「外出」となっています。また、三障害共通して「お金の管理」「薬の管理」「外出」が上位となっています。

「一部介助が必要」なことについては、「身体障害」では「外出」、「知的障害」「精神障害」では「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が最も多くなっています。

#### ■ 全部介助が必要なこと

	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	お金の管理 23.5%	お金の管理 25.7%	お金の管理 54.3%	お金の管理 15.7%
第2位	薬の管理 20.8%	外出 24.4%	薬の管理 46.7%	薬の管理 13.7%
第3位	外出 16.6%	薬の管理 23.0%	外出 27.7%	外出 11.1%

### (3) 障害の状況について

身体障害者手帳は全体の4.6割が所持しており、そのうち「1級」が3.4割、「2級」が2割、「3級」「4級」が約1.5割、「5級」「6級」は1割以下となっています。

「18歳未満」「18～64歳」「65歳以上」の年齢別に見ると、どの年代も「1級」が最も多く、「18歳未満」「18～64歳」では「2級」が、「65歳以上」では「4級」が2番目に多くなっています。

身体障害者手帳の主たる障害は「肢体不自由」が最も多く約5割、次いで「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が2.5割となっています。

療育手帳は全体の2.4割が所持しており、そのうち「A判定」が4割、「B判定」が6割となっています。

精神障害者保健福祉手帳は全体の1割強が所持しており、そのうち「1級」が1割強、「2級」が約6割、「3級」が2割強となっています。

難病認定を受けている人は全体の3割となっています。

発達障害として診断を受けた人は1割強であり、そのうち「18歳未満」が約4割を占めています。

高次脳機能障害として診断を受けた人は全体の1割以下となっています。

#### (4) 住まいや暮らしについて

「家族と暮らしている」が最も多く8割弱、次いで「一人で暮らしている」が1割となっています。また、「福祉施設で暮らしている」「病院に入院している」はそれぞれ1割以下となっています。

将来に希望する生活について、「福祉施設で暮らしている」人、「病院に入院している」人ともに「今のまま生活したい」が最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が上位となっています。

地域で生活するために必要だと思う支援は、全体では「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く、三障害に共通して「必要な福祉サービスが適切に利用できること」「生活に必要なお金の負担が軽減されること」「緊急時に助けてくれる人がいること」「相談できる場所や人等が充実していること」が上位となっています。

また、「身体障害」「知的障害」では「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く、「精神障害」では「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多くなっています。

#### ■ 地域で生活するためにあるとよい支援

	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	必要な福祉サービスが適切に利用できること 58.8%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 60.5%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 67.9%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 60.8%
第2位	生活に必要なお金の負担が軽減されること 56.9%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 54.1%	生活に必要なお金の負担が軽減されること 64.0%	必要な福祉サービスが適切に利用できること 55.6%
第3位	緊急時に助けてくれる人がいること 48.9%	緊急時に助けてくれる人がいること 49.4%	緊急時に助けてくれる人がいること 63.0%	相談できる場所や人等が充実していること 53.3%

現在の生活で困っていることや不安に思っていることは、全体では「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く、三障害に共通して「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が上位となっています。

また、「身体障害」では「家族など介助者の健康状態に不安がある」が、「知的障害」では「地域に親しい人がいない」が、「精神障害」では「生活に必要なお金が足りない」が上位となっています。

### ■ 現在の生活で困っていることや不安に思っていること

	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	自分の健康や体力に自信がない 32.1%	自分の健康や体力に自信がない 36.8%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 54.0%	自分の健康や体力に自信がない 44.4%
第2位	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 29.6%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 22.7%	地域の中に親しい人がいない 25.3%	将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である 36.3%
第3位	家族など介助者の健康状態に不安がある 21.3%	家族など介助者の健康状態に不安がある 22.3%	家族など介助者の健康状態に不安がある 21.4%	生活に必要なお金が足りない 32.4%

### (5) 日中活動や就労について

外出の際に困ることや外出をとりやめた理由は、「困った時にどうすればいいのか心配である」が最も多く3割弱、次いで「道路（歩道）や駅に階段や段差が多い」「発作など突然の体調不良が心配である」「バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない」がそれぞれ2割強などとなっています。

「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」人は全体の2割であり、その勤務形態は「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が最も多く4割、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が4割弱などとなっています。

就労意欲がある人は5割弱、そのうち実際に就労している人は5割となっています。

障害者の就労支援として必要だと思うことは「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が最も多く約5割、次いで「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が3割強、「通勤手段の確保」が3割などとなっています。

病院関係で困っている人は3割強であり、困っている内容は「医療費の負担が大きい」が最も多く3割強、次いで「専門的な治療を行う病院が身近にない」「交通費の負担が大きい」「障害が理由で治療を受けにくい診療科がある」がそれぞれ2割以上などとなっています。

## (6) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

利用しているサービスは「計画相談支援」が最も多く1割強、次いで「生活介護」「移動支援事業」がそれぞれ約1割などとなっています。

利用意向は、全体では「移動支援事業」が最も多く3.5割、次いで「計画相談支援」が3割強、「短期入所（ショートステイ）」「障害者相談支援事業」がそれぞれ3割弱などとなっています。

また、「身体障害」では「日常生活用具等給付等事業」が、「知的障害」「精神障害」では「計画相談支援」が最も多く、三障害に共通して「移動支援事業」が上位となっています。

### ■ 障害福祉サービスの利用意向

	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	移動支援事業 35.7%	日常生活用具等給付等事業 38.6%	計画相談支援 62.8%	計画相談支援 36.3%
第2位	計画相談支援 34.7%	移動支援事業 37.2%	成年後見制度利用支援事業 53.5%	障害者相談支援事業 33.7%
第3位	短期入所（ショートステイ）	居宅介護 34.7%	移動支援事業 51.3%	地域相談支援（地域定着支援） 29.7%
第4位	障害者相談支援事業 29.4%	生活介護 34.6%	共同生活援助（グループホーム） 45.3%	行動援護 29.1%
第5位	生活訓練 28.5%	短期入所（ショートステイ） 33.2%	障害者相談支援事業 45.0%	移動支援事業 27.1%

## (7) 相談相手について

悩みや困ったことの相談先は「家族や親せき」が最も多く7割強、次いで「かかりつけの医師や看護師」「友人・知人」がそれぞれ約3割などとなっています。

## (8) 権利擁護について

障害があることで差別を受けた、または嫌な思いをしたことがある人は3.5割となっています（「ある」「少しある」の合計）。また、そのような経験をした場所は「学校・職場」が最も多く約4.5割、次いで「住んでいる地域」「近所」がそれぞれ3割弱などとなっています。

草津市民の障害者に対する理解は進んできたと回答した人は3割強となっています（「かなり進んできた」「まあまあ進んできた」の合計）。

成年後見人制度について「名前も内容も知っている」は約3.5割、「名前も内容も知らない」が約2.5割となっています。

## (9) 災害時の避難等について

災害時の一人での避難について、「できる」が4割、「できない」が3割強、「わからない」が2割となっています。

近所に自分を助けてくれる人はいるかについて、「いる」が2割強、「いない」「わからない」がそれぞれ3割強となっています。

災害時、障害があることで困ることや心配なことは、「身体障害」「知的障害」では「安全なところまで、すばやく避難することができない」が、「精神障害」では「治療を受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多くなっています。

### ■ 災害時、障害があることで困ることや心配なこと

	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	治療を受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない 45.4%	安全なところまで、すばやく避難することができない 50.5%	安全なところまで、すばやく避難することができない 58.6%	治療を受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない 56.5%
第2位	安全なところまで、すばやく避難することができない 42.4%	避難場所の設備（トイレ等）が不安 47.0%	避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安 57.7%	避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安 49.3%
第3位	避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安 40.9%	治療を受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない 45.9%	周囲とコミュニケーションがとれない 52.8%	周囲とコミュニケーションがとれない 33.7%

## (10) 草津市の障害者施策について

草津市の障害者施策の満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の合計）は、全体では「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く1割強、次いで「安全・安心に暮らせる地域づくり」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」「福祉のまちづくりの推進」がそれぞれ1割などとなっています。

草津市の障害者施策の重要度（「重要」「やや重要」の合計）は、三障害に共通して「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が上位となっています。また、「知的障害」「精神障害」では「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多くなっています。

### ■ 草津市の障害者施策の重要度

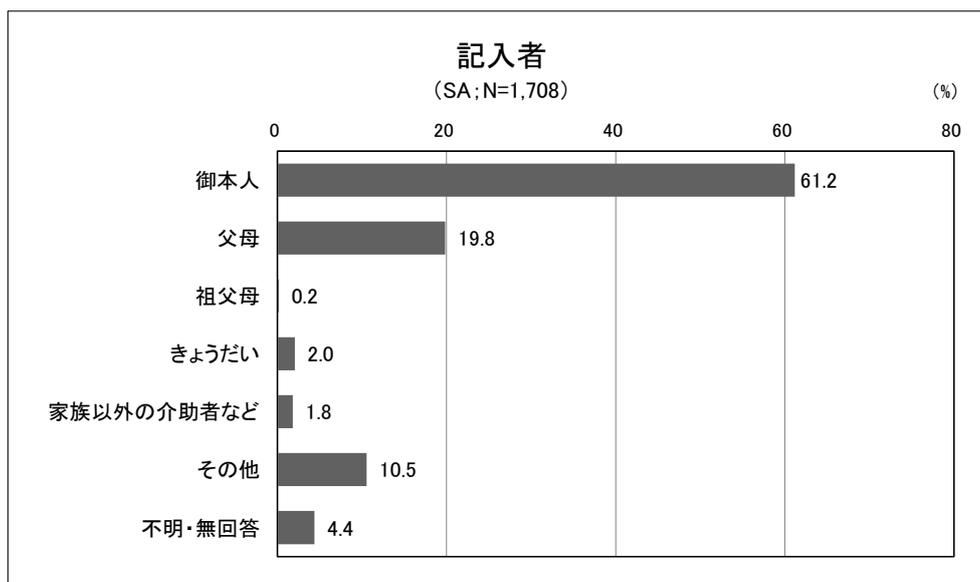
	全体 (N=1,708)	身体障害 (N=790)	知的障害 (N=411)	精神障害 (N=306)
第1位	安全・安心に暮らせる地域づくり 68.7%	日常生活の基本を守る取り組みの充実 57.8%	障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持 65.0%	障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持 61.1%
第2位	日常生活の基本を守る取り組みの充実 59.1%	安全・安心に暮らせる地域づくり 56.8%	日常生活の基本を守る取り組みの充実 64.2%	日常生活の基本を守る取り組みの充実 58.5%
第3位	福祉のまちづくりの推進 57.5%	健やかに生きるための取り組みの充実 55.2%	相談支援体制の充実と情報受発信の強化 63.7%	福祉のまちづくりの推進 57.8%

### 3. 障害当事者対象調査の結果

#### (1) 回答者属性

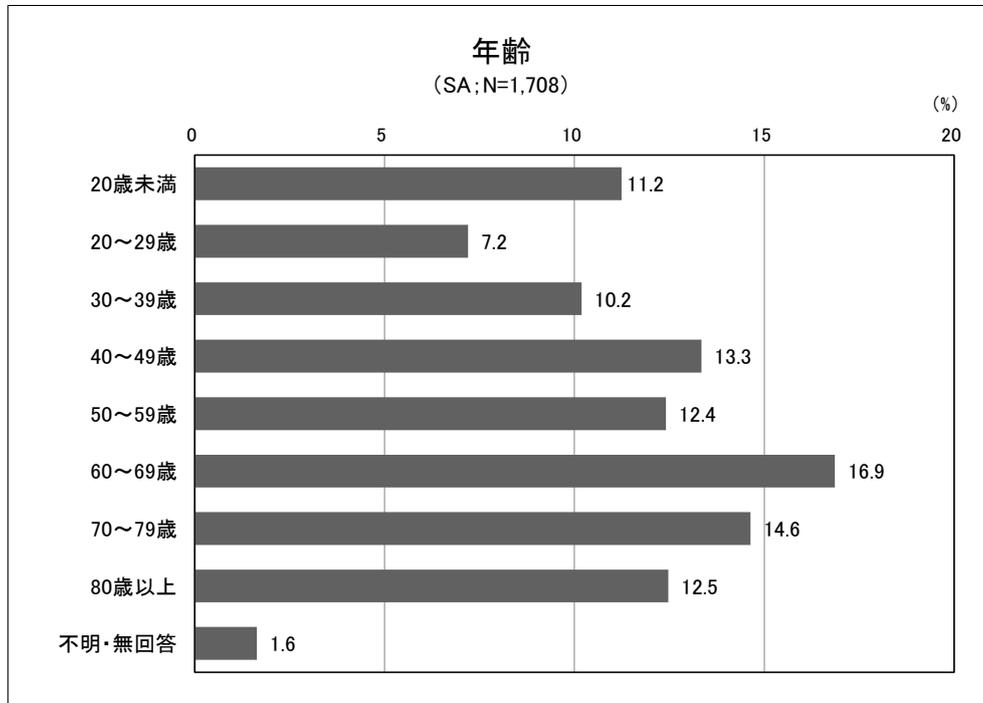
##### ① 記入者

「御本人」が61.2%、次いで「父母」が19.8%、「その他」が10.5%などとなっています。



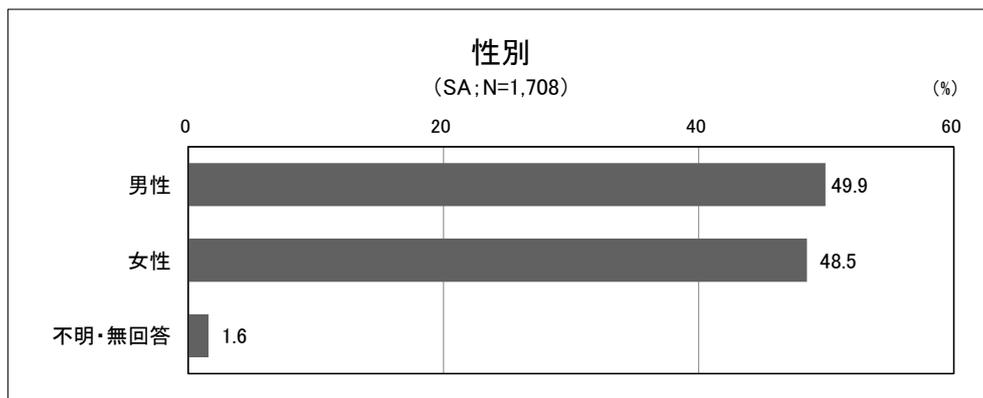
## ② 年齢

「60～69歳」が最も多く16.9%、次いで「70～79歳」が14.6%、「40～49歳」が13.3%、「80歳以上」が12.5%などとなっています。



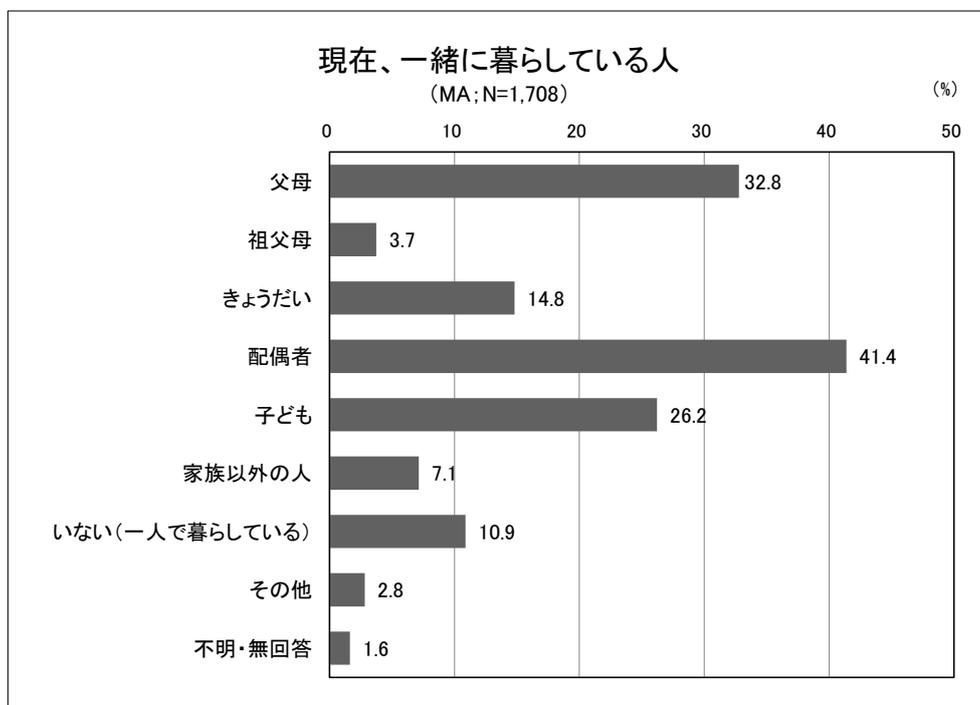
## ③ 性別

「男性」が49.9%、「女性」が48.5%となっています。



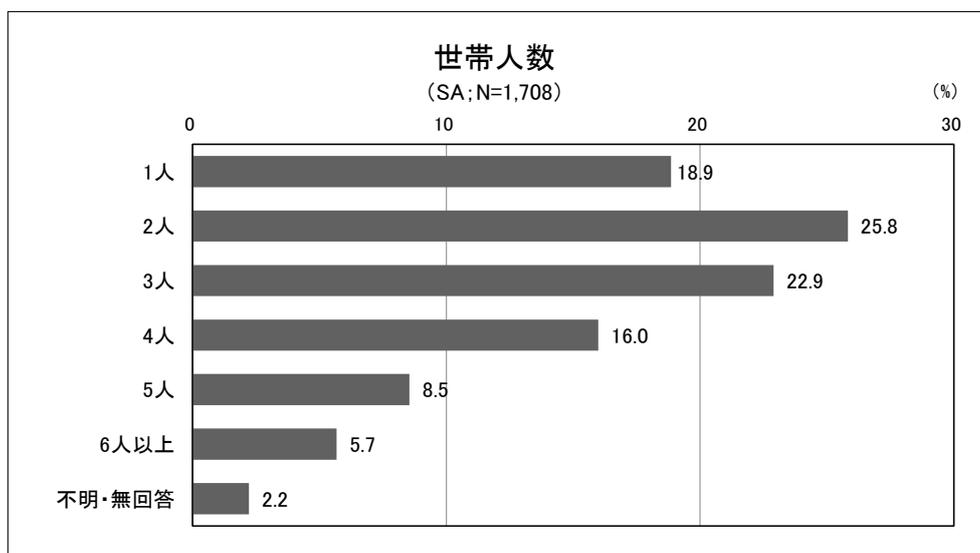
#### ④-1 現在、一緒に暮らしている人

「いない（一人で暮らしている）」が10.9%となっています。また、「配偶者」が最も多く41.4%、次いで「父母」が32.8%、「子ども」が26.2%などとなっています。



#### ④-2 世帯人数

「2人」が最も多く25.8%、次いで「3人」が22.9%、「1人」が18.9%などとなっています。

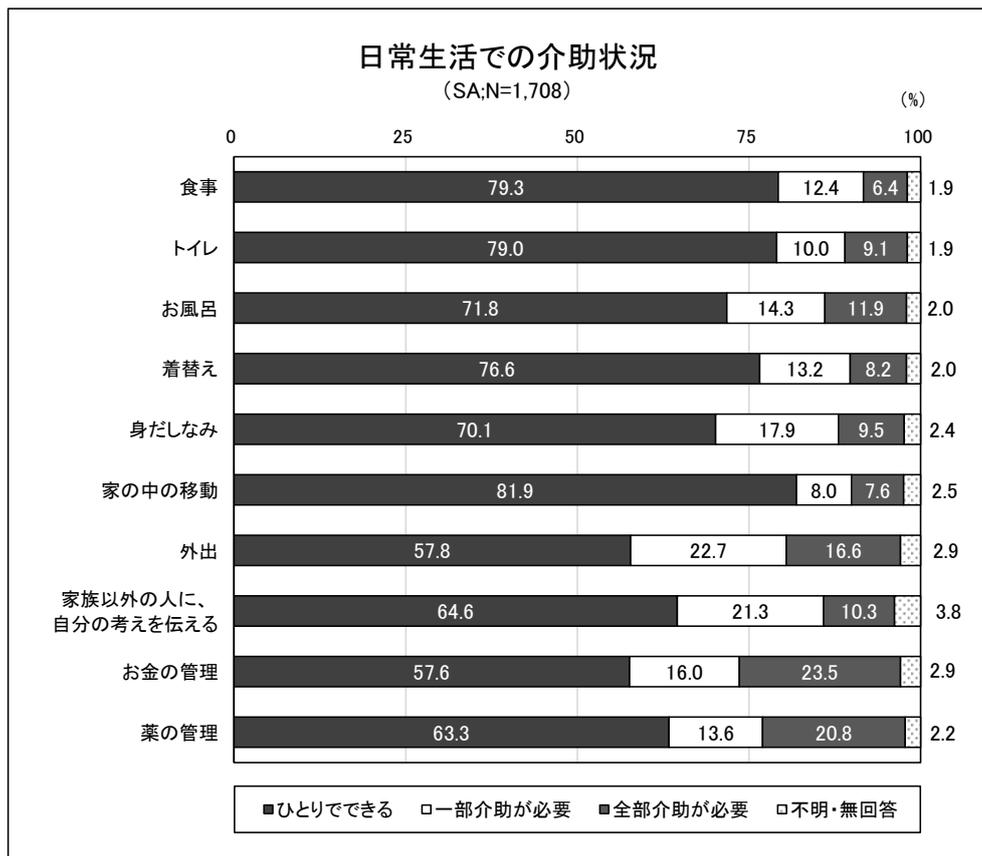


### ⑤ー1 日常生活での介助状況

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く81.9%、次いで「食事」が79.3%、「トイレ」が79.0%、「着替え」が76.6%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く22.7%、次いで「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が21.3%、「身だしなみ」が17.9%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く23.5%、次いで「薬の管理」が20.8%、「外出」が16.6%などとなっています。



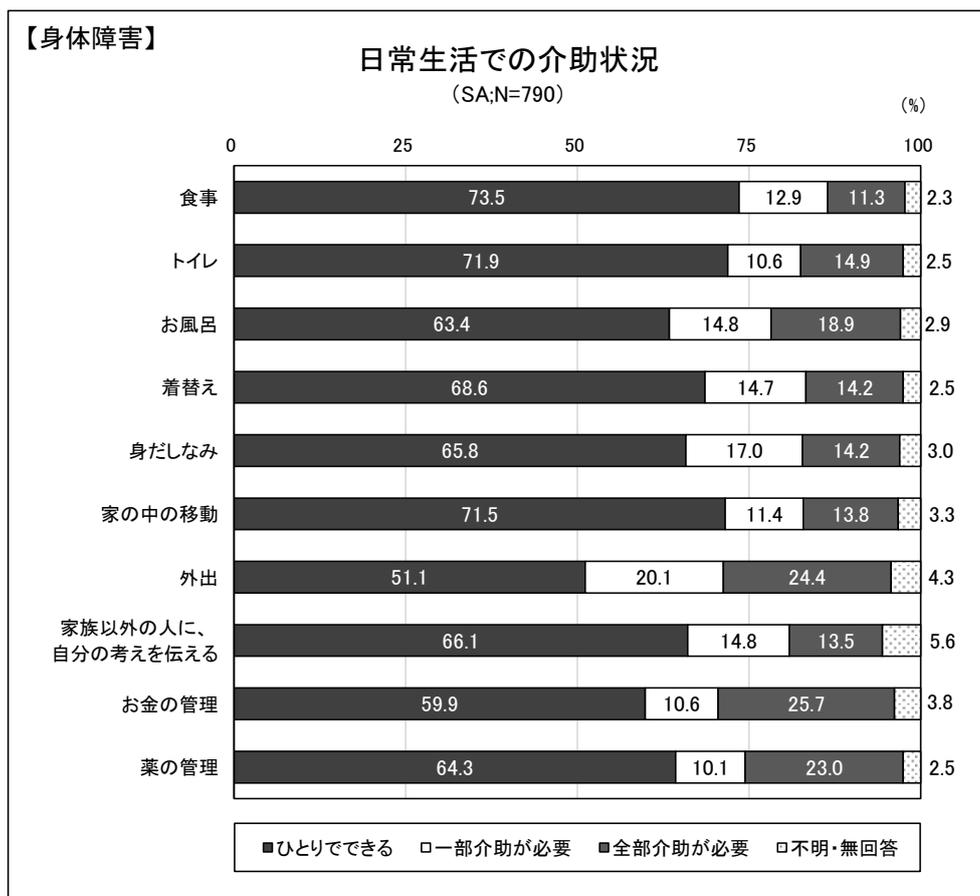
## 【障害種別】

### (身体障害)

「ひとりでできる」は「食事」が最も多く73.5%、次いで「トイレ」が71.9%、「家の中の移動」が71.5%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く20.1%、次いで「身だしなみ」が17.0%、「お風呂」「家族以外の人に、自分の考えを伝える」がそれぞれ14.8%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く25.7%、次いで「外出」が24.4%、「薬の管理」が23.0%などとなっています。

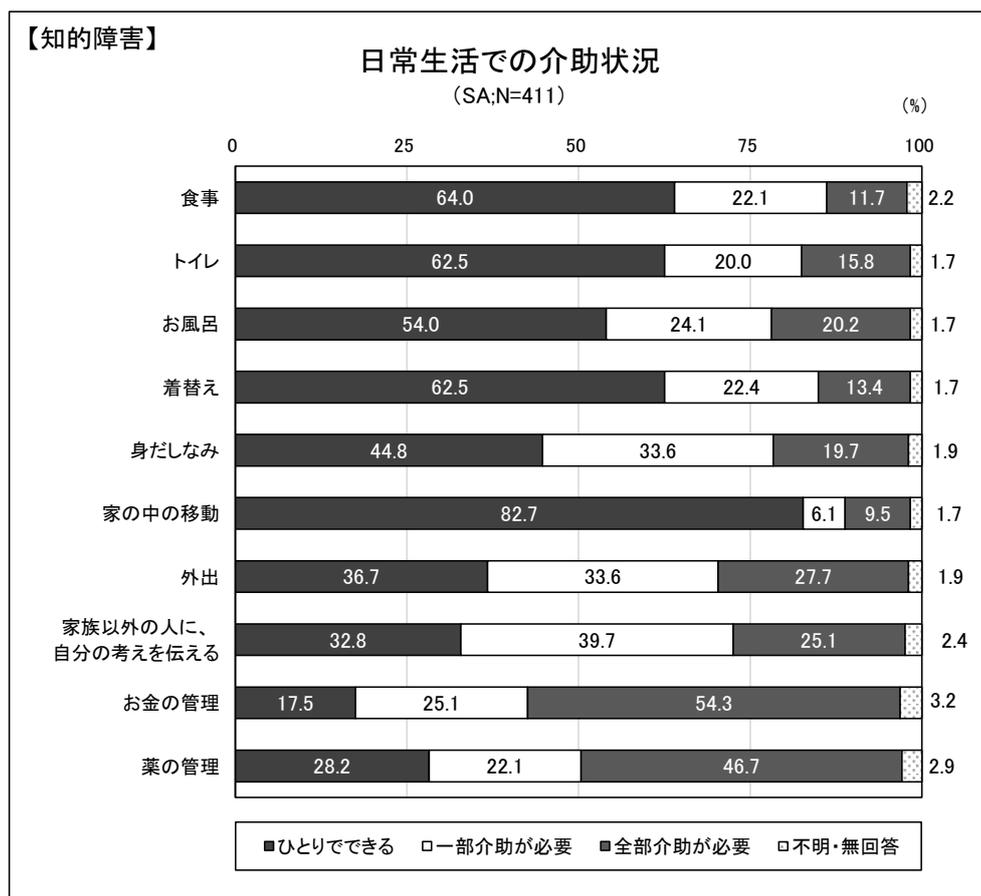


## (知的障害)

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く82.7%、次いで「食事」が64.0%、「トイレ」「着替え」がそれぞれ62.5%などとなっています。

「一部介助が必要」は「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が最も多く39.7%、次いで「身だしなみ」「外出」がそれぞれ33.6%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く54.3%、次いで「薬の管理」が46.7%、「外出」が27.7%などとなっています。

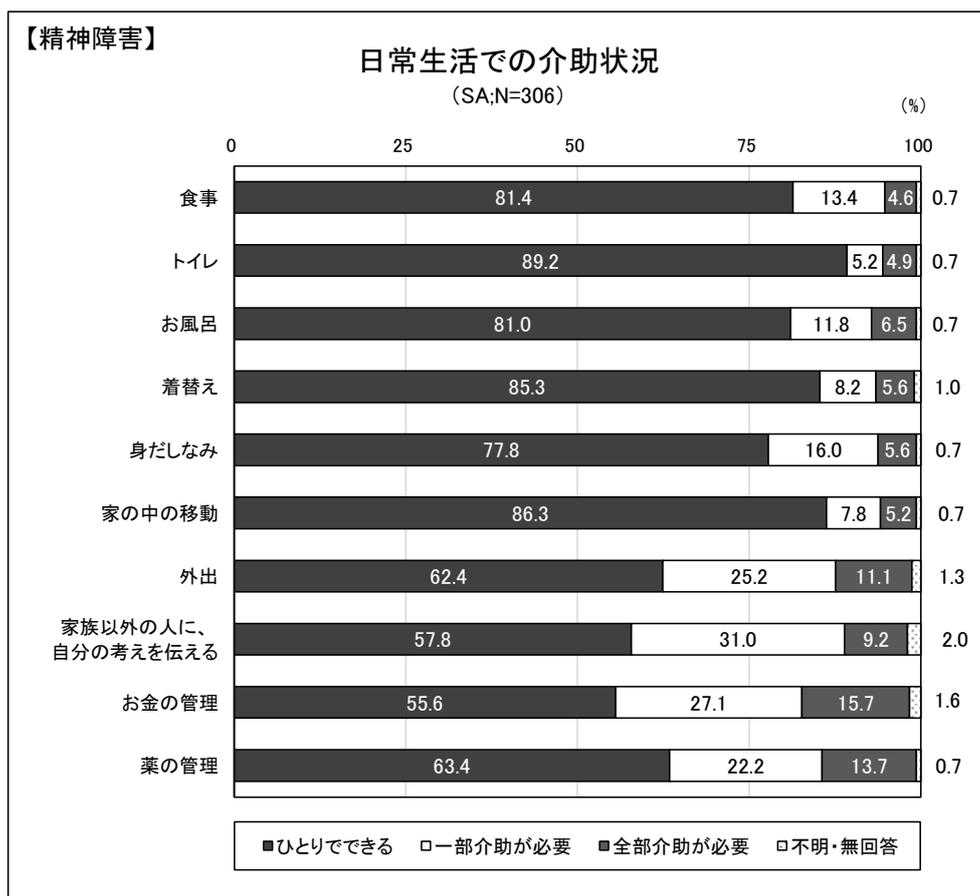


(精神障害)

「ひとりでできる」は「トイレ」が最も多く89.2%、次いで「家の中の移動」が86.3%、「着替え」が85.3%、「食事」が81.4%などとなっています。

「一部介助が必要」は「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が最も多く27.1%、次いで「お金の管理」が27.1%、「外出」が25.2%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く15.7%、次いで「薬の管理」が13.7%、「外出」が11.1%などとなっています。

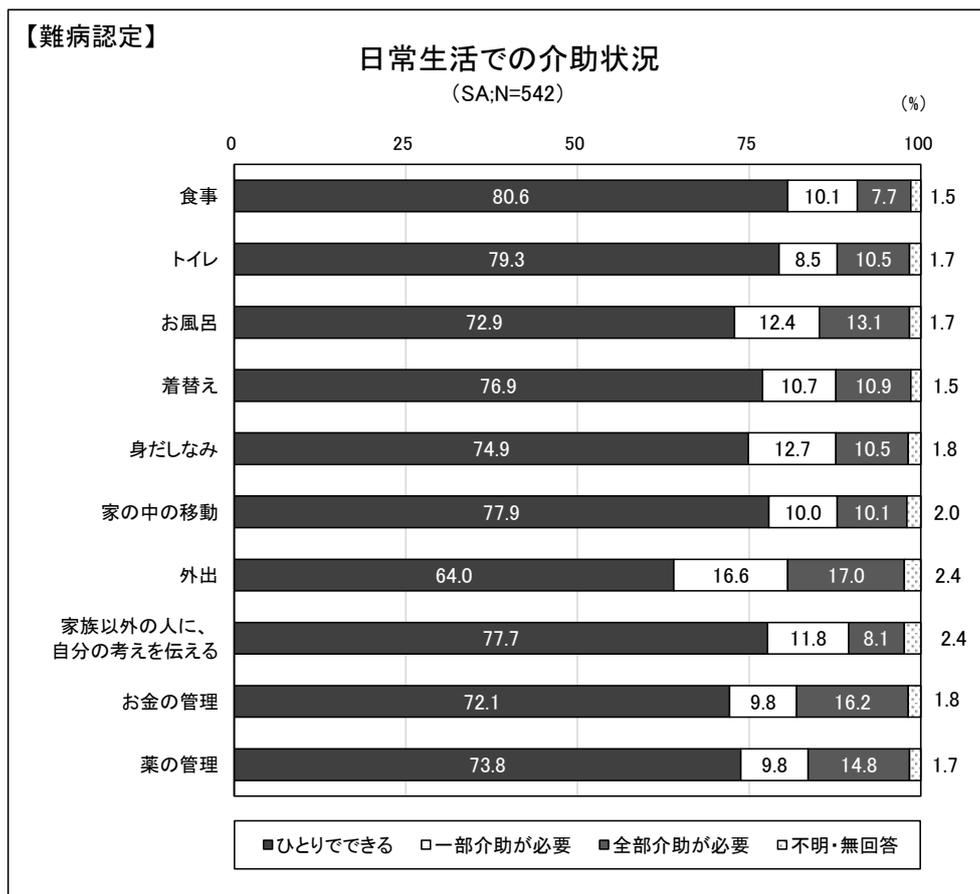


(難病認定)

「ひとりでできる」は「食事」が最も多く80.6%、次いで「トイレ」が79.3%、「家の中の移動」が77.9%、「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が77.7%などとなっています。

「一部介助が必要」は「外出」が最も多く16.6%、次いで「身だしなみ」が12.7%、「お風呂」が12.4%などとなっています。

「全部介助が必要」は「外出」が最も多く17.0%、次いで「お金の管理」が16.2%、「薬の管理」が14.8%などとなっています。

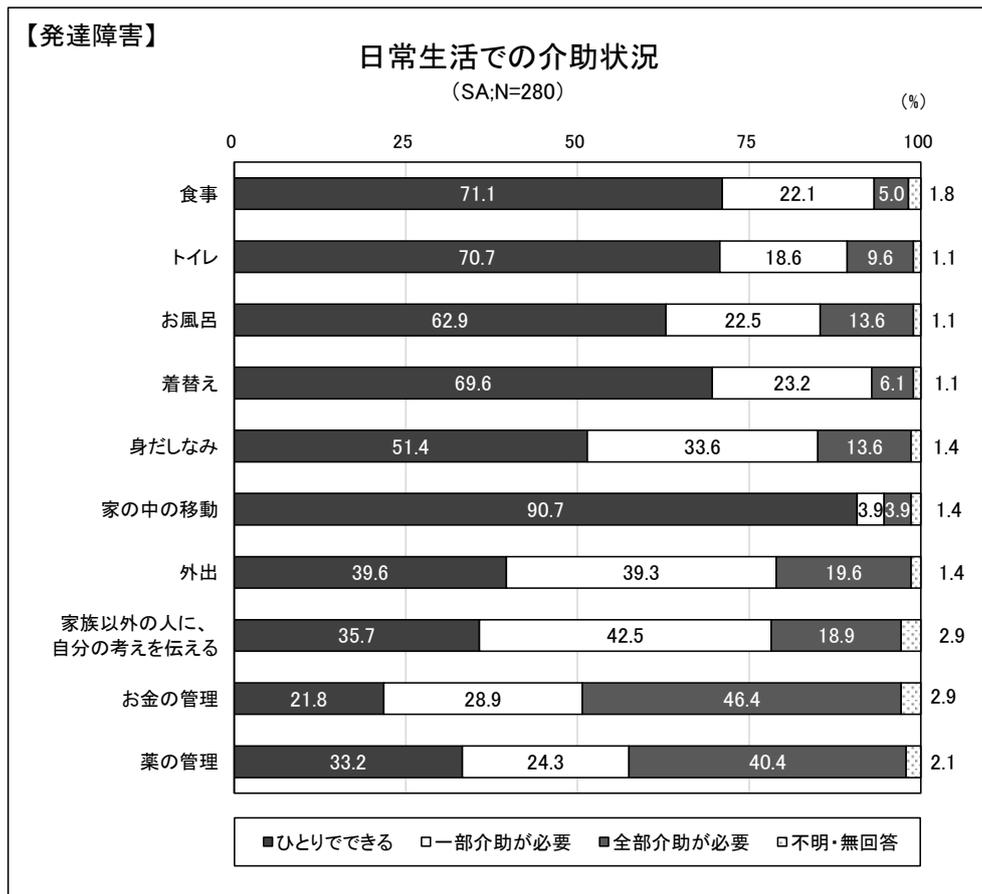


(発達障害)

「ひとりでできる」は「家の中の移動」が最も多く90.7%、次いで「食事」が71.1%、「トイレ」が70.7%、「着替え」が69.6%などとなっています。

「一部介助が必要」は「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が最も多く42.5%、次いで「外出」が39.3%、「身だしなみ」が33.6%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く46.4%、次いで「薬の管理」が40.4%、「外出」が19.6%などとなっています。

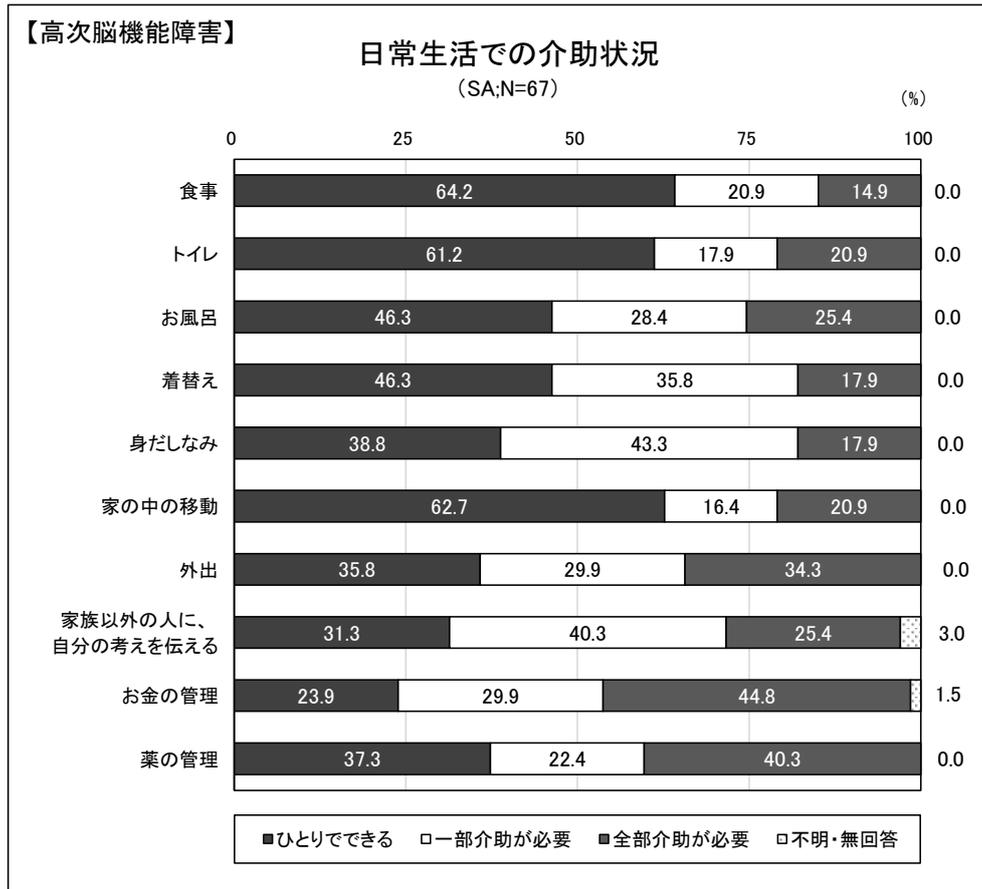


(高次脳機能障害)

「ひとりでできる」は「食事」が最も多く64.2%、次いで「家の中の移動」が62.7%、「トイレ」が61.2%、「お風呂」「着替え」がそれぞれ46.3%などとなっています。

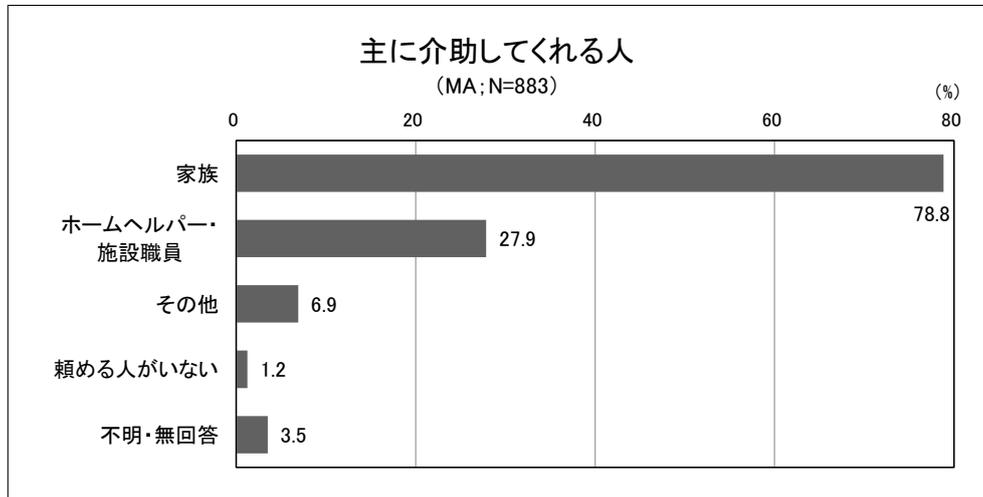
「一部介助が必要」は「身だしなみ」が最も多く43.3%、次いで「家族以外の人に、自分の考えを伝える」が40.3%、「着替え」が35.8%などとなっています。

「全部介助が必要」は「お金の管理」が最も多く44.8%、次いで「薬の管理」が40.3%、「外出」が34.3%などとなっています。



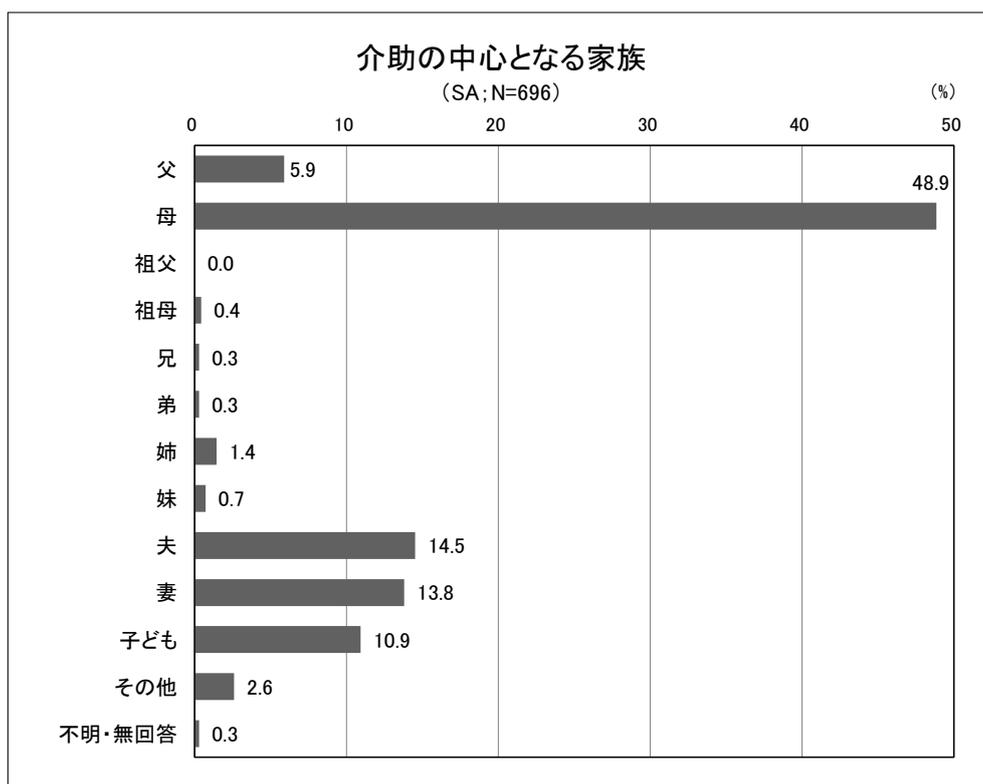
⑤ー２ 前問で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答された人について、主に介助してくれる人

「家族」が最も多く78.8%、次いで「ホームヘルパー・施設職員」が27.9%などとなっています。



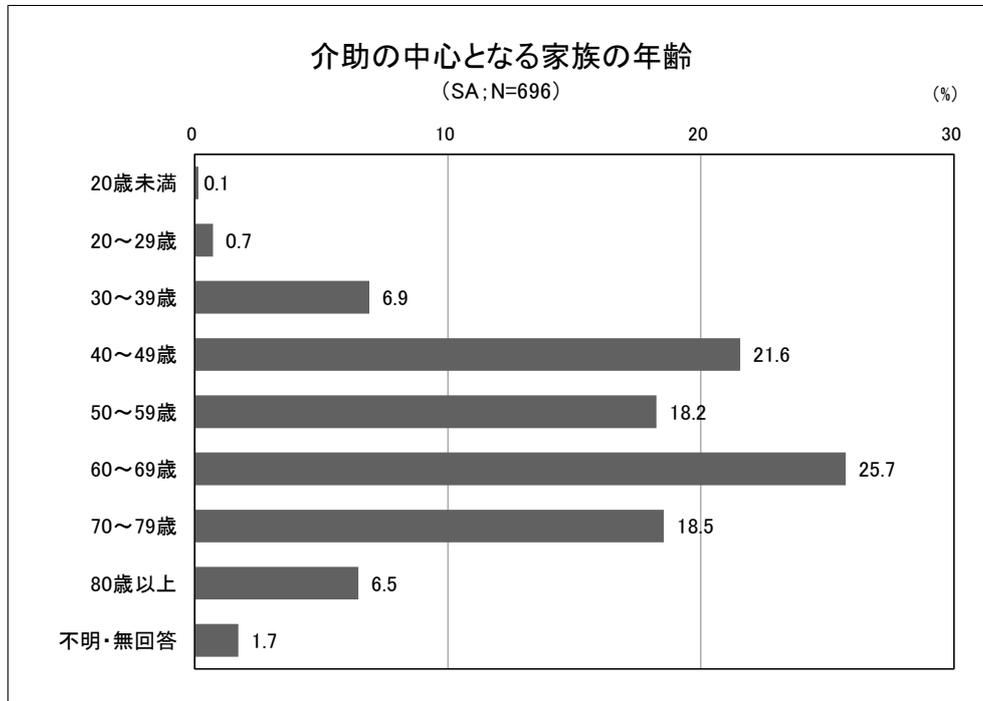
⑤ー３ 家族が主に介助してくれる人について、介助の中心となる家族

「母」が最も多く48.9%、次いで「夫」が14.5%、「妻」が13.8%、「子ども」が10.9%などとなっています。



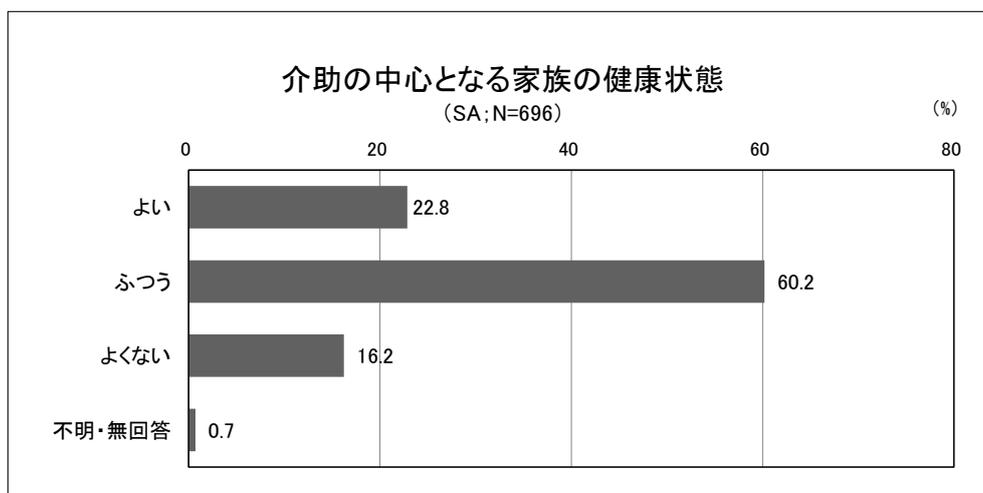
#### ⑤-4 介助の中心となる家族の年齢

「60～69歳」が最も多く25.7%、次いで「40～49歳」が21.6%、「70～79歳」が18.5%、「50～59歳」が18.2%などとなっています。



#### ⑤-5 介助の中心となる家族の健康状態

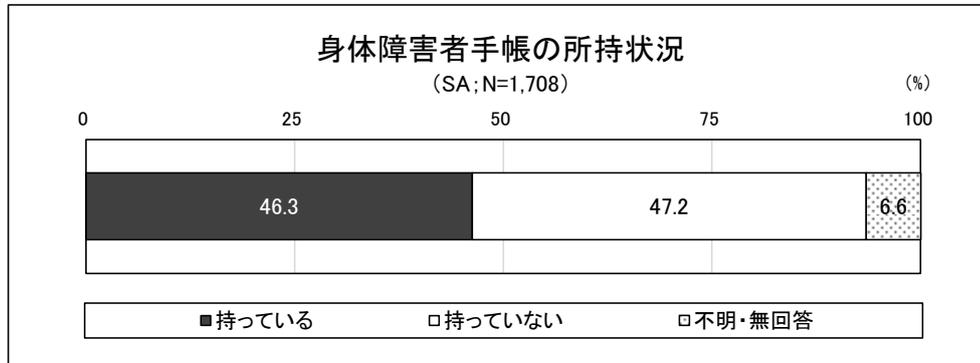
「ふつう」が最も多く60.2%、次いで「よい」が22.8%、「よくない」が16.2%となっています。



## (2) 障害の状況について

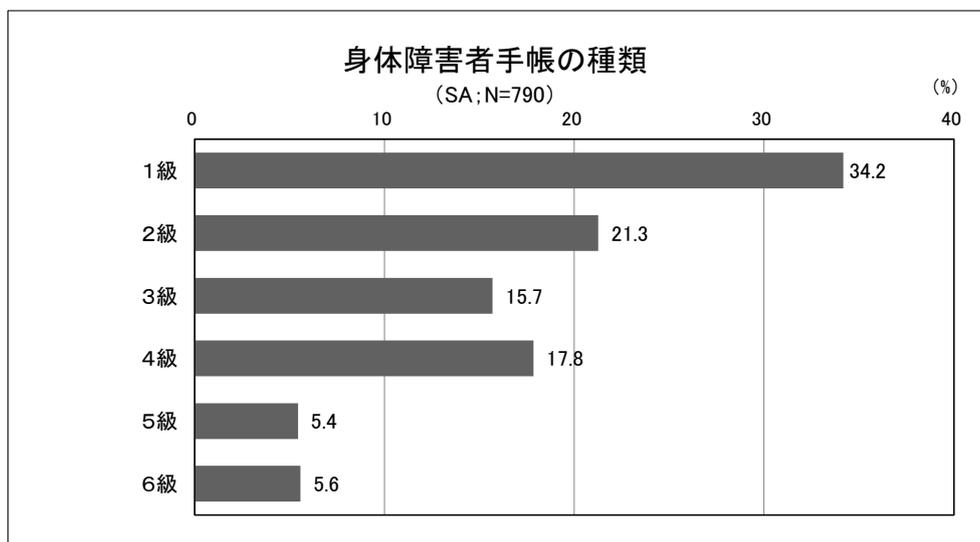
### ①-1 身体障害者手帳の所持状況

「持っている」が46.3%、「持っていない」が47.2%となっています。



### ①-2 身体障害者手帳の種類

身体障害者手帳の所持者は790人であり、そのうち重度障害者（「1級」「2級」の合計）が438人（55.5%）、中度・軽度障害者（「3級」「4級」「5級」「6級」）が352人（44.5%）となっています。

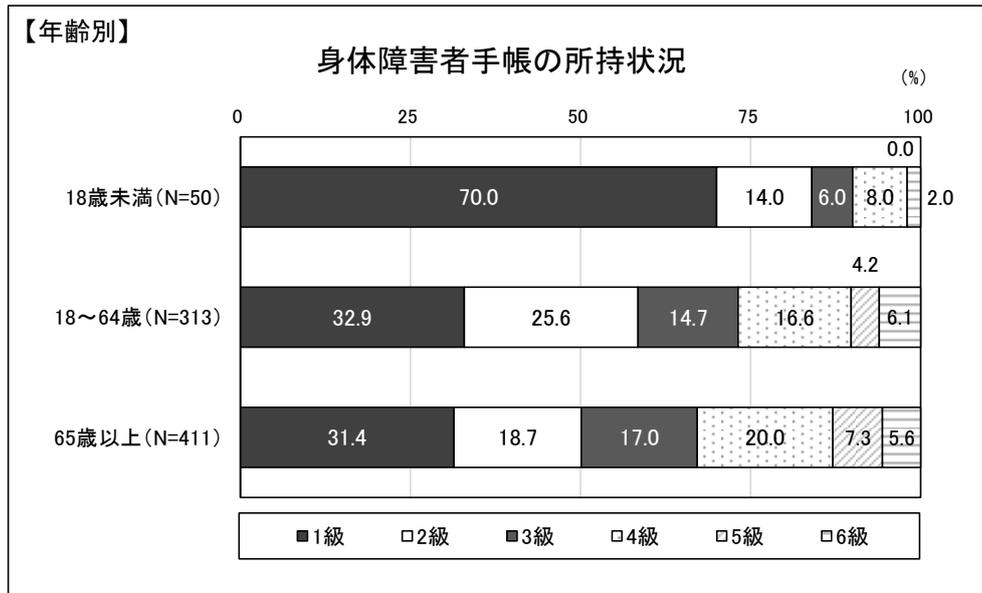


【年齢別】 ※年齢別集計については、年齢不詳を除外しています。

18歳未満で身体障害者手帳を所持しているのは50人であり、「1級」が最も多くなっています。

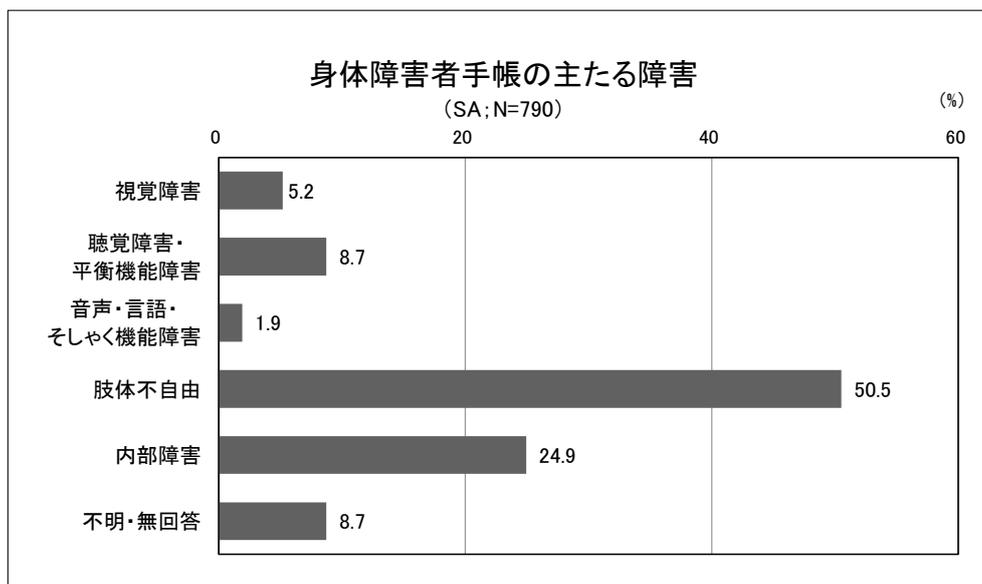
18～64歳では「1級」が最も多く32.9%、次いで「2級」が25.6%、「4級」が16.6%となっています。

65歳以上では「1級」が最も多く31.4%、次いで「4級」が20.0%、「2級」が18.7%となっています。



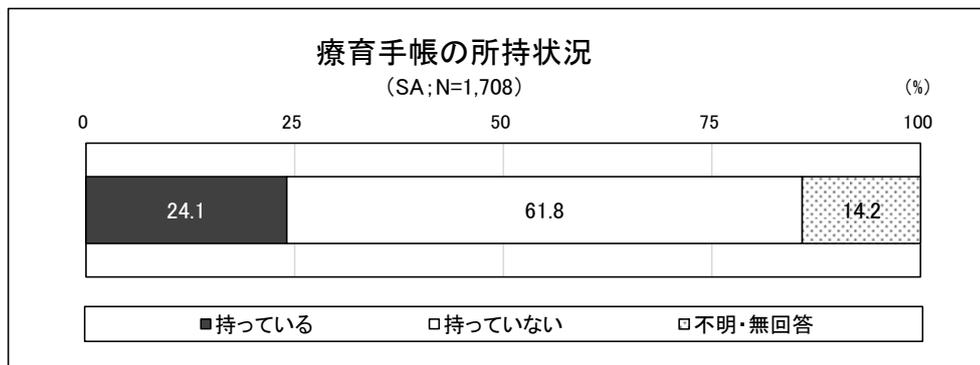
### ①-3 身体障害者手帳の主たる障害

「肢体不自由」が最も多く50.5%、次いで「内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）」が24.9%、「聴覚障害・平衡機能障害」が8.7%などとなっています。



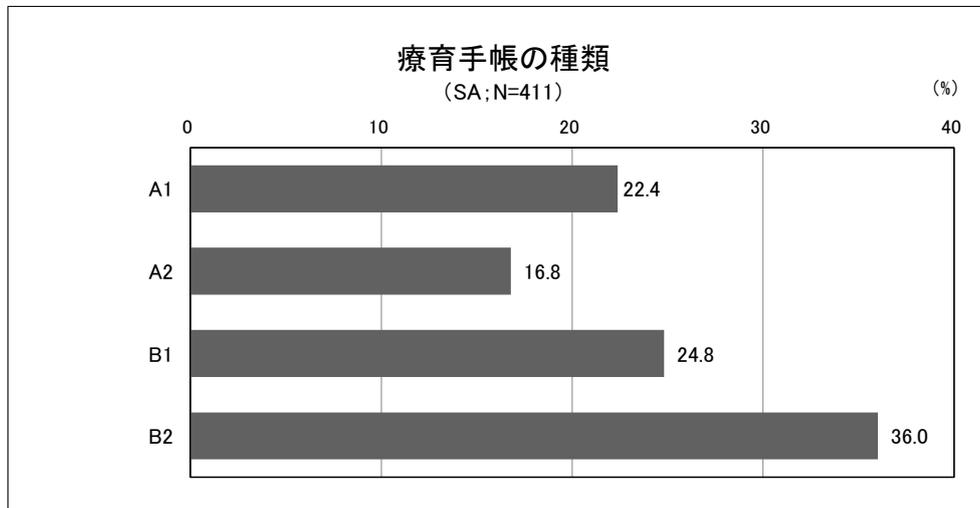
## ②-1 療育手帳の所持状況

「持っている」が24.1%、「持っていない」が61.8%となっています。



## ②-2 療育手帳の種類

療育手帳の所持者は411人であり、そのうちA判定（「A1」「A2」の合計）が161人（39.2%）、B判定（「B1」「B2」の合計）が250人（60.8%）となっています。

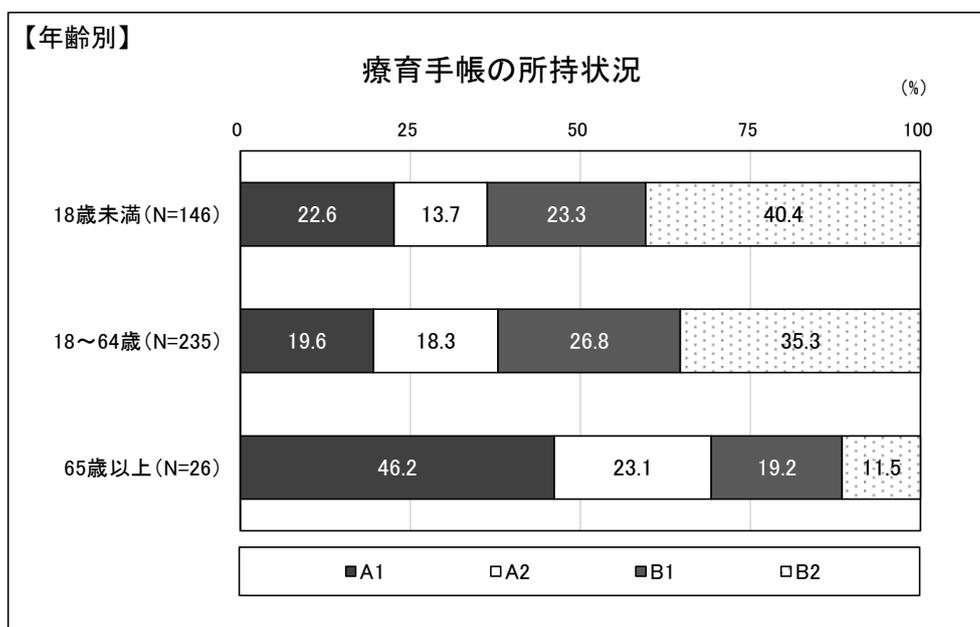


### 【年齢別】

18歳未満ではA判定が36.3%、B判定が63.7%となっています。

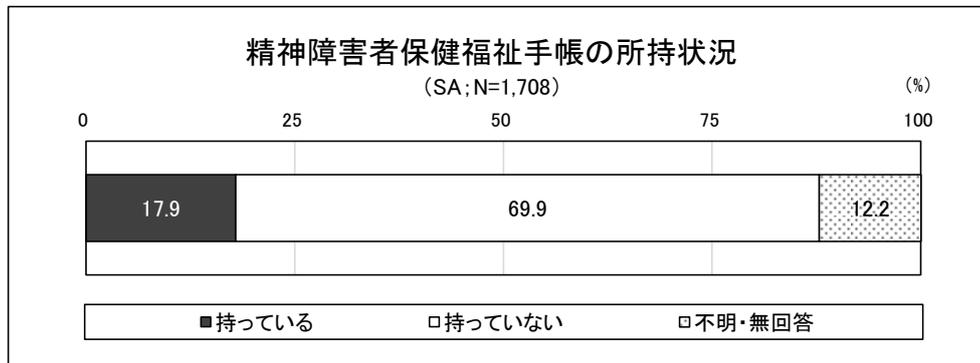
18～64歳ではA判定が37.9%、B判定が62.1%となっています。

65歳以上で療育手帳を所持しているのは26人であり、A判定が18人、B判定が8人となっています。



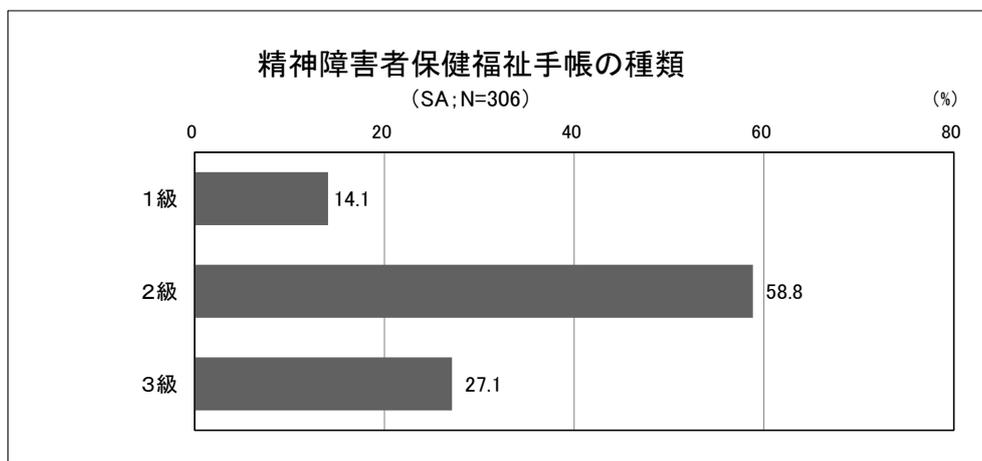
### ③ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況

「持っている」が17.9%、「持っていない」が69.9%となっています。



### ③ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況

精神障害者保健福祉手帳の所持者は306人であり、そのうち「1級」が43人(14.1%)、「2級」が180人(58.8%)、「3級」が83人(27.1%)となっています。

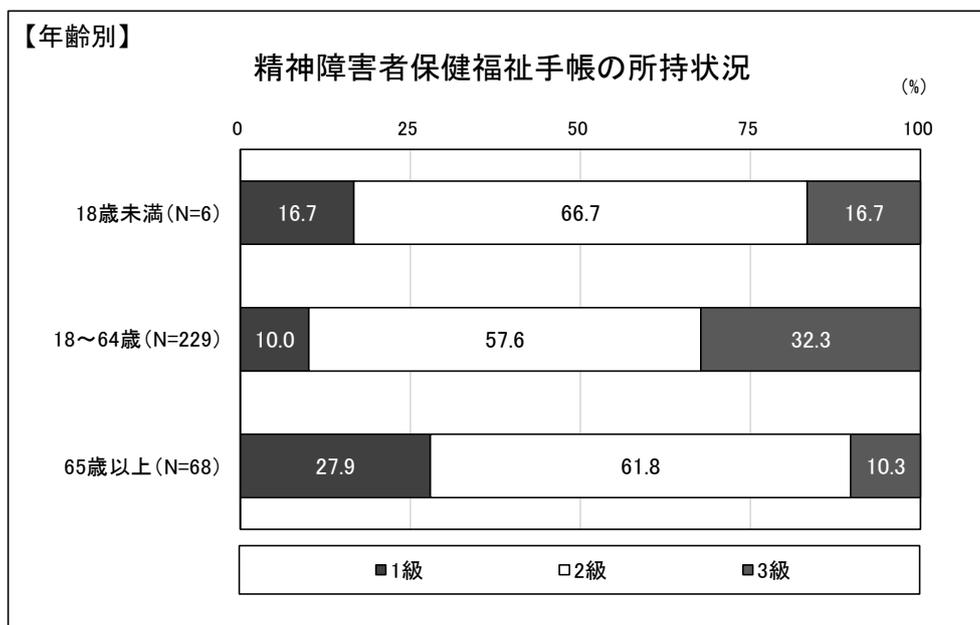


## 【年齢別】

「18歳未満」で精神障害者保健福祉手帳を所持しているのは6人であり、「1級」が1人、「2級」が4人、「3級」が1人となっています。

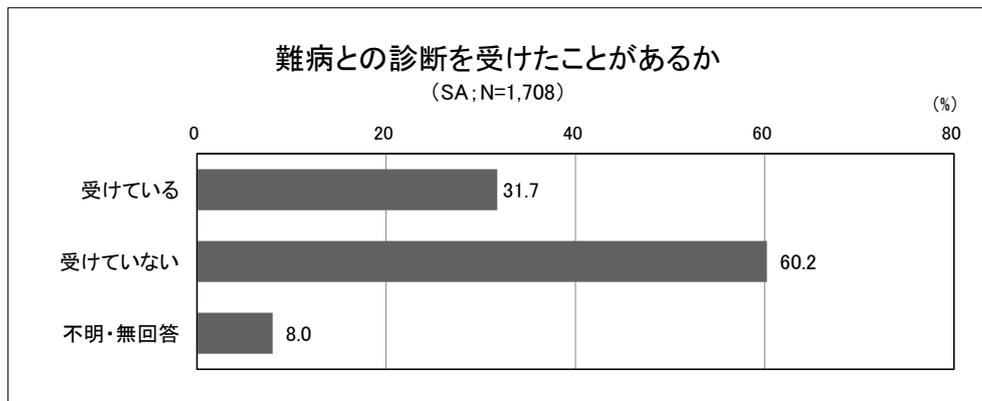
「18～64歳」では「2級」が最も多く57.6%、次いで「3級」が32.3%、「1級」が10.0%となっています。

「65歳以上」で「2級」が最も多く61.8%、次いで「1級」が27.9%、「3級」が10.3%となっています。



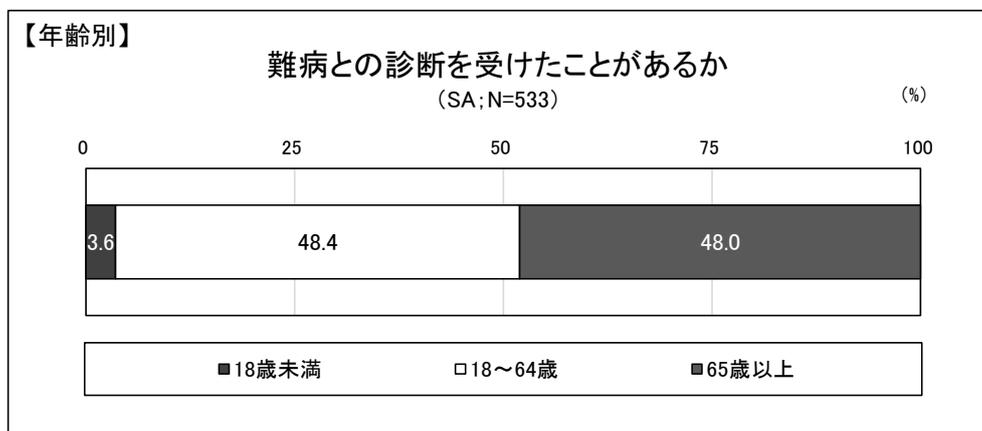
④ 難病との診断を受けたことがあるか

「受けている」が31.7%、「受けていない」が60.2%となっています。



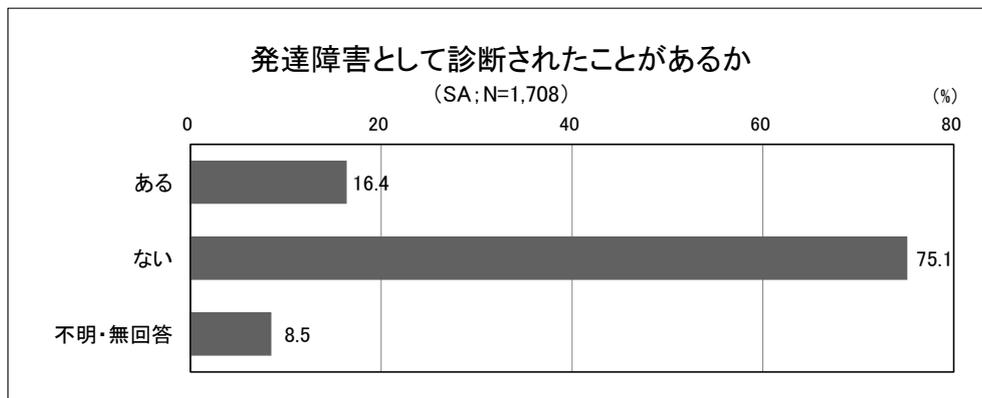
【年齢別】

「18歳未満」が3.6%、「18～64歳」が48.4%、「65歳以上」が48.0%となっています。



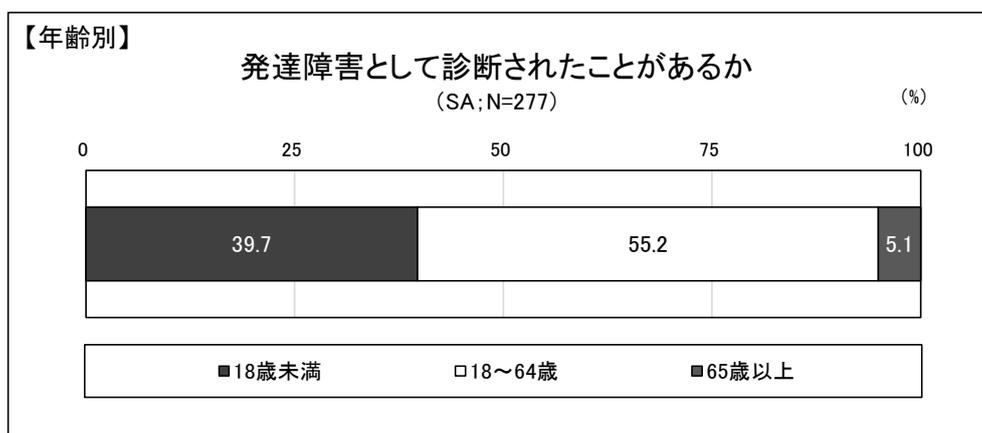
⑤ 発達障害として診断されたことがあるか

「ある」が16.4%、「ない」が75.1となっています。



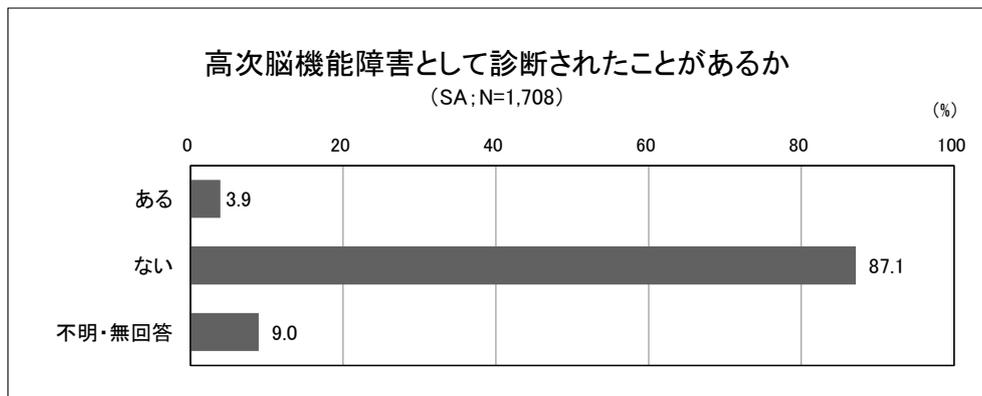
【年齢別】

「18歳未満」が39.7%、「18～64歳」が55.2%、「65歳以上」が5.1%となっています。



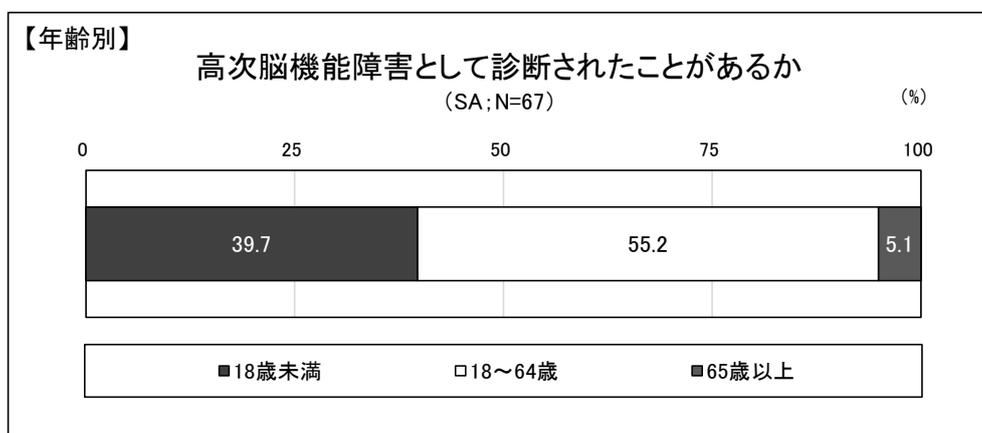
⑥ 高次脳機能障害として診断されたことがあるか

「ある」が3.9%、「ない」が87.1となっています。



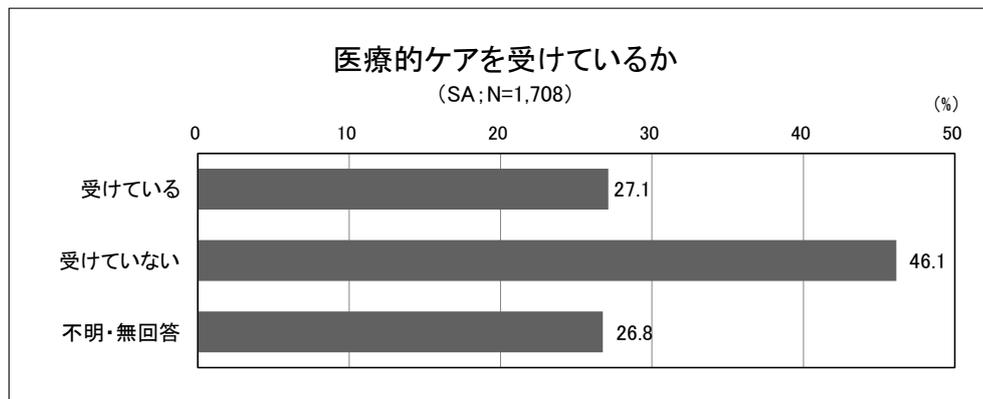
【年齢別】

高次脳機能障害として診断された人は67人であり、「18歳未満」が8人、「18～64歳」が33人、「65歳以上」が26人となっています。



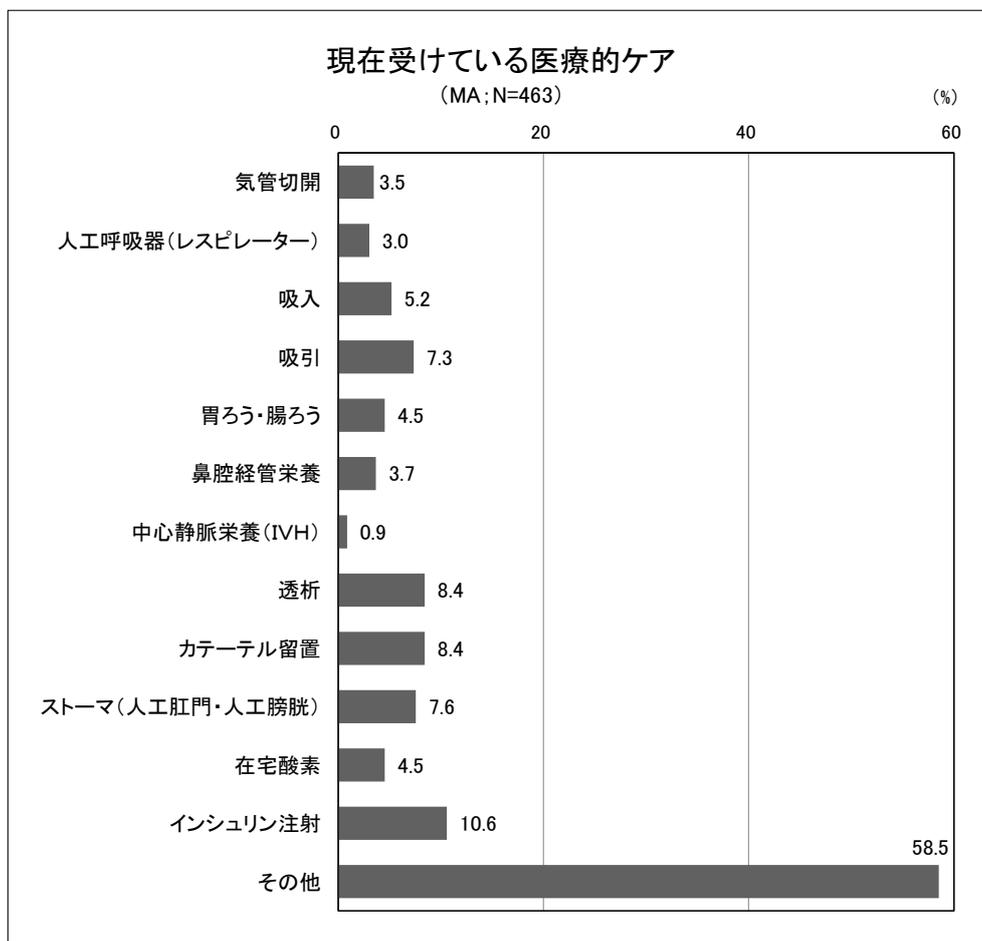
### ⑦-1 医療的ケアを受けているか

「受けている」が27.1%、「受けていない」が46.1%となっています。



### ⑦-2 現在受けている医療的ケア

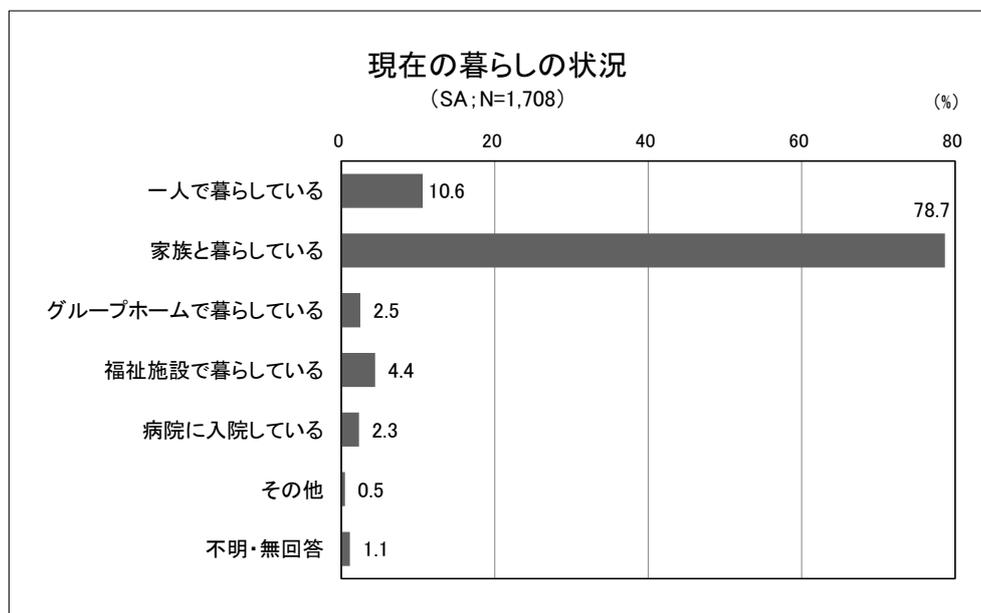
現在医療的ケアを受けている人は463人であり、そのうち「インシュリン注射」が49人(10.6%)、「透析」「カテーテル留置」がそれぞれ39人(8.4%)、「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」が35人(7.6%)、「吸引」が34人(7.3%)などとなっています。



### (3) 住まいや暮らしについて

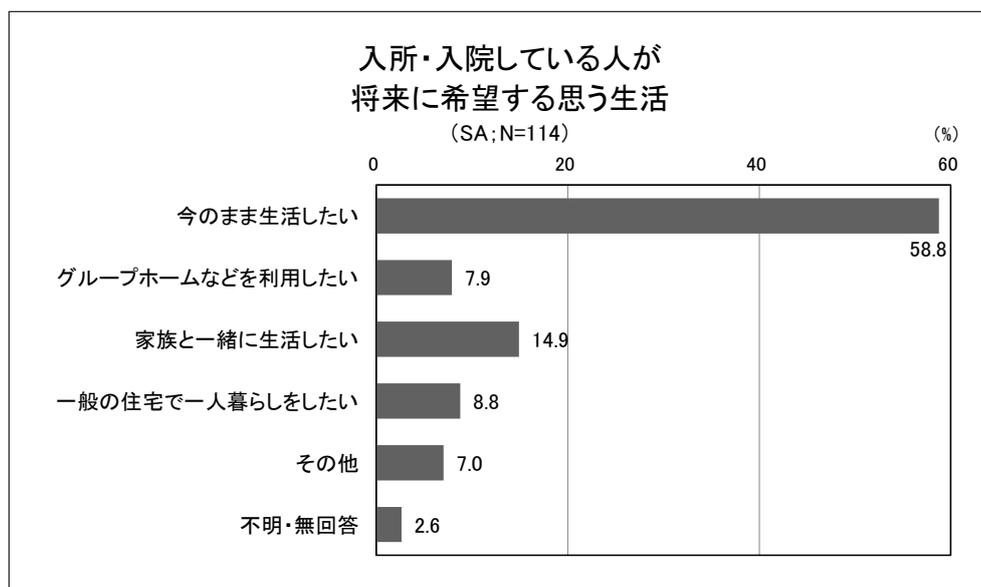
#### ① 現在の暮らしの状況

「家族と暮らしている」が最も多く78.7%、次いで「一人で暮らしている」が10.6%などとなっています。



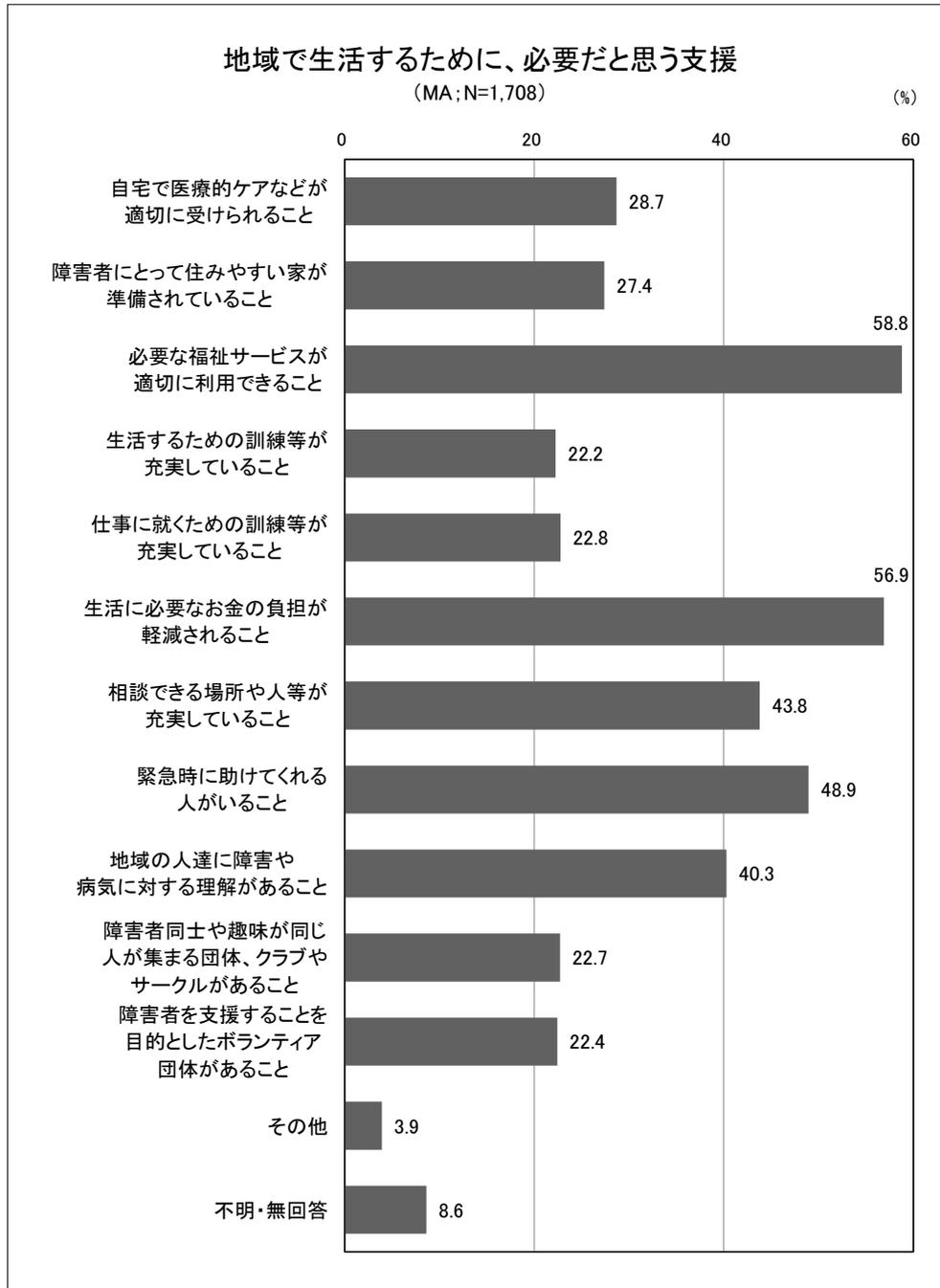
#### ①-2 入所・入院している人が将来に希望する生活

入院・入所している人は114人であり、そのうち「今のまま生活したい」が最も多く67人(58.8%)、次いで「家族と一緒に生活したい」が17人(14.9%)などとなっています。



## ② 地域で生活するために、必要だと思う支援

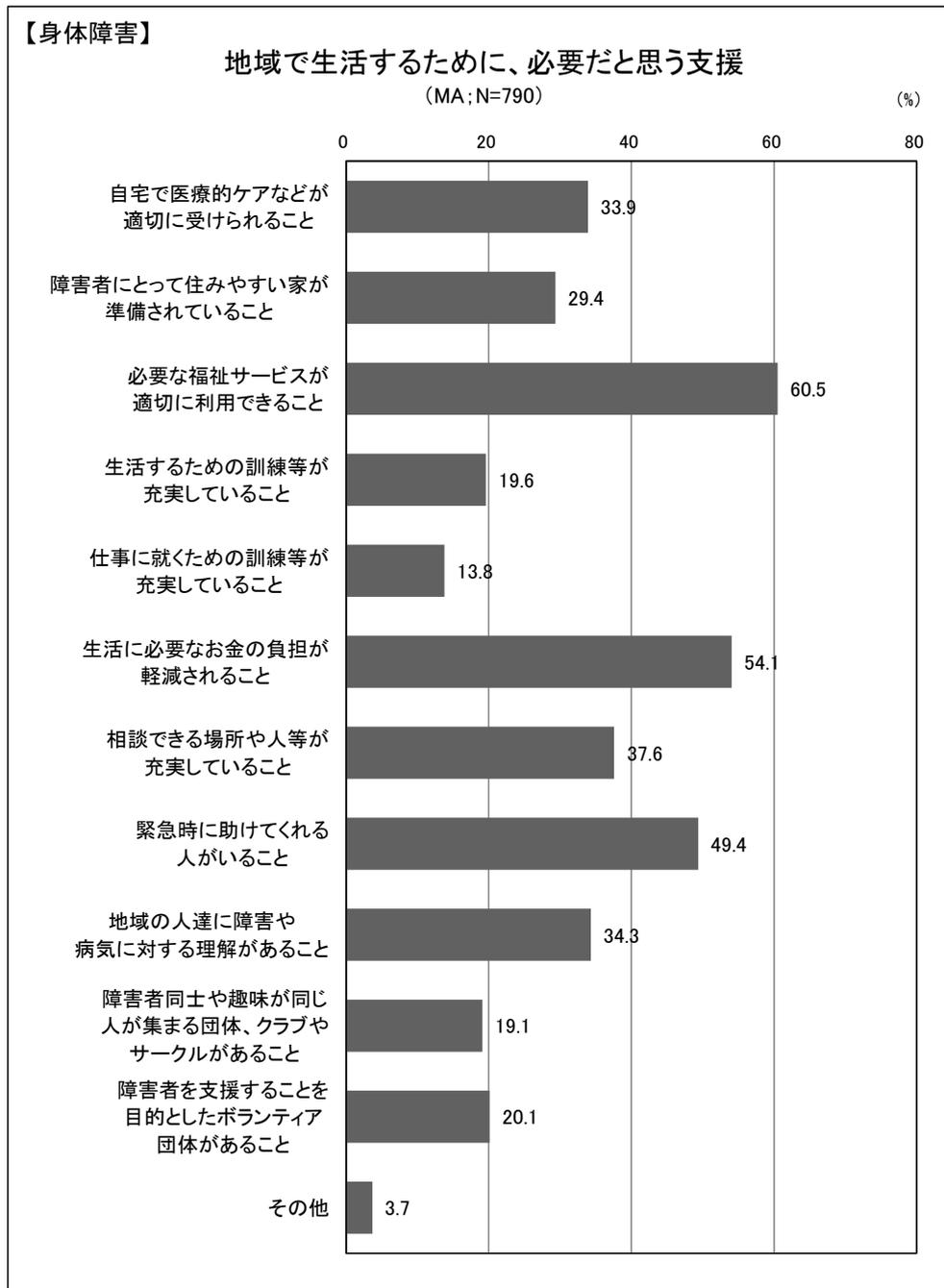
「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く58.8%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が56.9%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が48.9%などとなっています。



## 【障害種別】

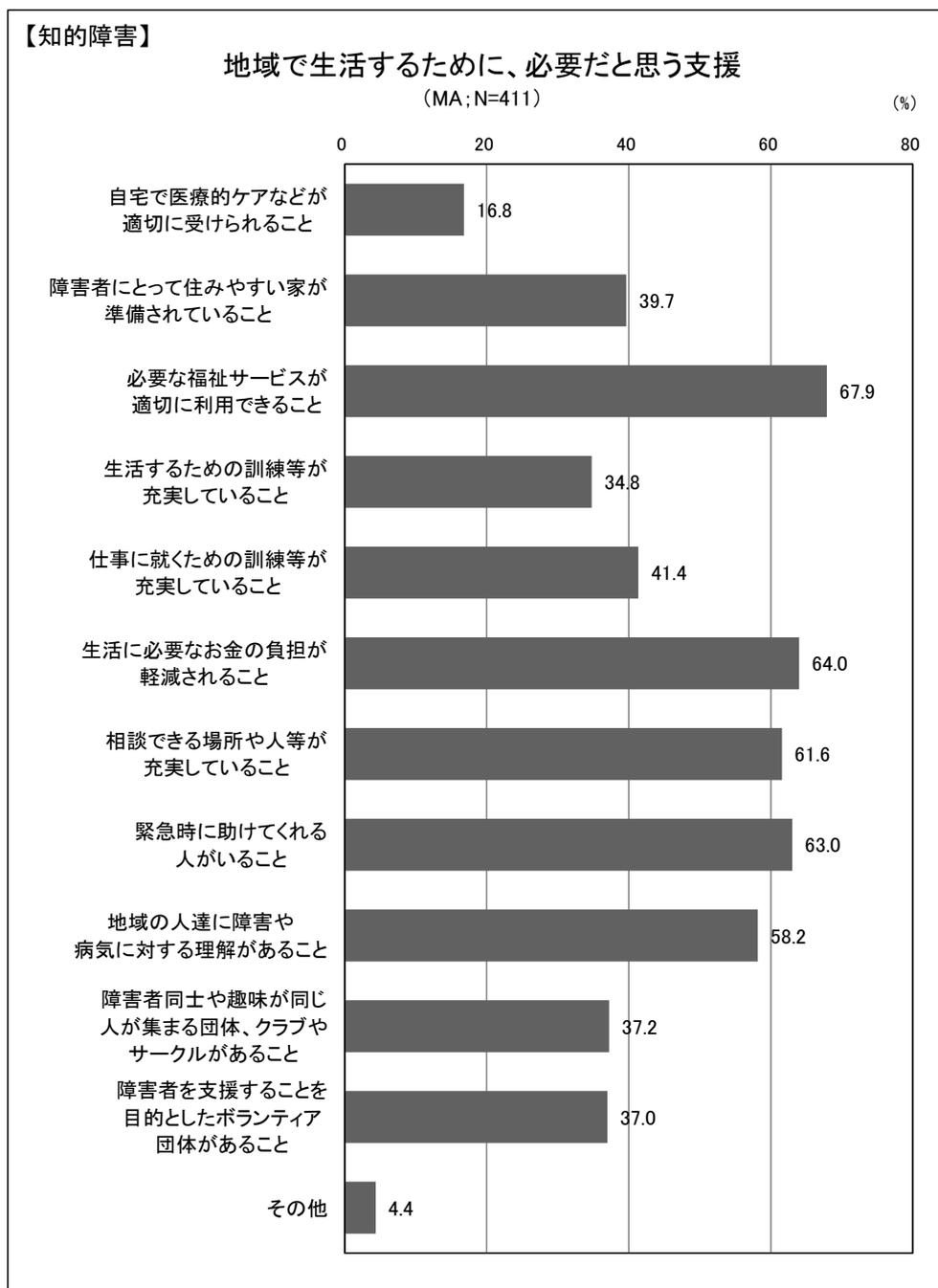
### (身体障害)

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く60.5%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が54.1%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が49.4%などとなっています。



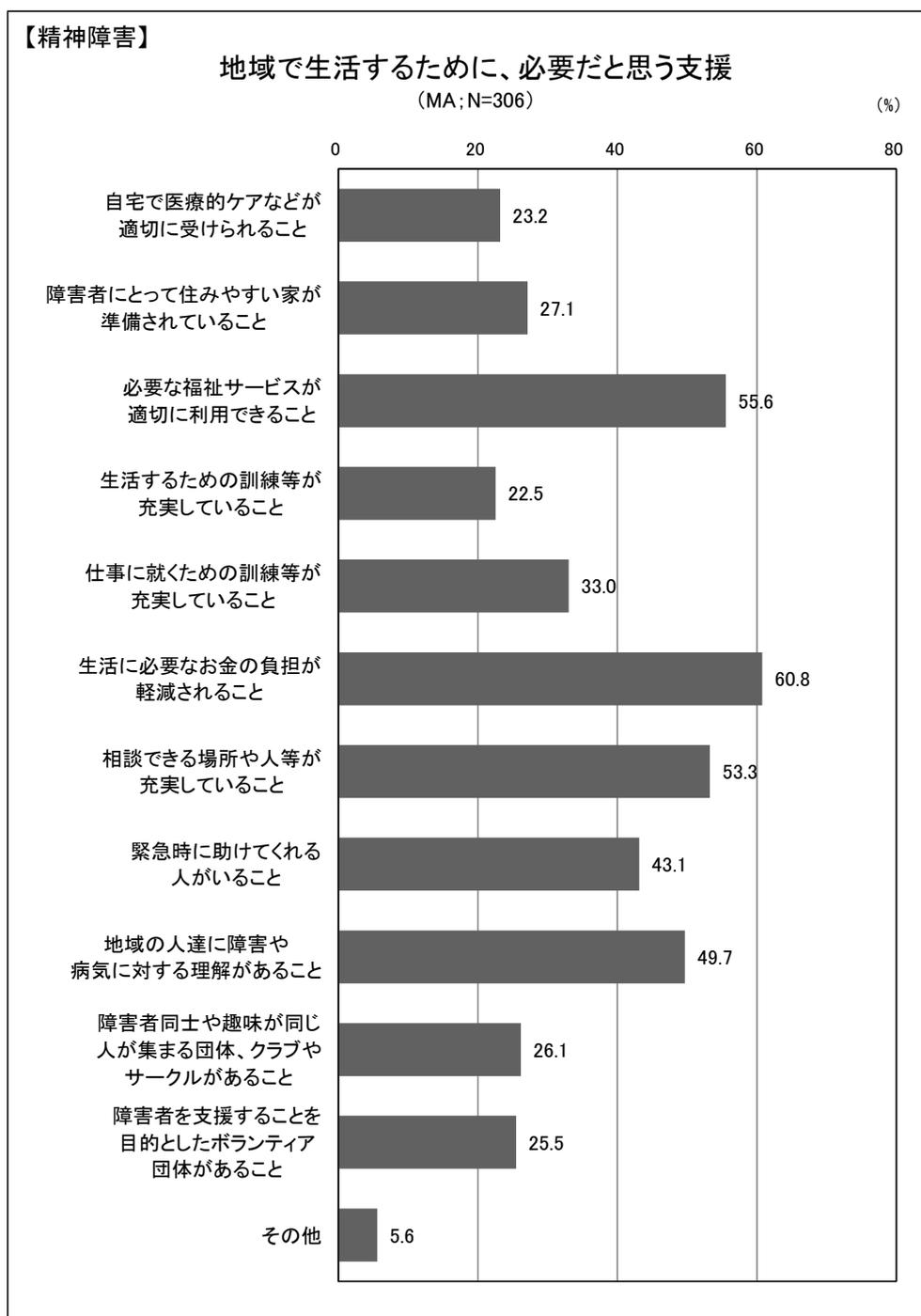
## (知的障害)

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く67.9%、次いで「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が64.0%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が63.0%などとなっています。



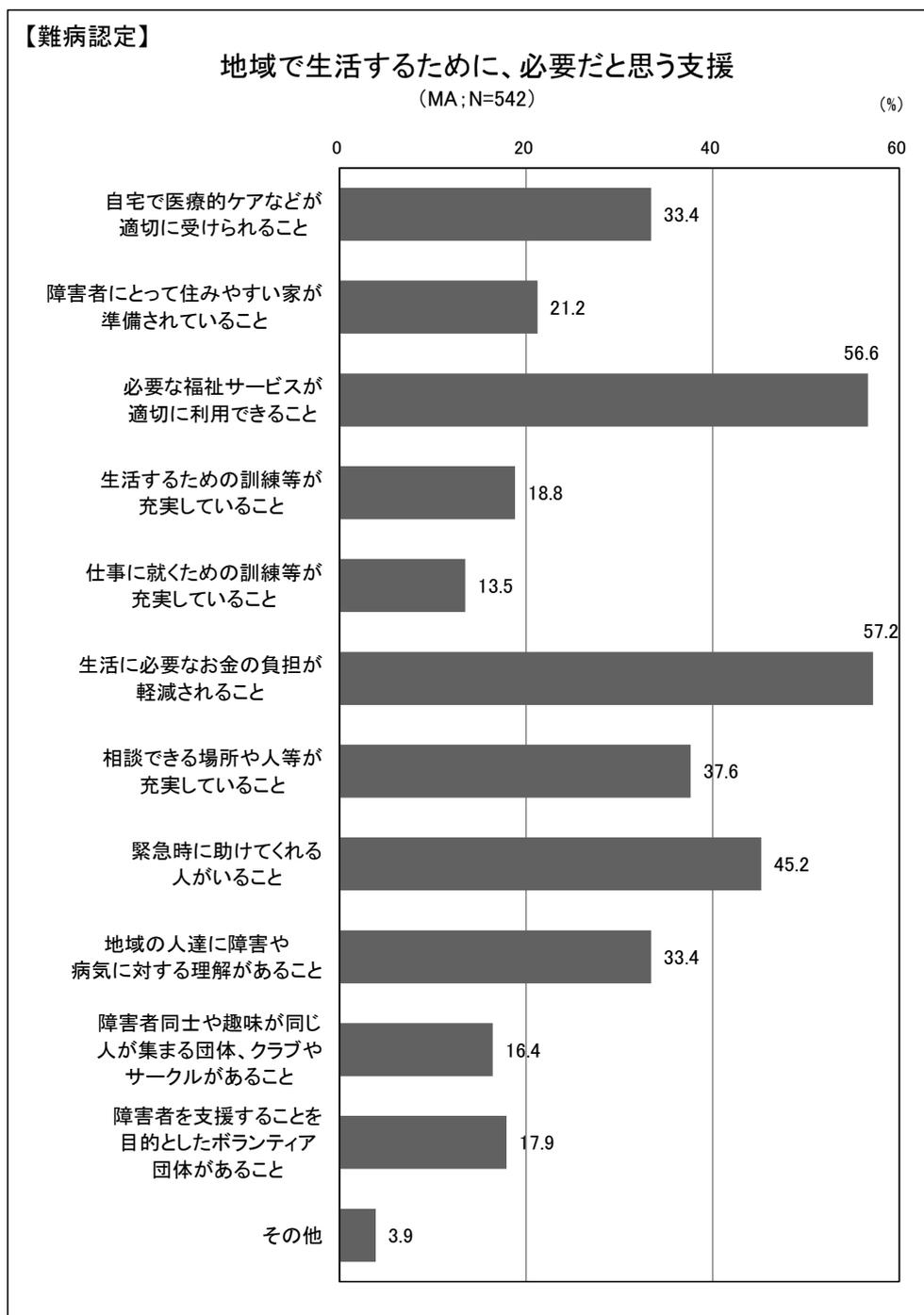
(精神障害)

「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く60.8%、次いで「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が55.6%、「相談できる場所や人等が充実していること」が53.3%などとなっています。



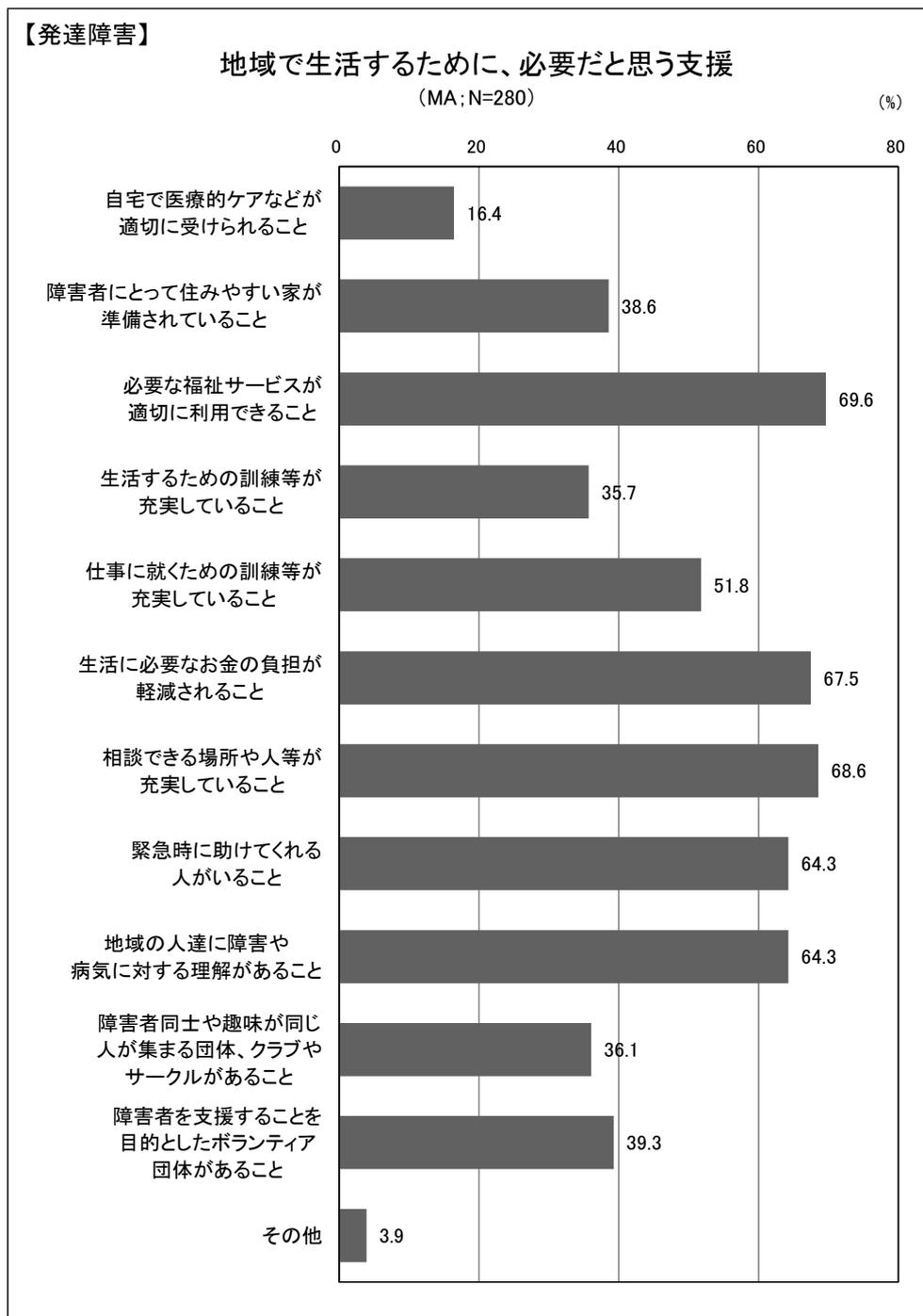
(難病認定)

「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く57.2%、次いで「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が56.6%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が45.2%などとなっています。



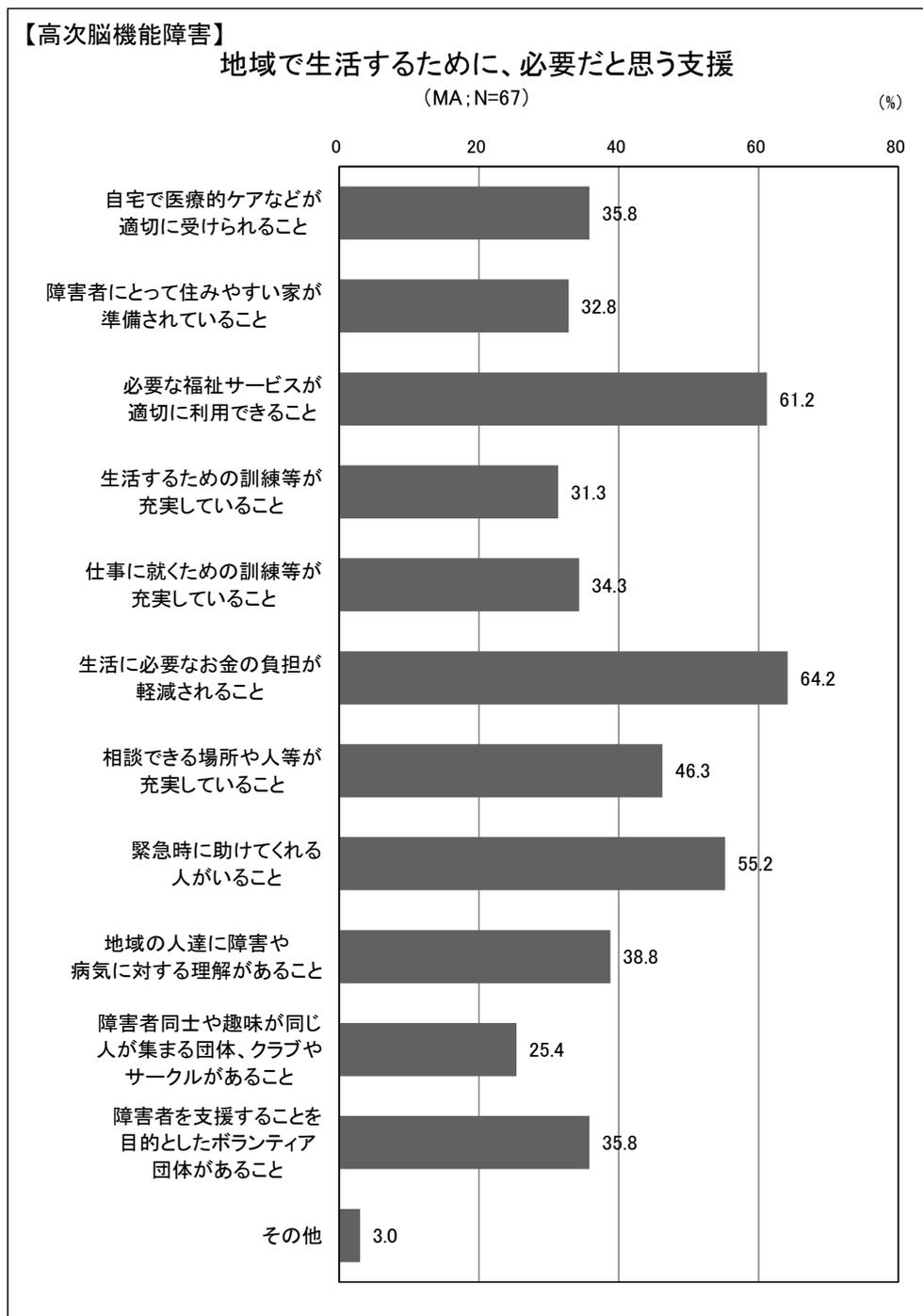
## (発達障害)

「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が最も多く69.6%、次いで「相談できる場所や人等が充実していること」が68.6%、「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が67.5%などとなっています。



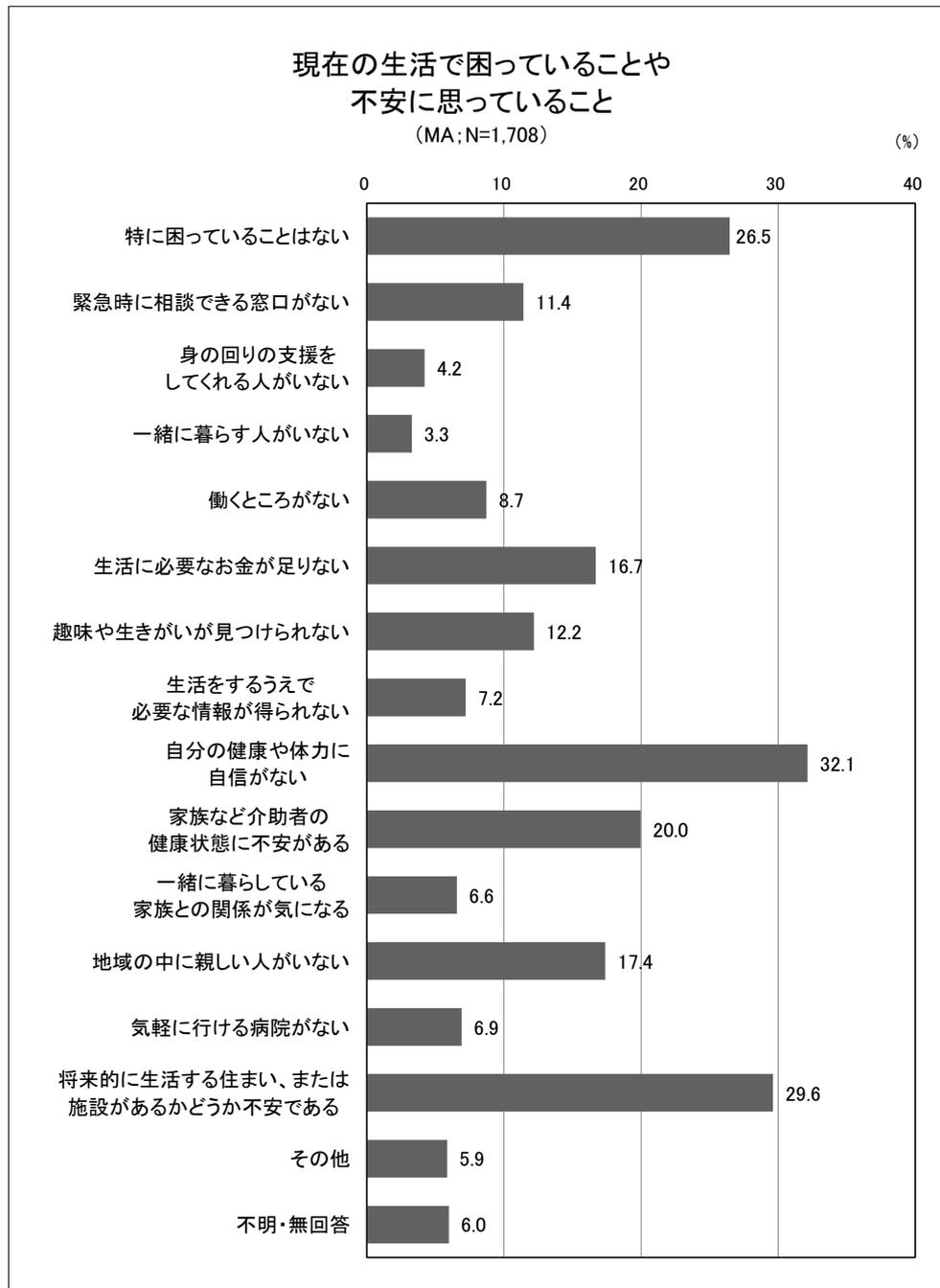
## (高次脳機能障害)

「生活に必要なお金の負担が軽減されること」が最も多く64.2%、次いで「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が61.2%、「緊急時に助けてくれる人がいること」が55.2%などとなっています。



### ③ 現在の生活で困っていることや不安に思っていること

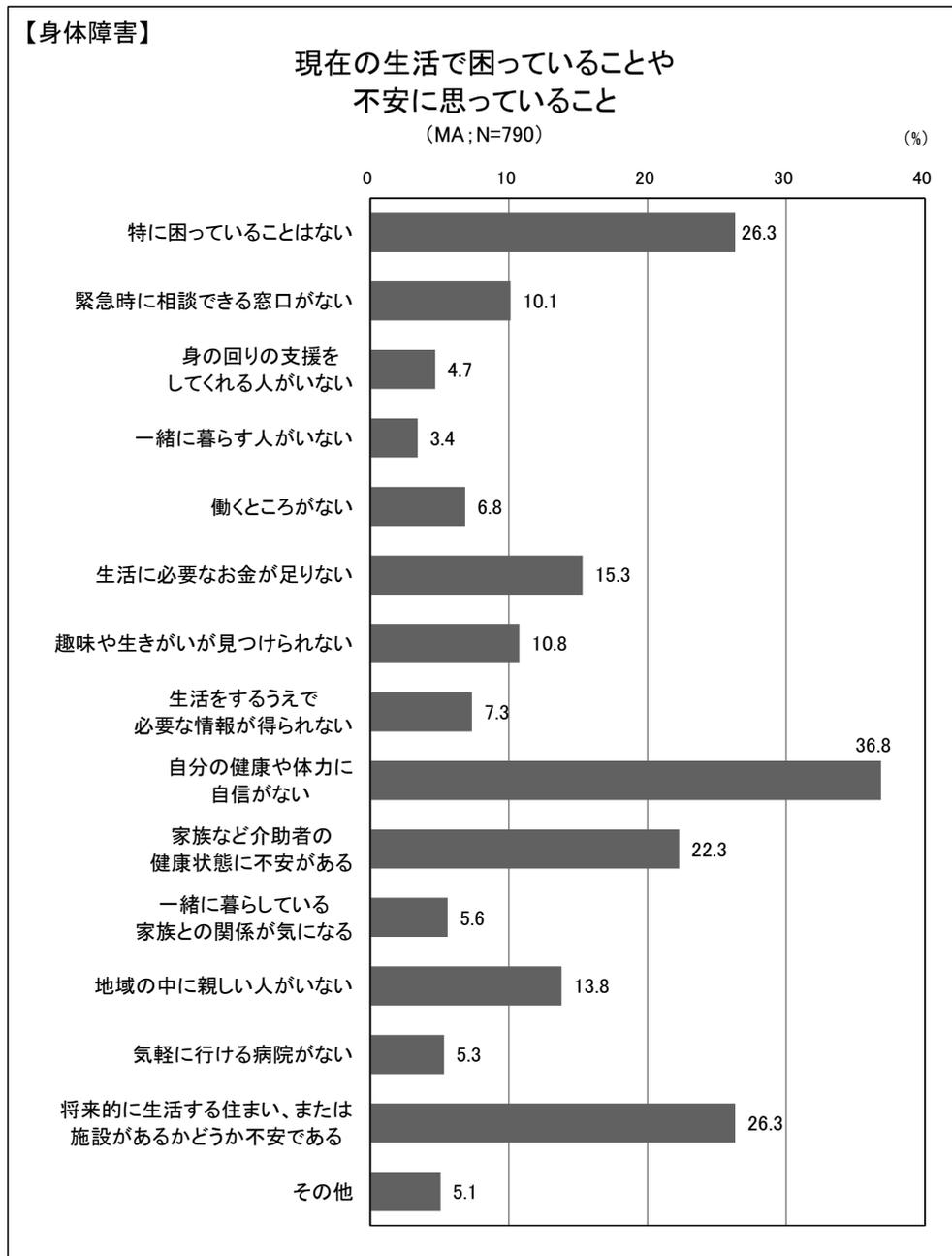
「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く32.1%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が29.6%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が20.0%などとなっています。



## 【障害種別】

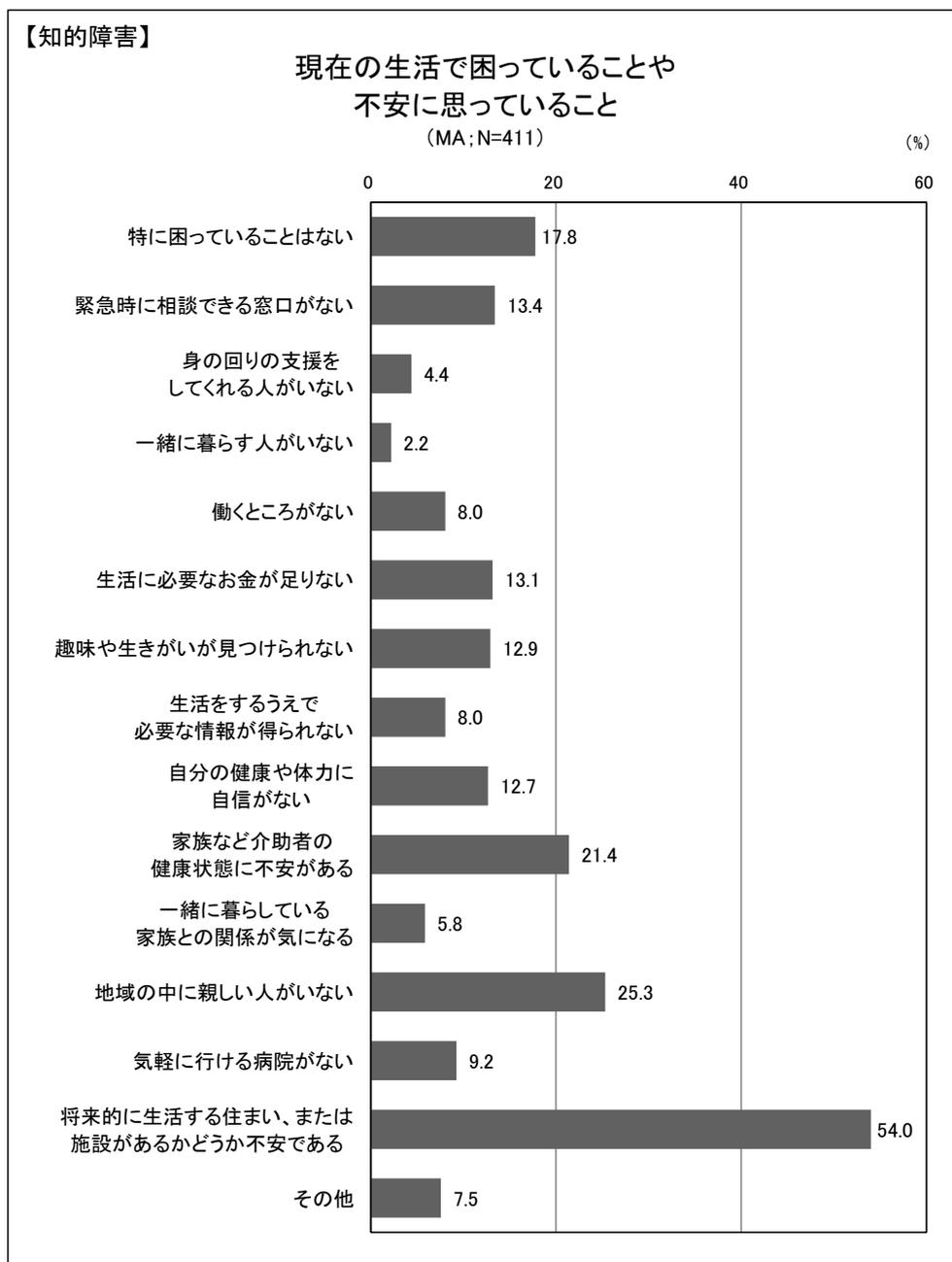
### （身体障害）

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く36.8%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が26.3%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が22.3%などとなっています。



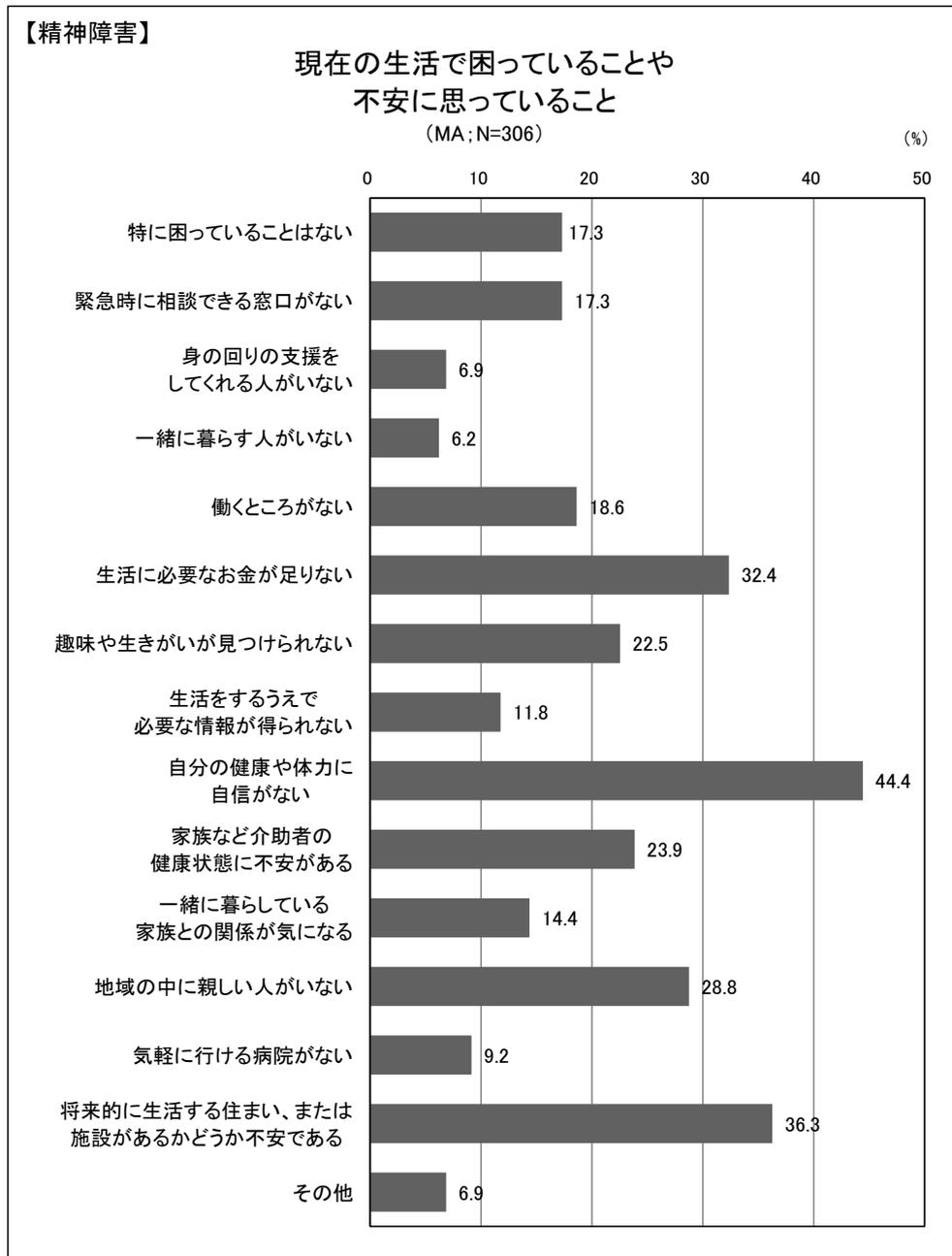
## (知的障害)

「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が最も多く54.0%、次いで「地域の中に親しい人がいない」が25.3%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が21.4%などとなっています。



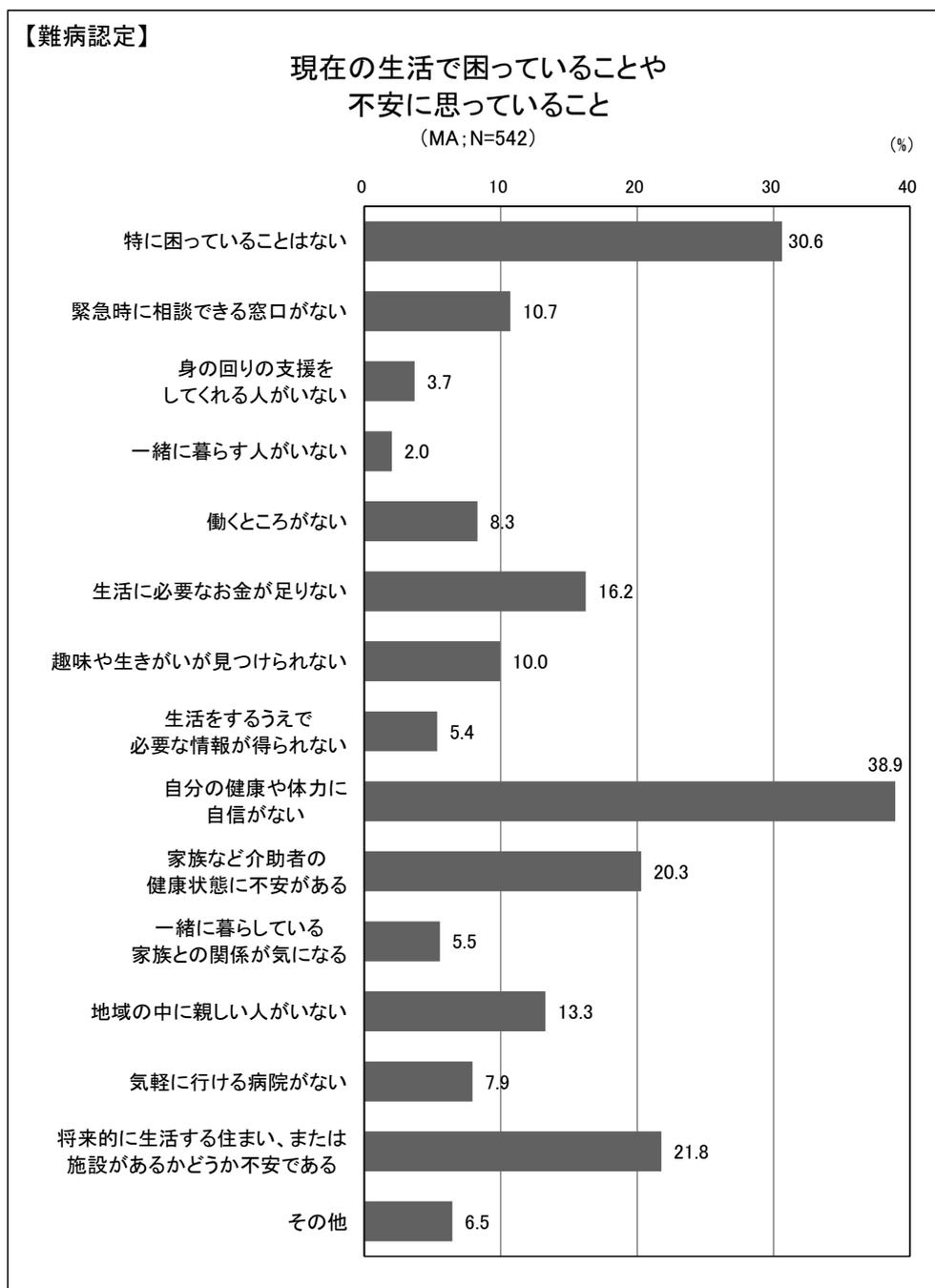
(精神障害)

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く44.4%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が36.3%、「生活に必要なお金が足りない」が32.4%などとなっています。



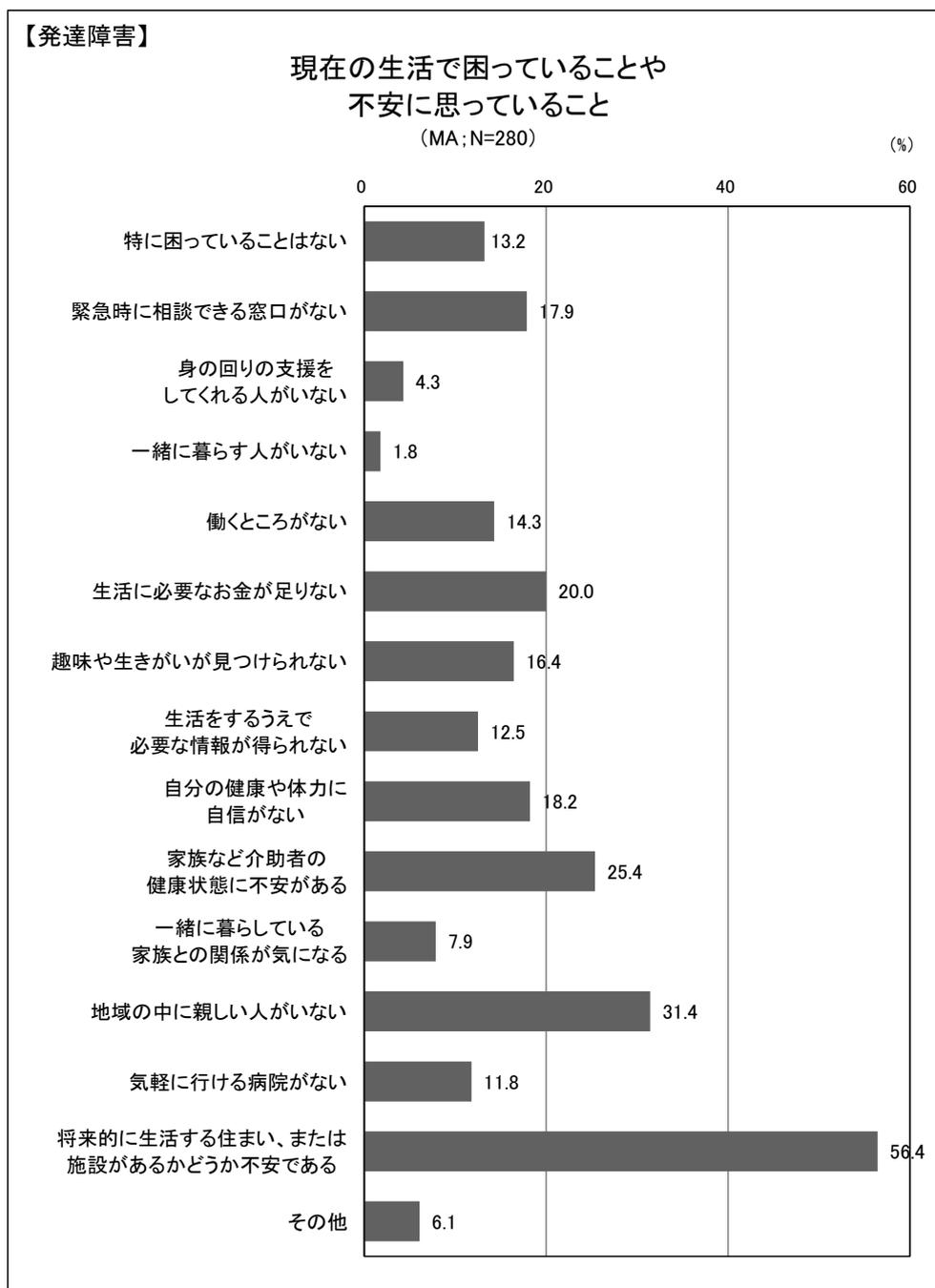
## (難病認定)

「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く38.9%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が21.8%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が20.3%などとなっています。



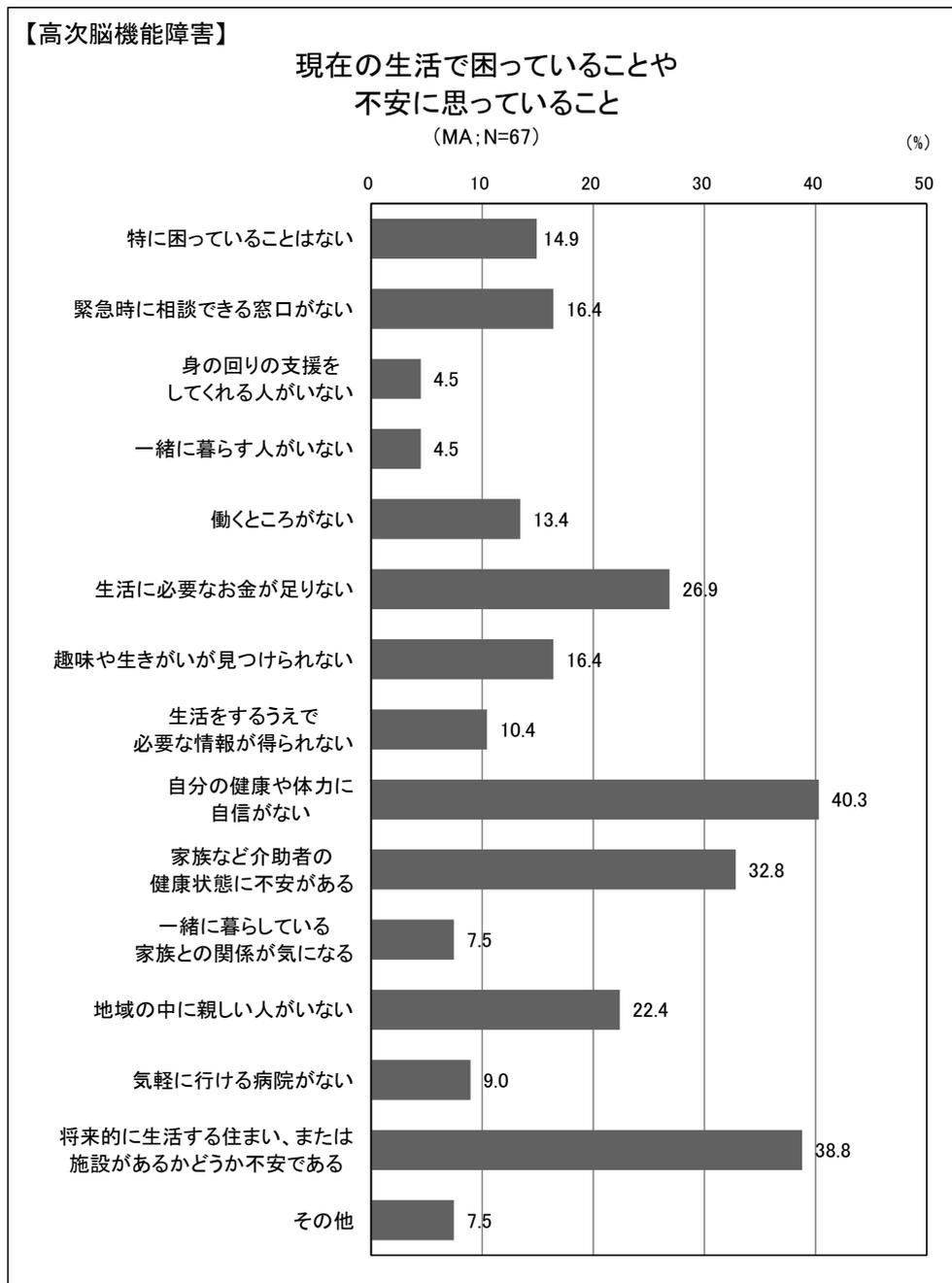
## (発達障害)

「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が最も多く56.4%、次いで「地域の中に親しい人がいない」が31.4%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が25.4%などとなっています。



## (高次脳機能障害)

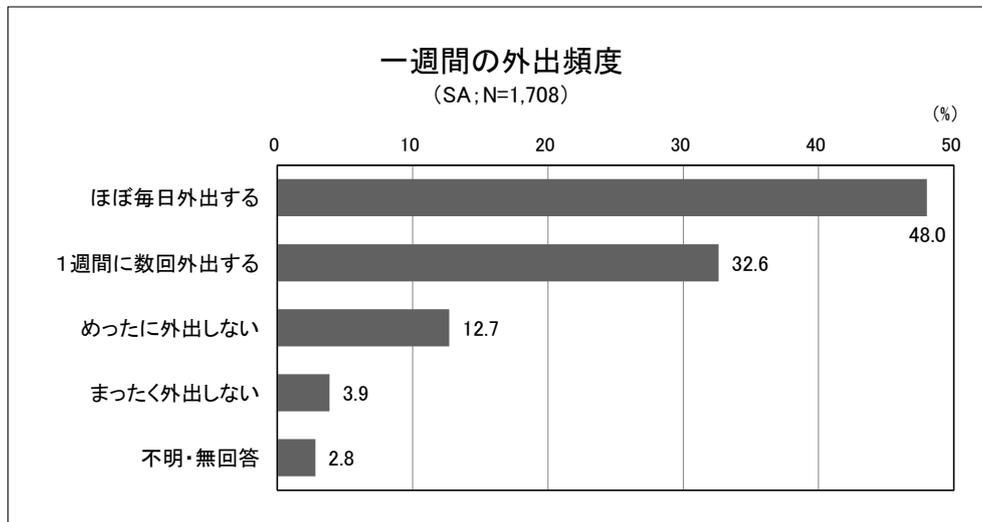
「自分の健康や体力に自信がない」が最も多く40.3%、次いで「将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である」が38.8%、「家族など介助者の健康状態に不安がある」が32.8%などとなっています。



#### (4) 日中活動や就労について

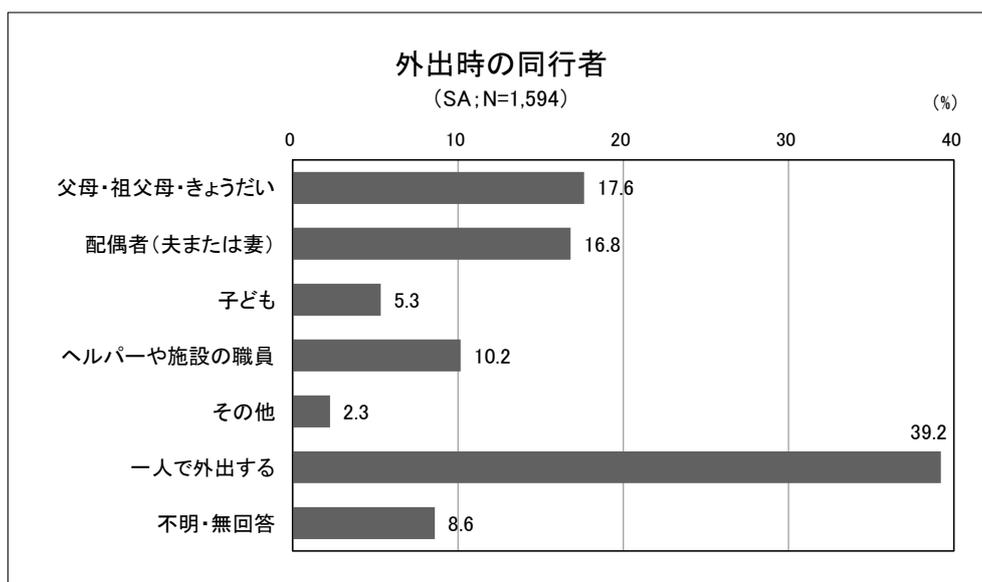
##### ①-1 一週間の外出頻度

「ほぼ毎日外出する」が最も多く48.0%、次いで「1週間に数回外出する」が32.6%、「めったに外出しない」が12.7%などとなっています。



##### ①-2 外出時の同行者

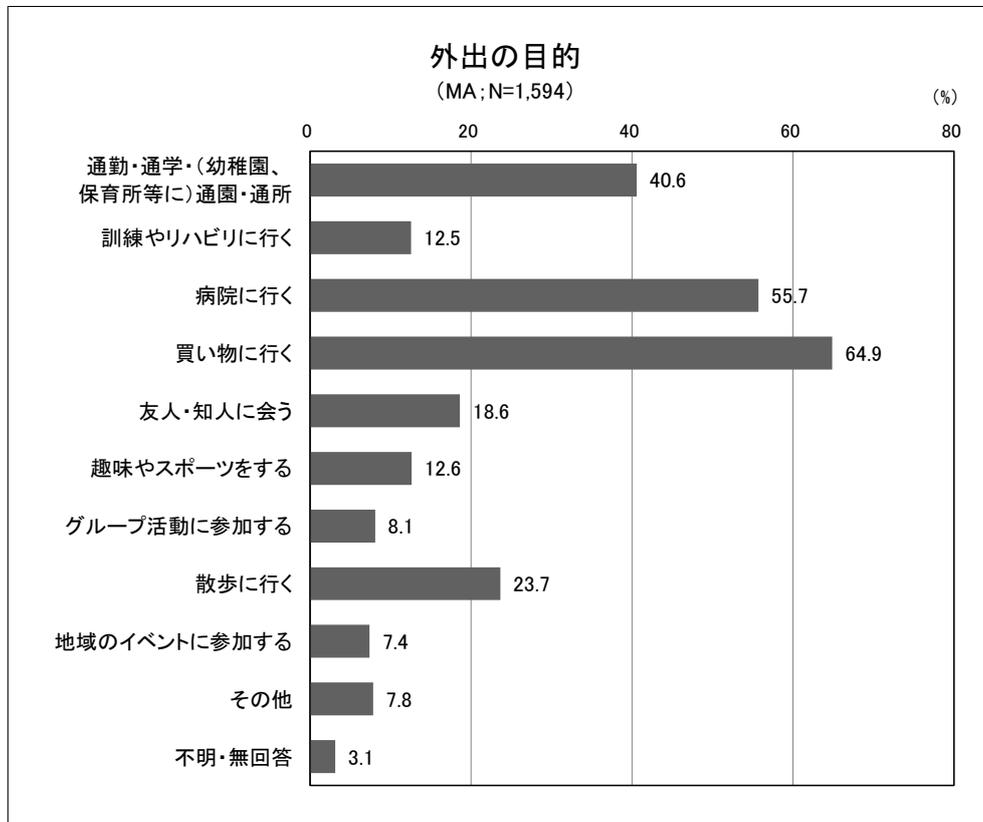
「一人で外出する」が最も多く39.2%、次いで「父母・祖父母・きょうだい」が17.6%、「配偶者(夫または妻)」が16.8%などとなっています。



※前問で「ほぼ毎日外出する」「1週間に数回外出する」「めったに外出しない」と回答した人を対象とした設問です。

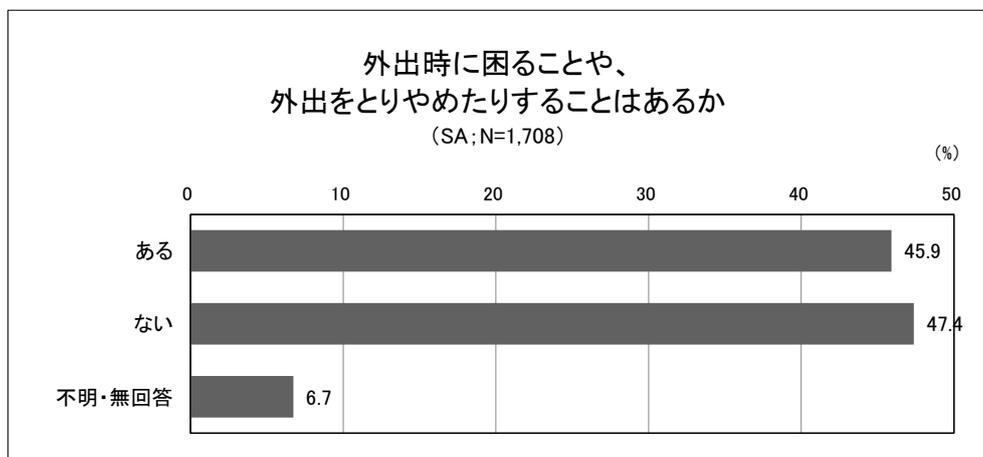
### ①-3 外出の目的

「買い物に行く」が最も多く64.9%、次いで「病院に行く」が55.7%、「通勤・通学・（幼稚園、保育所等に）通園・通所」が40.6%などとなっています。



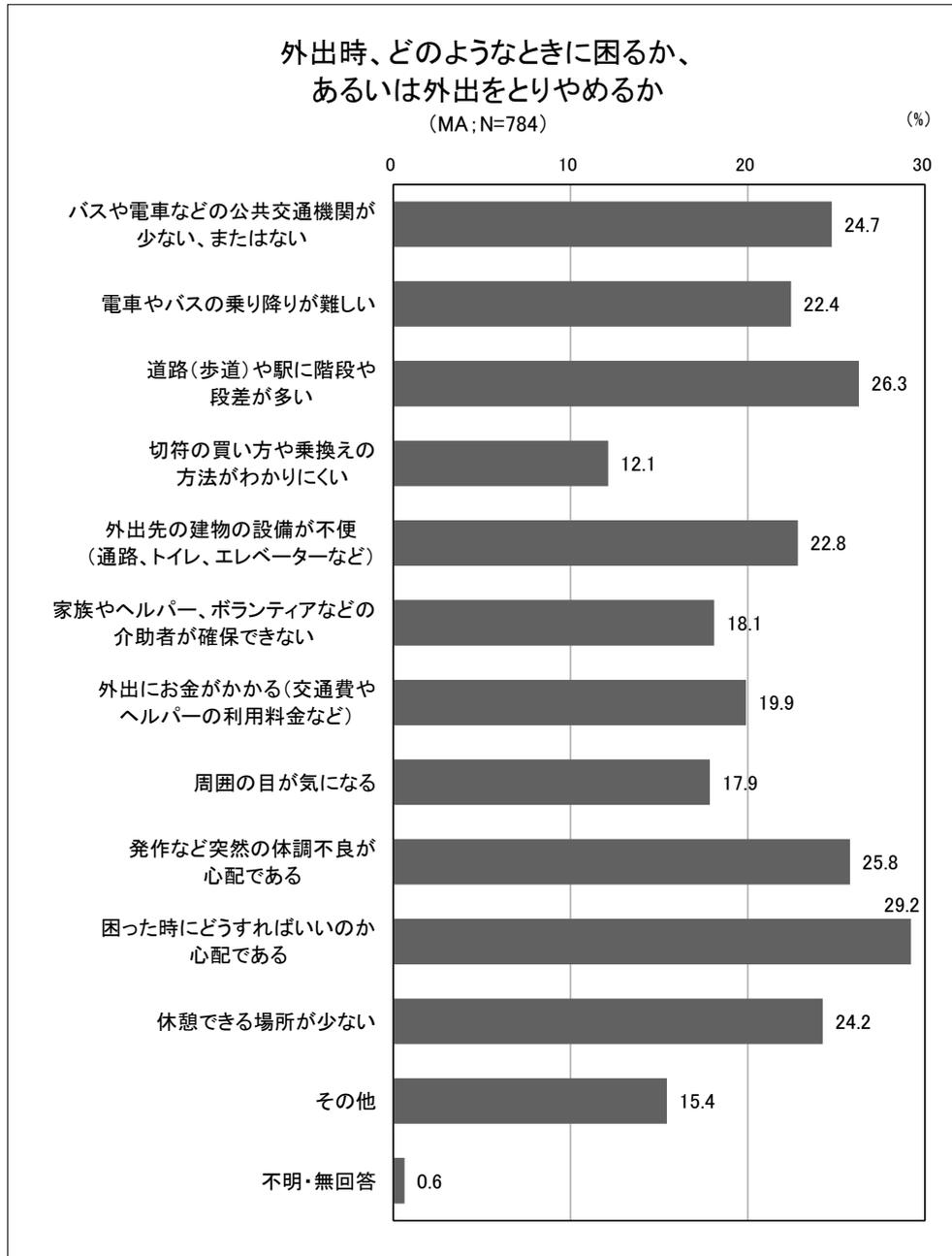
### ②-1 外出時に困ることや、外出をとりやめたりすることはあるか

「ある」が45.9%、「ない」が47.4%となっています。



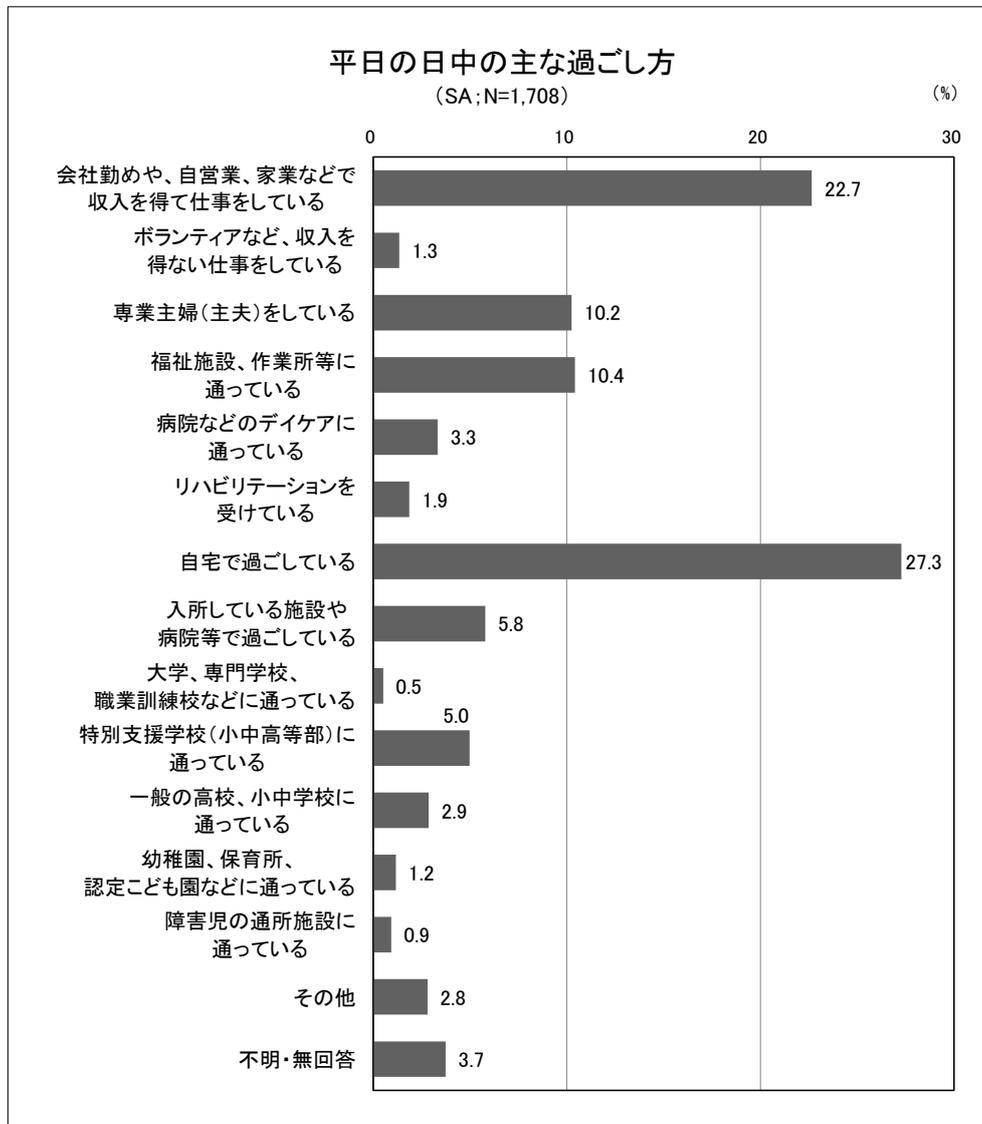
## ②-2 外出時、どのようなときに困るか、あるいは外出をとりやめるか

「困った時にどうすればいいのか心配である」が最も多く29.2%、次いで「道路(歩道)や駅に階段や段差が多い」が26.3%、「発作など突然の体調不良が心配である」が25.8%などとなっています。



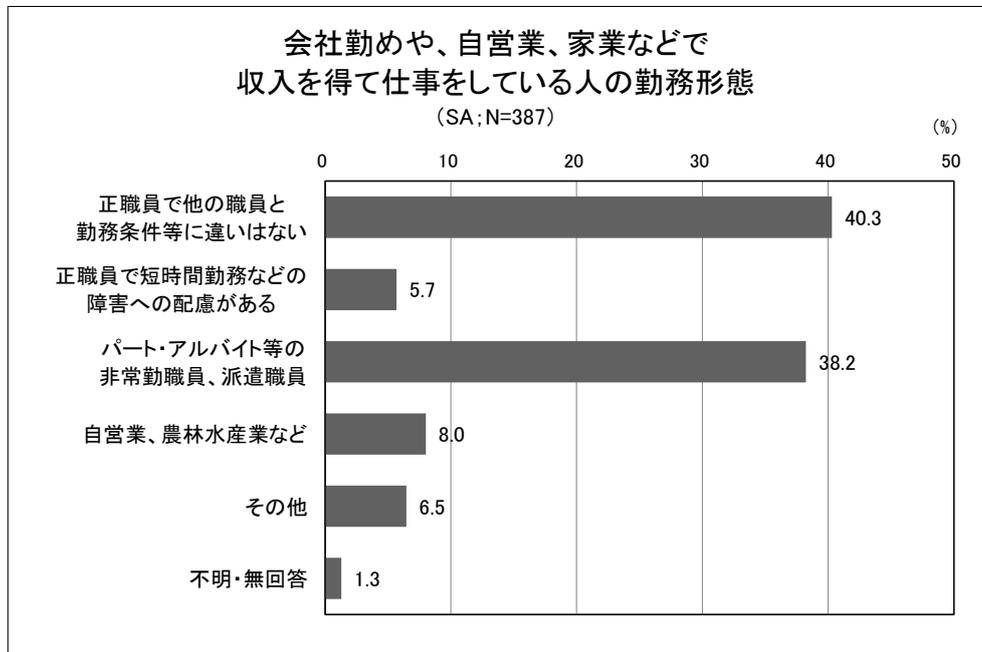
### ③-1 平日の日中の主な過ごし方

「自宅で過ごしている」が最も多く27.3%、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が22.7%、「福祉施設、作業所等に通っている」が10.4%などとなっています。



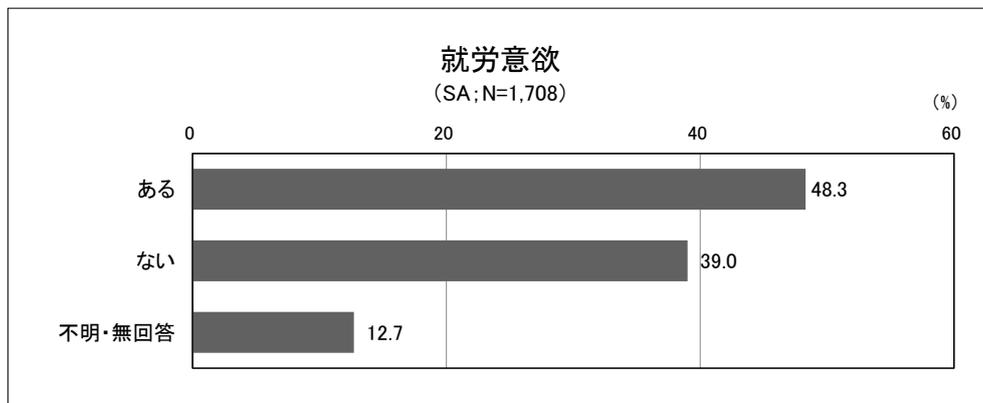
### ③-2 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている人の勤務形態

「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が最も多く40.3%、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が38.2%などとなっています。



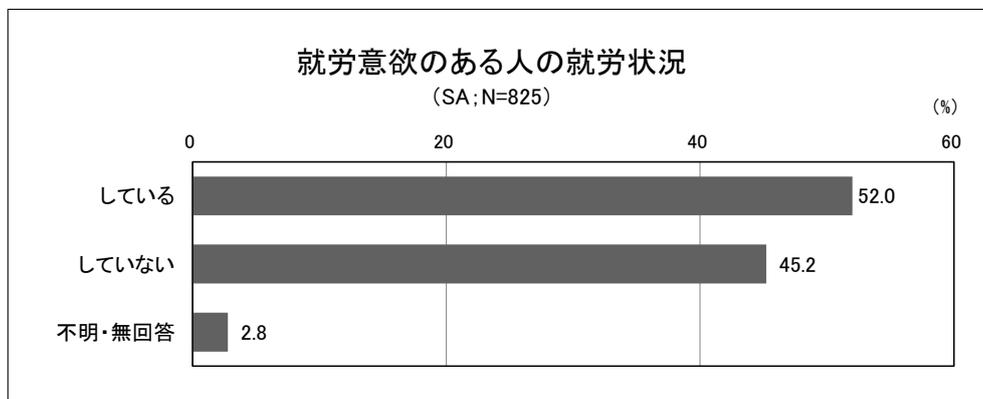
#### ④－1 就労意欲

「ある」が48.3%、「ない」が39.0%となっています。



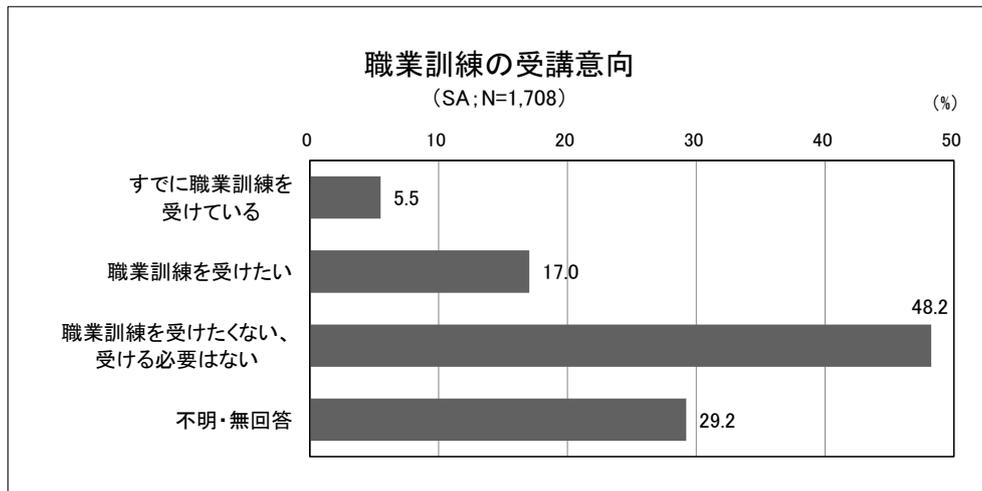
#### ④－2 就労意欲のある人の就労状況

「している」が52.0%、「していない」が45.2%となっています。



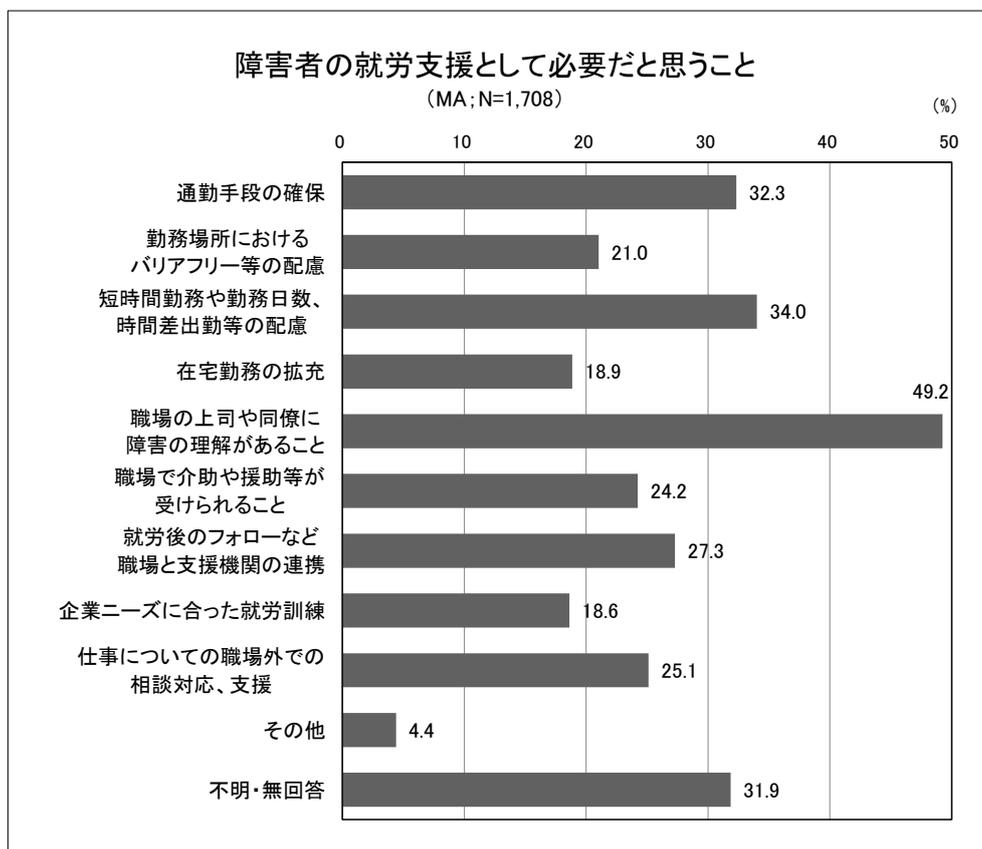
## ⑤ 職業訓練の受講意向

「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が最も多く48.2%、次いで「職業訓練を受けたい」が17.0%、「すでに職業訓練を受けている」が5.5%となっています。



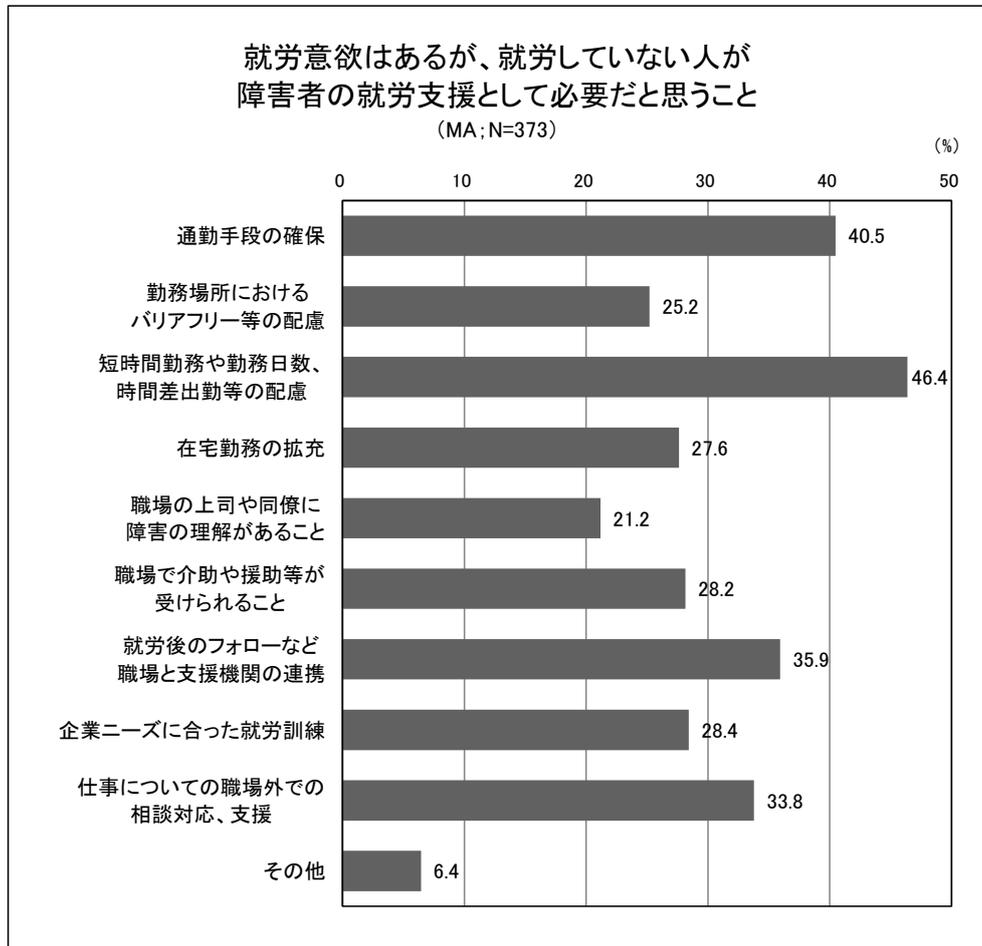
## ⑥-1 障害者の就労支援として必要だと思うこと

「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が最も多く49.2%、「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が34.0%、「通勤手段の確保」が32.3%などとなっています。



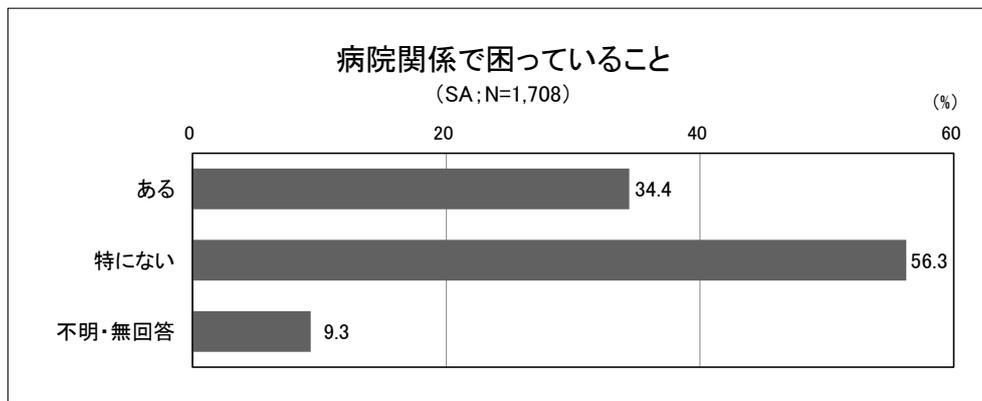
⑥ー2 就労意欲はあるが、就労していない人が障害者の就労支援として必要だと思うこと

「短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮」が最も多く46.4%、次いで「通勤手段の確保」が40.5%、「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」が35.9%などとなっています。



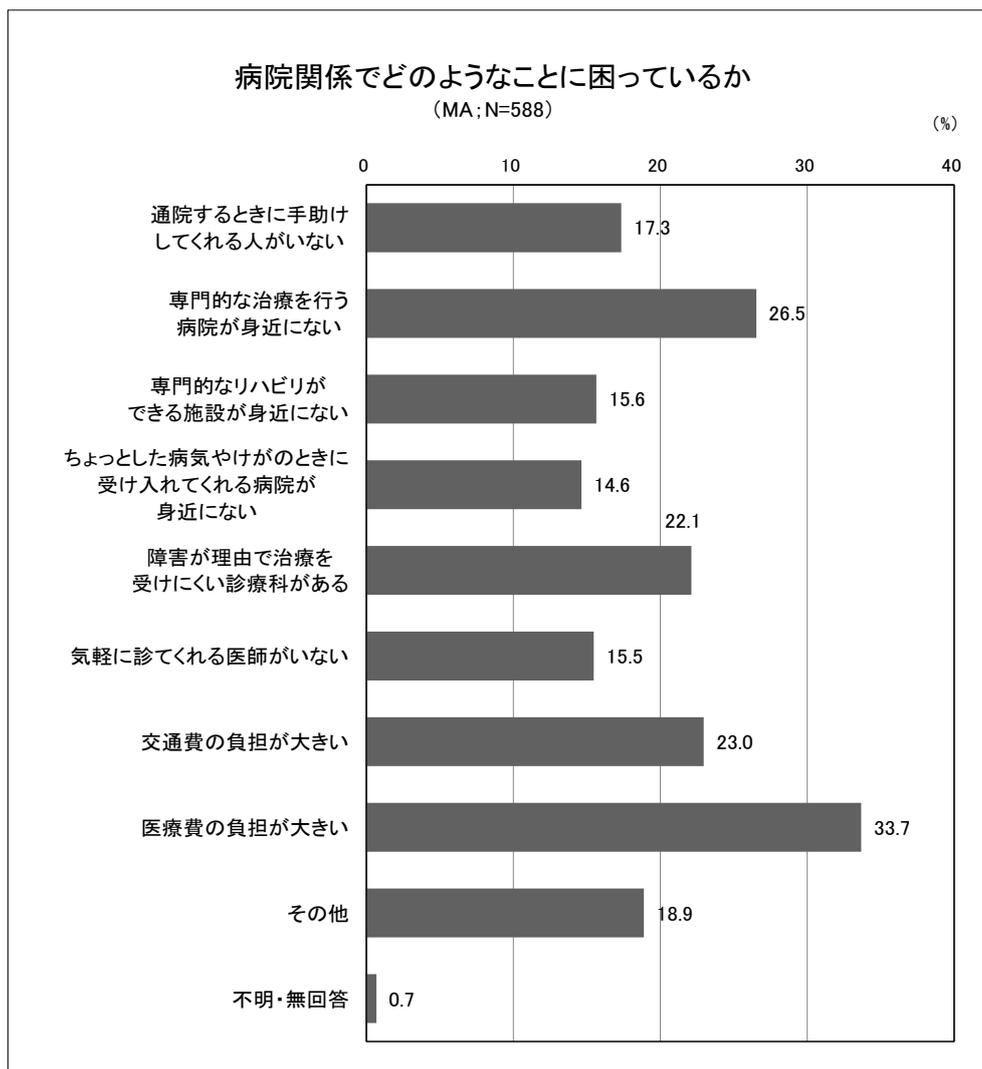
### ⑦-1 病院関係で困っていること

「ある」が33.3%、「特にない」が55.6%となっています。



### ⑦-2 病院関係でどのようなことに困っているか

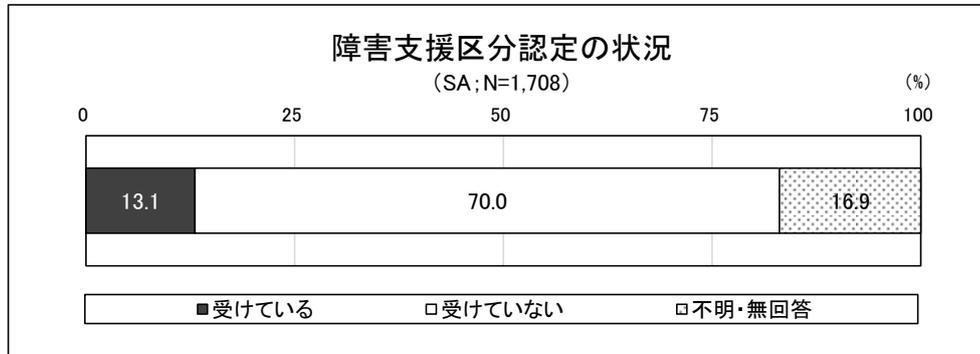
病院関係で困っていることがある人は588人であり、そのうち「医療費の負担が大きい」が最も多く33.7%、「専門的な治療を行う病院が身近にない」が26.5%、「交通費の負担が大きい」が23.0%などとなっています。



## (5) 障害福祉サービス等利用について

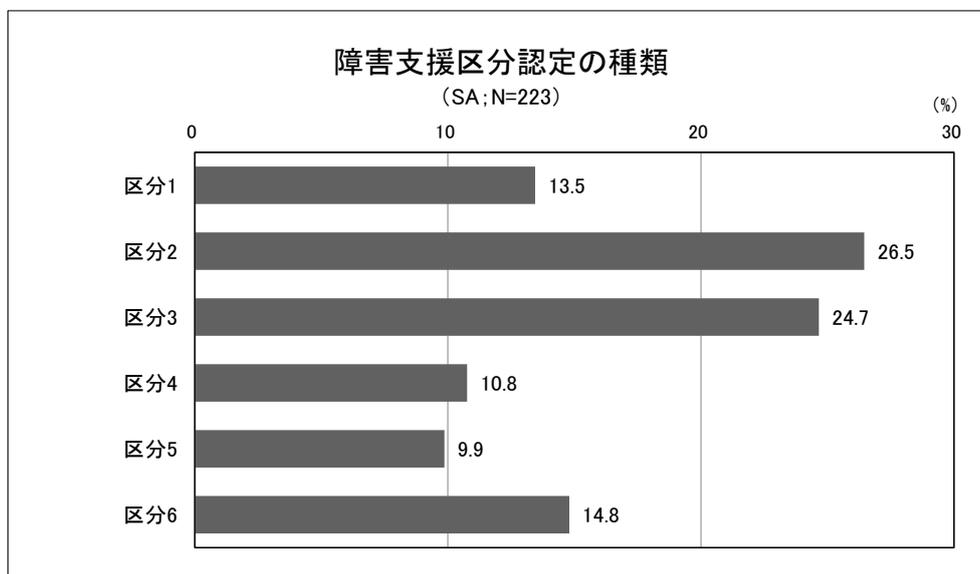
### ①-1 障害支援区分認定の状況

「受けている」が13.1%、「受けていない」が70.0%となっています。



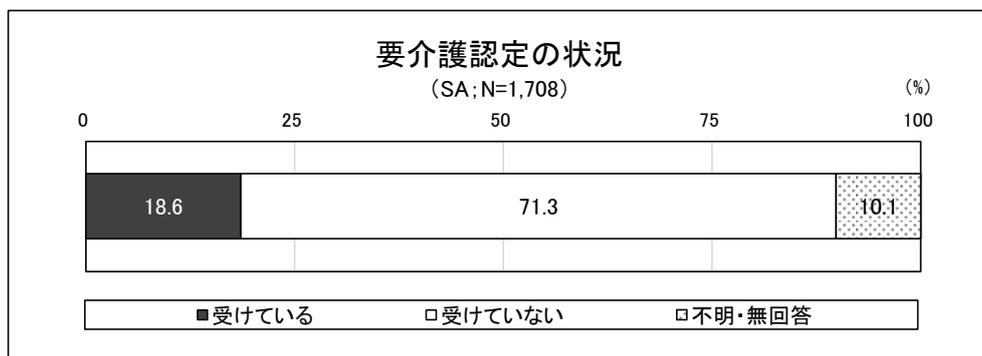
### ①-2 障害支援区分認定の種類

障害支援区分認定を受けている人は223人であり、そのうち「区分2」が最も多く59人(26.5%)、次いで「区分3」が55人(24.7%)、「区分6」が33人(14.8%)などとなっています。



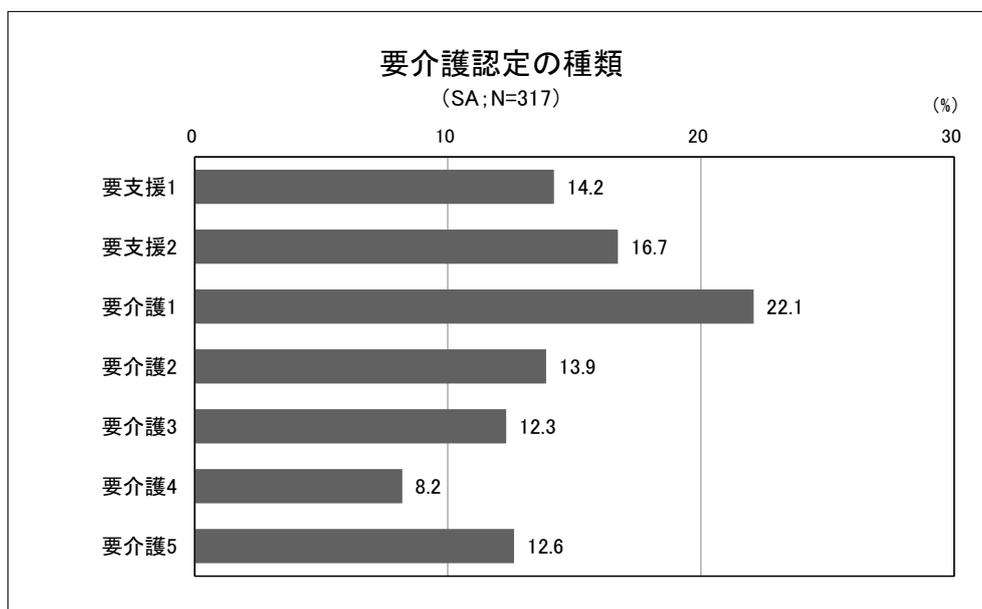
## ②-1 要介護認定の状況

「受けている」が18.6%、「受けていない」が71.3%となっています。



## ②-2 要介護認定の種類

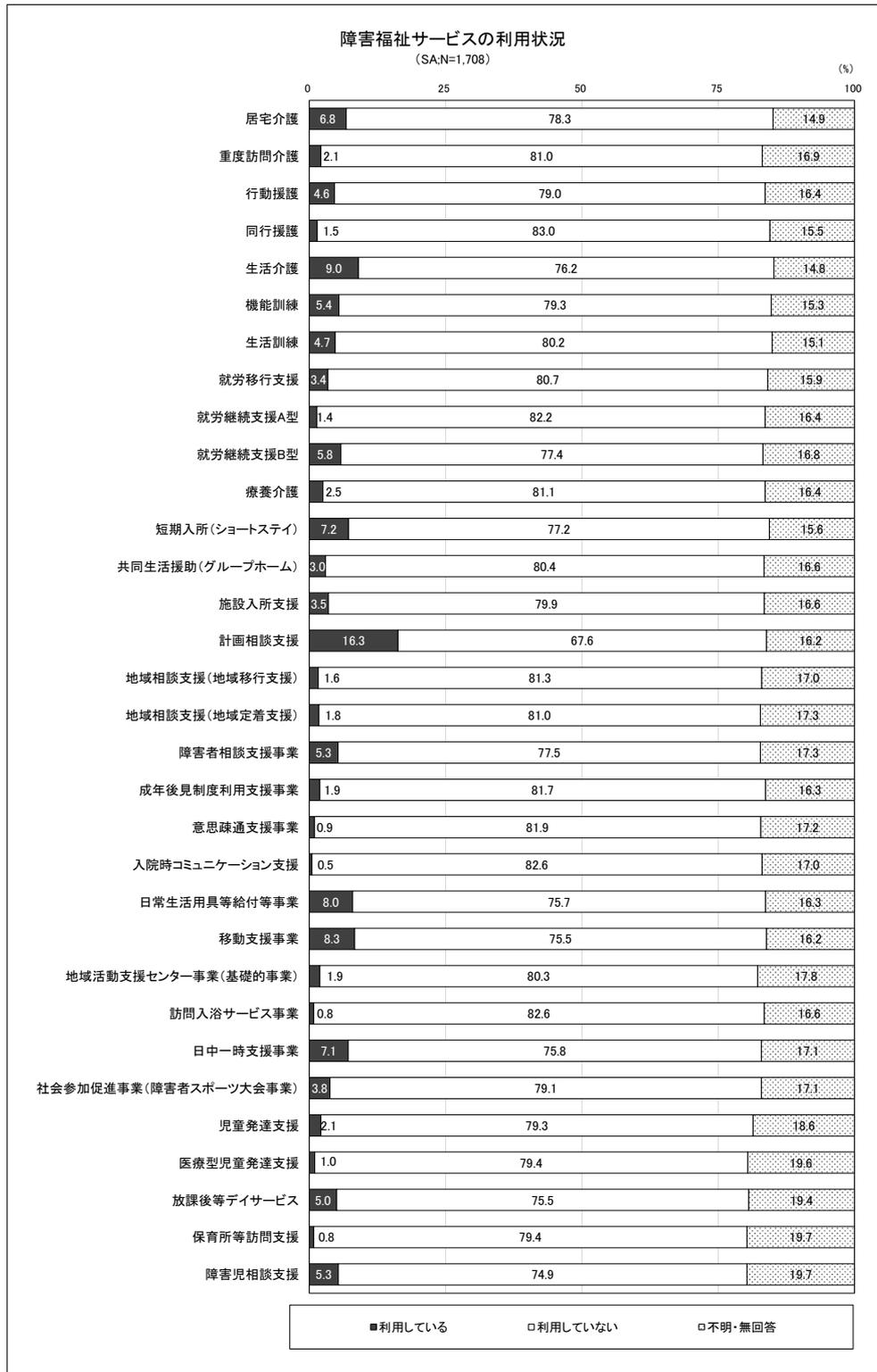
要介護認定を受けている人は317人であり、そのうち「介護1」が最も多く70人(22.1%)、次いで「要支援2」が53人(16.7%)、「要支援1」が45人(14.2%)などとなっています。



### ③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「計画相談支援」が最も多く16.3%、次いで「生活介護」が9.0%、「移動支援事業」が8.3%などとなっています。

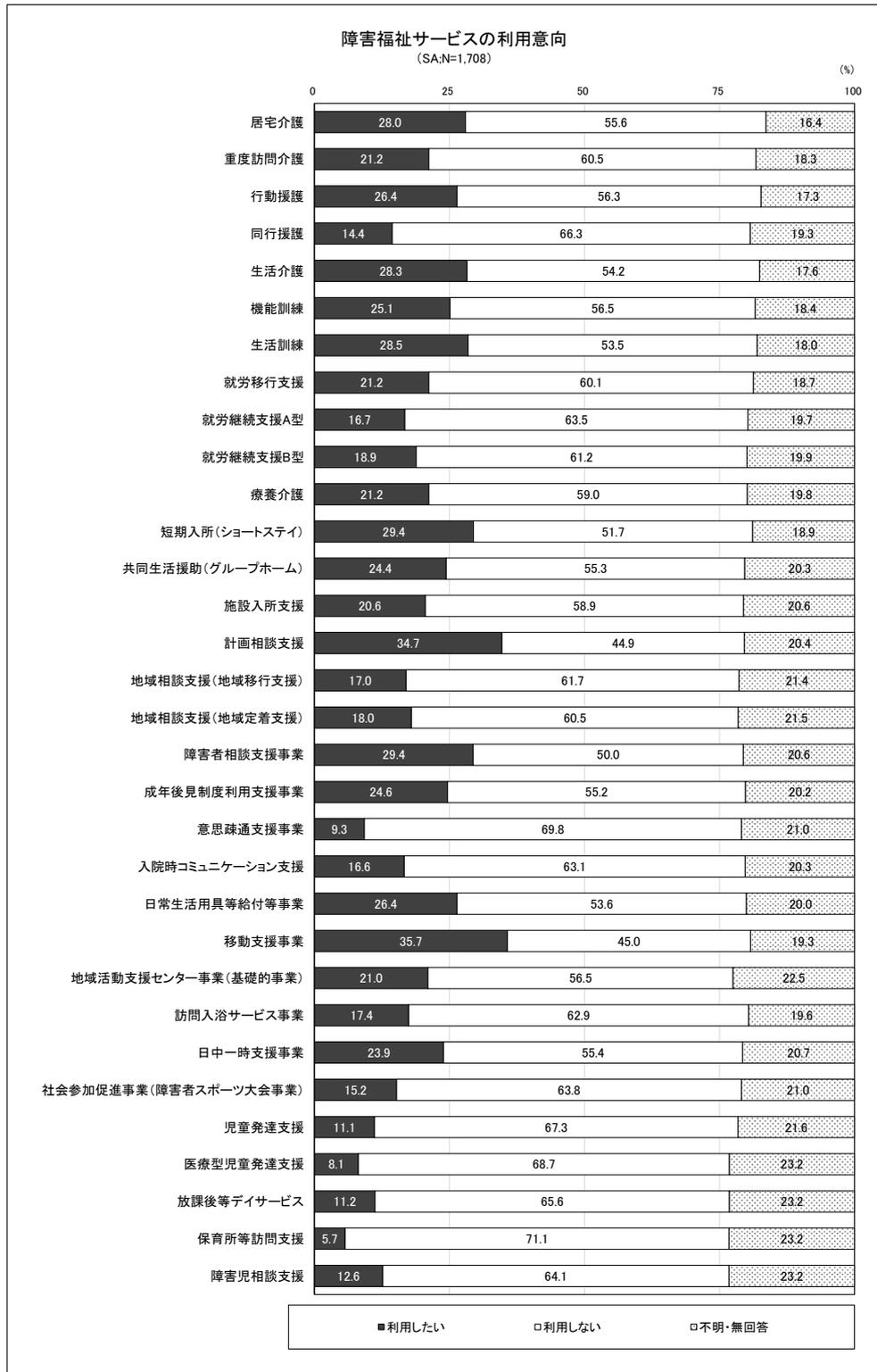
「利用していない」は「同行援護」が最も多く83.0%、次いで「入院時コミュニケーション支援」「訪問入浴サービス事業」がそれぞれ82.6%、「就労継続支援A型」が82.2%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「移動支援事業」が最も多く35.7%、次いで「計画相談支援」が34.7%、「短期入所（ショートステイ）」「障害者相談支援事業」がそれぞれ29.4%などとなっています。

「利用しない」は「保育所等訪問支援」が最も多く71.1%、次いで「意思疎通支援事業」が69.8%、「医療型児童発達支援」が68.7%などとなっています。



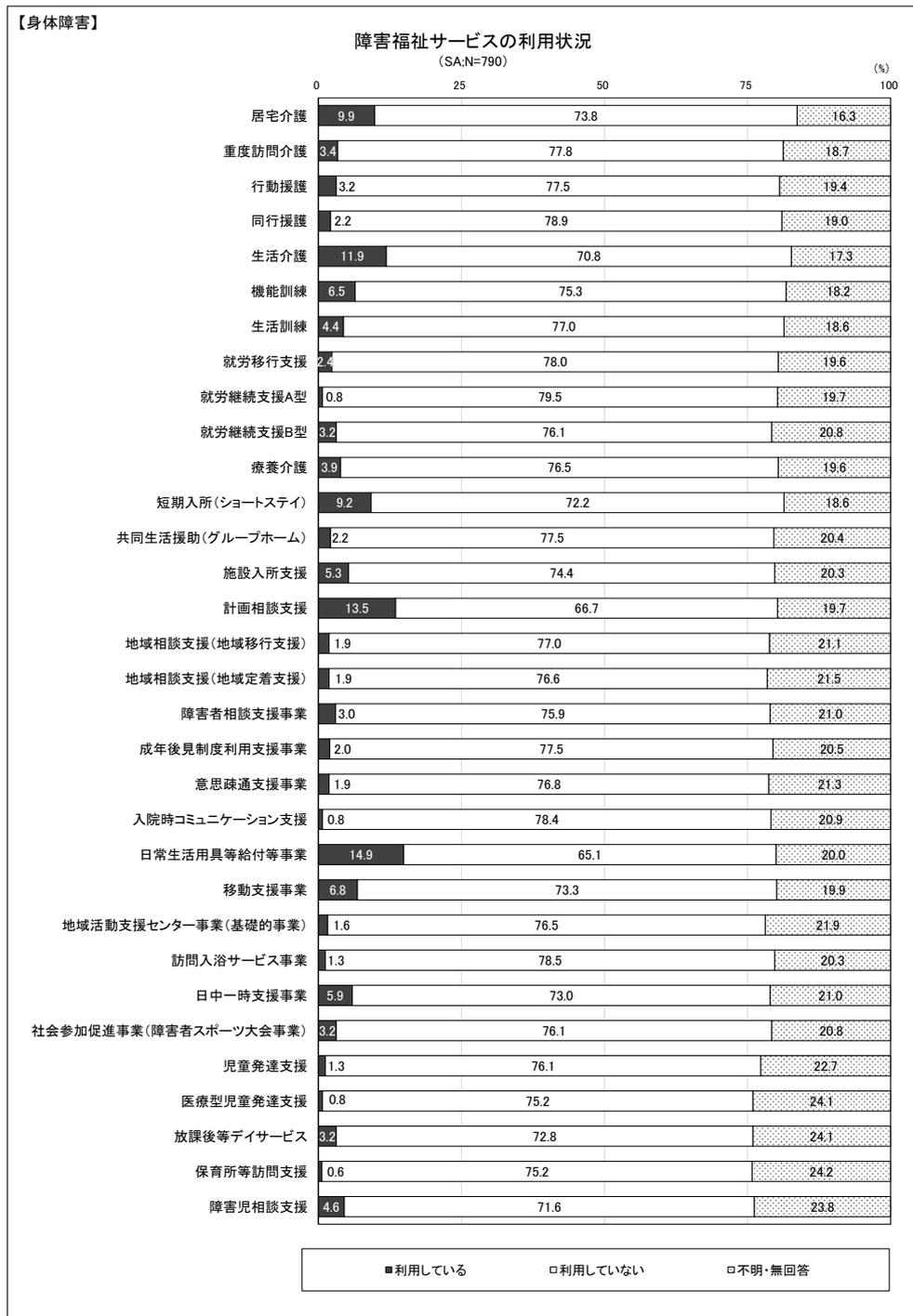
【障害種別】

(身体障害)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「日常生活用具等給付等事業」が最も多く14.9%、次いで「計画相談支援」が13.5%、「生活介護」が11.9%などとなっています。

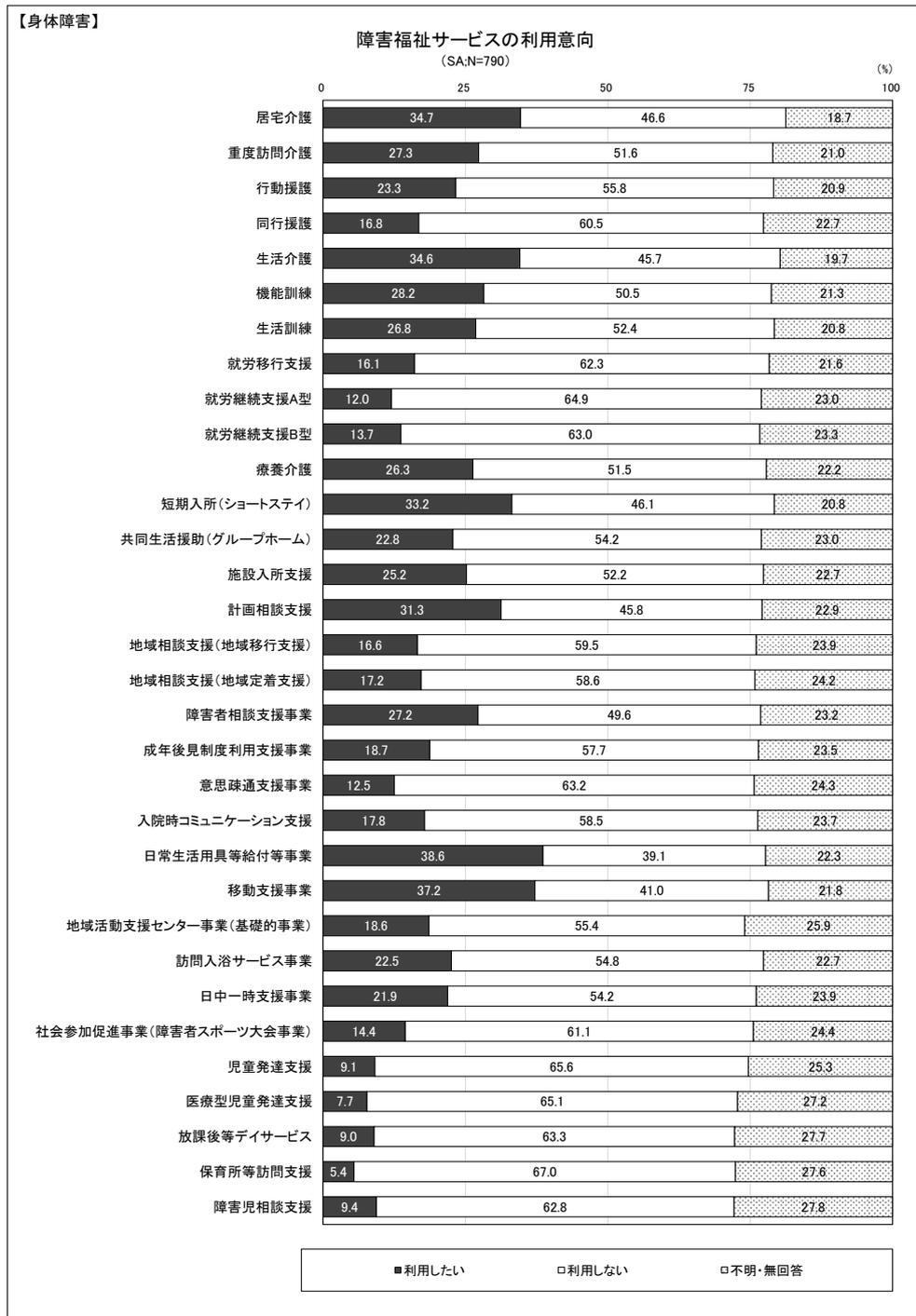
「利用していない」は「就労継続支援A型」が最も多く79.5%、次いで「同行援護」が78.9%、「訪問入浴サービス」が78.5%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「日常生活用具等給付等事業」が最も多く38.6%、次いで「移動支援事業」が37.2%、「居宅介護」が34.7%などとなっています。

「利用しない」は「保育所等訪問支援」が最も多く67.0%、次いで「児童発達支援」が65.6%、「医療型児童発達支援」が65.1%などとなっています。

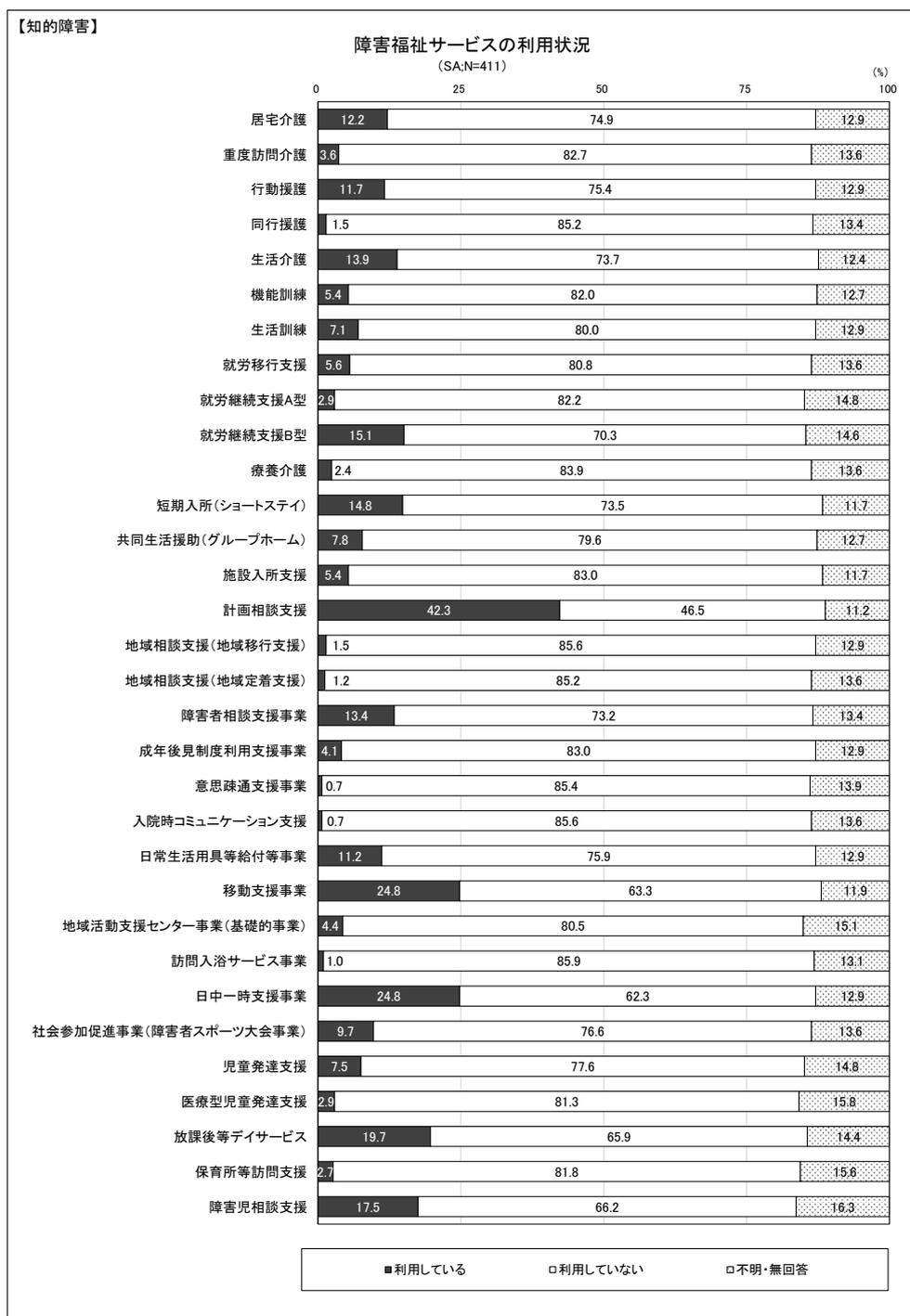


(知的障害)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「計画相談支援」が最も多く42.3%、次いで「移動支援事業」「日中一時支援事業」がそれぞれ24.8%などとなっています。

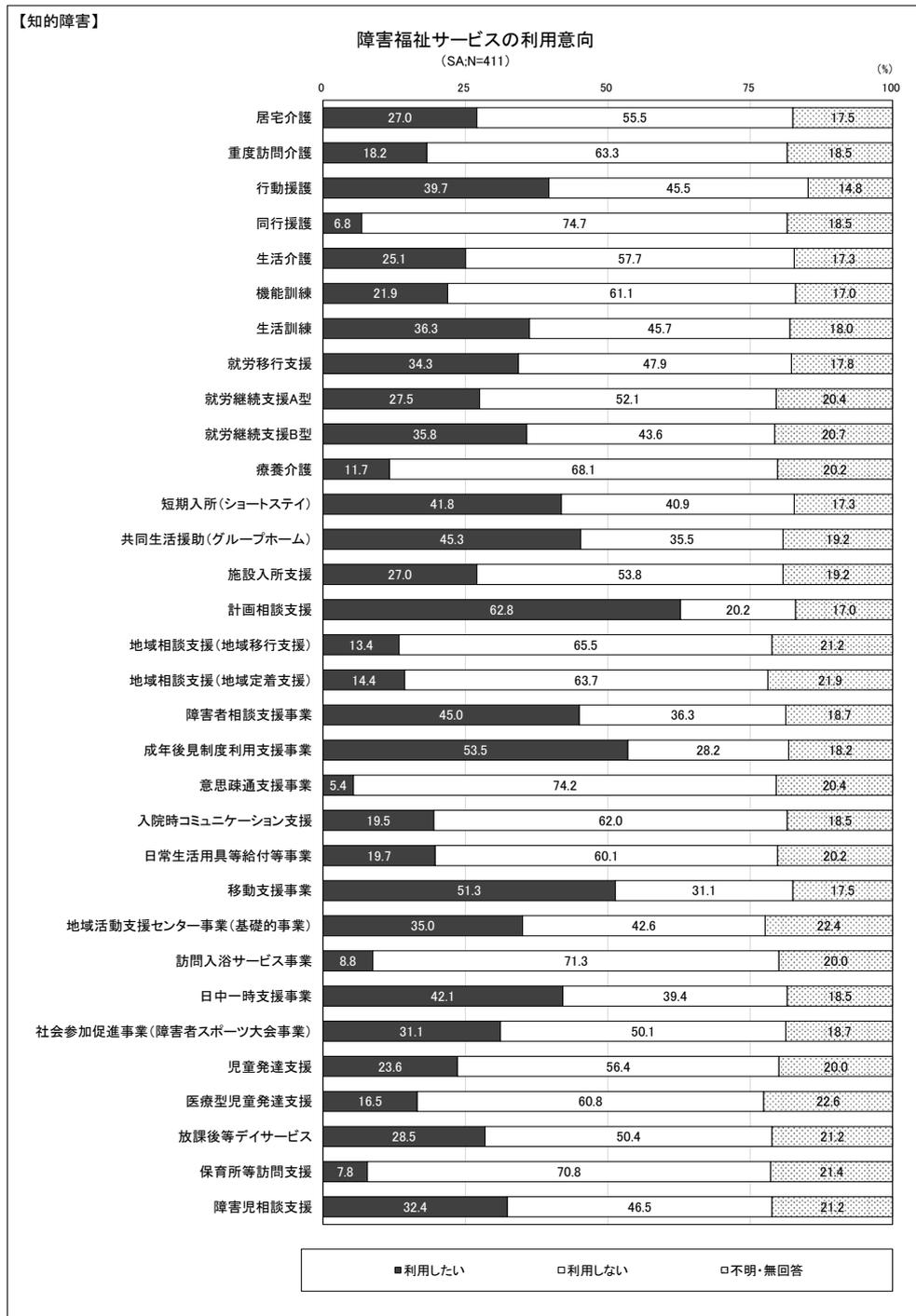
「利用していない」は「訪問入浴サービス」が最も多く85.9%、次いで「地域相談支援(地域移行支援)」「入院時コミュニケーション」がそれぞれ85.6%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「計画相談支援」が最も多く62.8%、次いで「行動援護」「成年後見制度利用支援事業」がそれぞれ53.5%などとなっています。

「利用しない」は「同行援護」が最も多く74.7%、次いで「意思疎通支援事業」が74.2%、「訪問入浴サービス事業」が71.3%などとなっています。

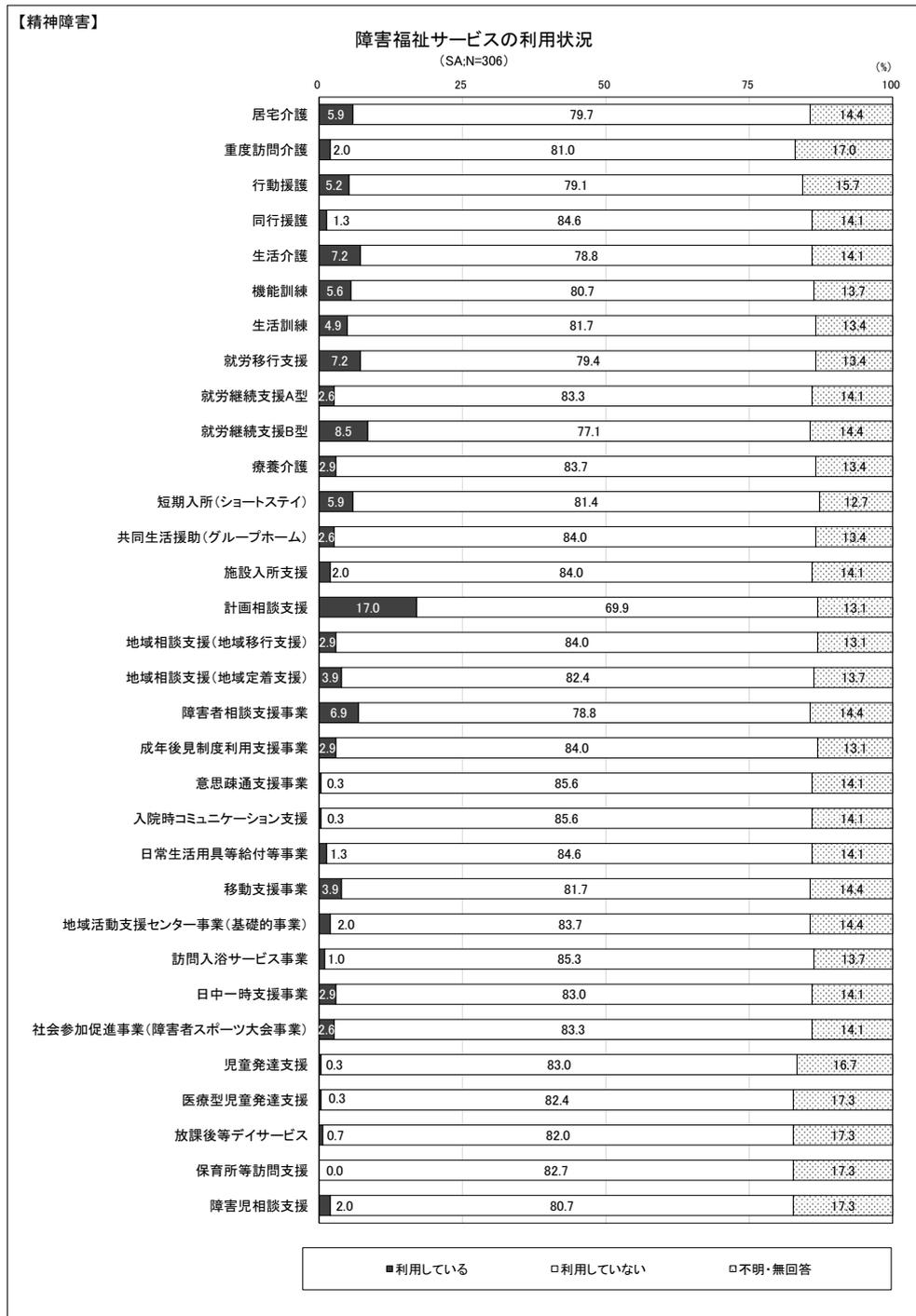


(精神障害)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「計画相談支援」が最も多く17.0%、次いで「就労継続支援B型」が8.5%、「生活介護」「就労移行支援」がそれぞれ7.2%などとなっています。

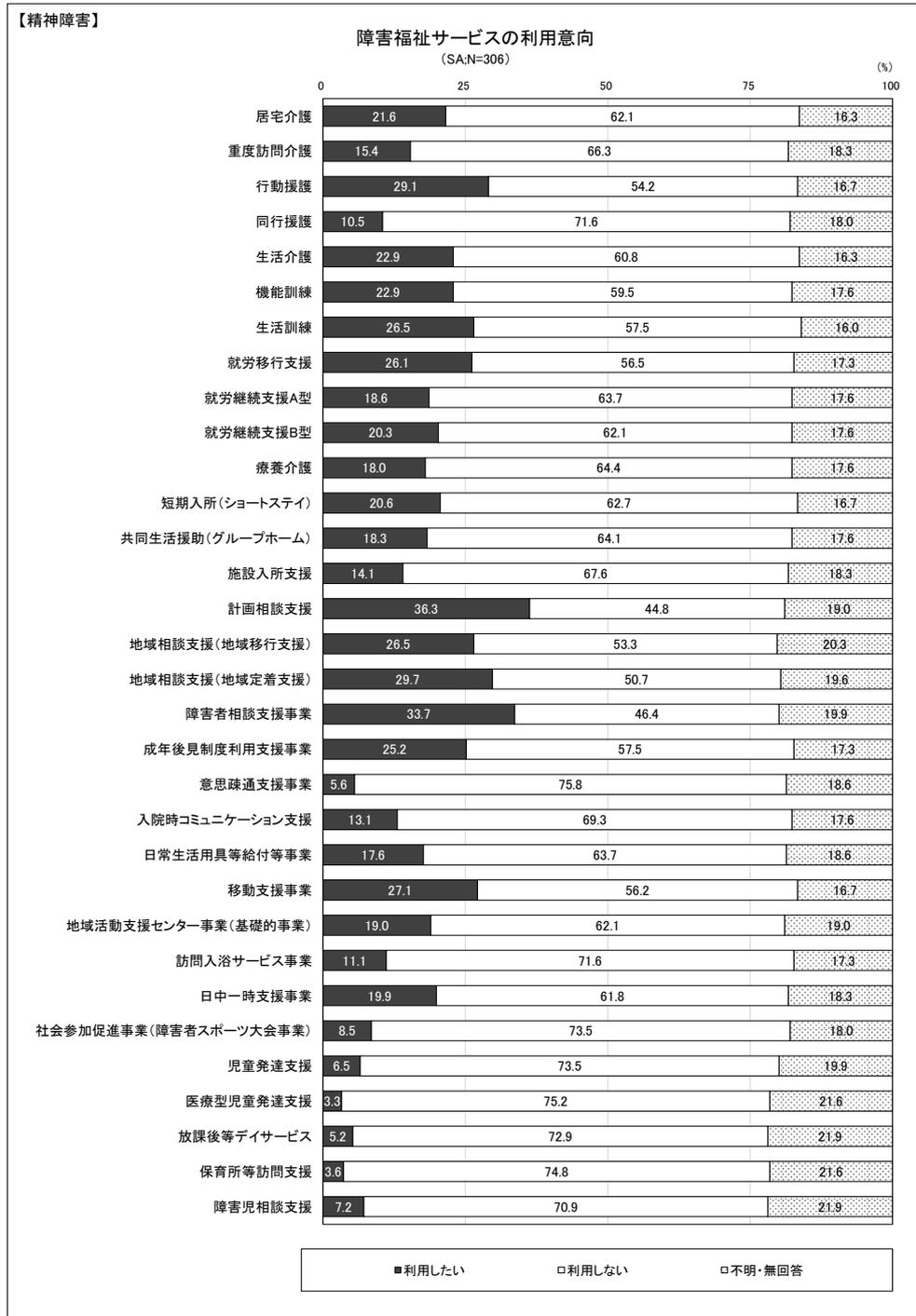
「利用していない」は「意思疎通支援事業」「入院時コミュニケーション」が最も多くそれぞれ85.6%、次いで「訪問入浴サービス」が85.3%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「計画相談支援」が最も多く36.3%、次いで「障害者相談支援事業」が33.7%、「地域相談支援（地域定着支援）」が29.7%などとなっています。

「利用しない」は「意思疎通支援事業」が最も多く75.8%、次いで「医療型児童発達支援」が75.2%、「保育所等訪問支援」が74.8%などとなっています。

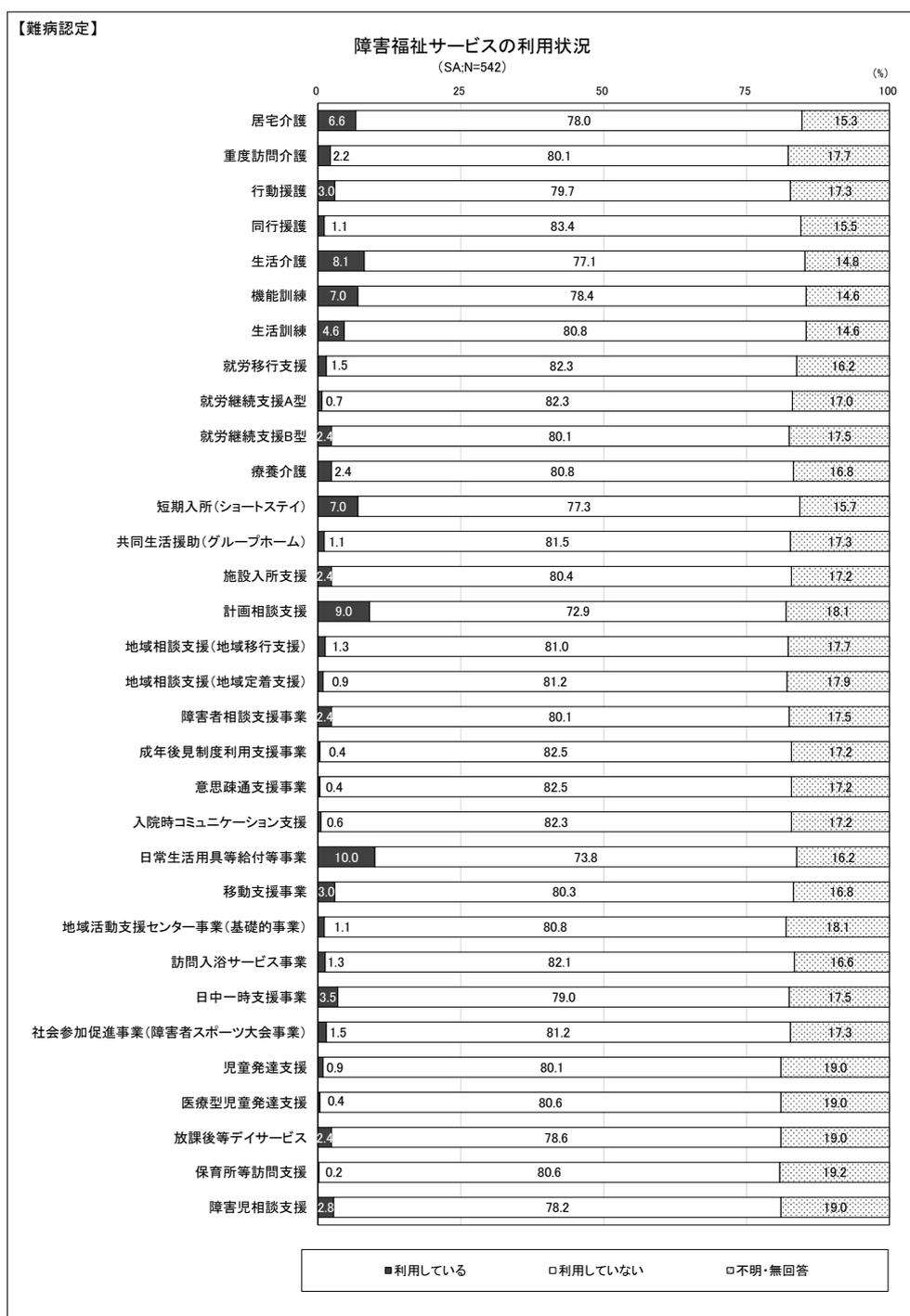


(難病認定)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「日常生活用具等給付等事業」が最も多く10.0%、次いで「計画相談支援」が9.0%、「生活介護」が8.1%などとなっています。

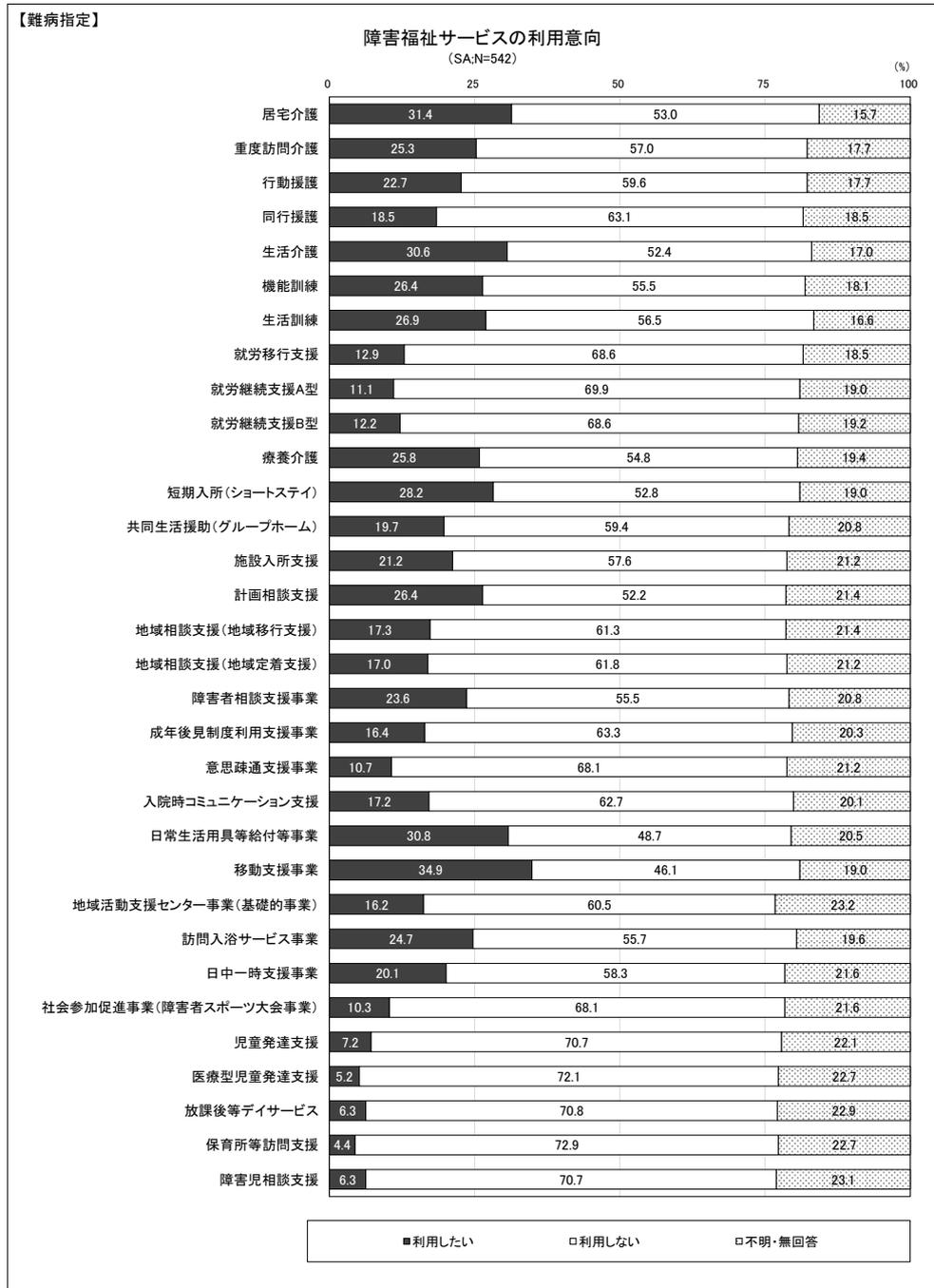
「利用していない」は「同行援護」が最も多く83.4%、次いで「成年後見制度利用支援事業」「意思疎通支援事業」がそれぞれ82.5%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「移動支援事業」が最も多く34.9%、次いで「居宅介護」が31.4%、「日常生活用具等給付等事業」が30.8%などとなっています。

「利用しない」は「保育所等訪問支援」が最も多く72.9%、次いで「医療型児童発達支援」が72.1%、「放課後等デイサービス」が70.8%などとなっています。

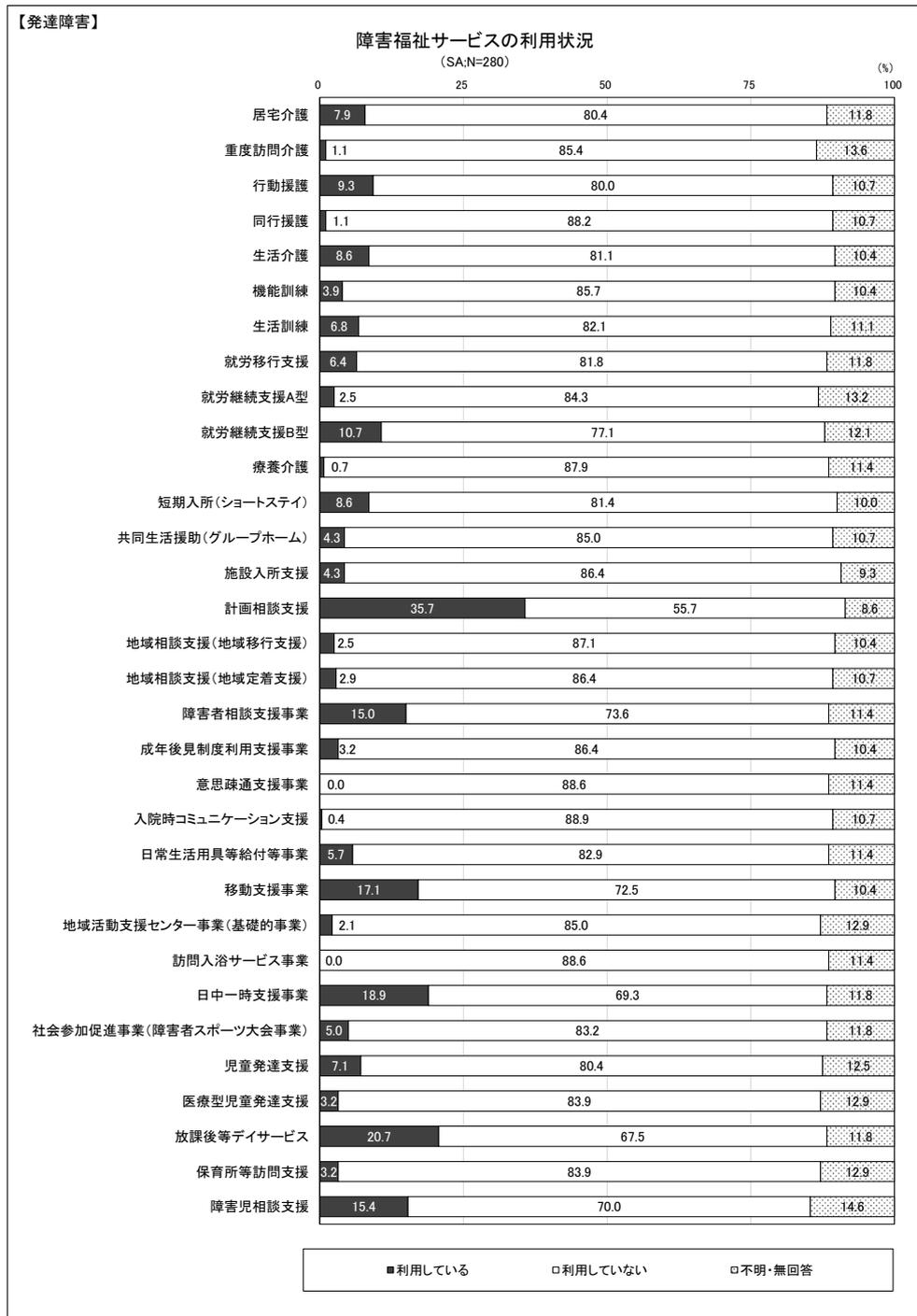


(発達障害)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「計画相談支援」が最も多く35.7%、次いで「放課後等デイサービス」が20.7%、「日中一時支援事業」が18.9%などとなっています。

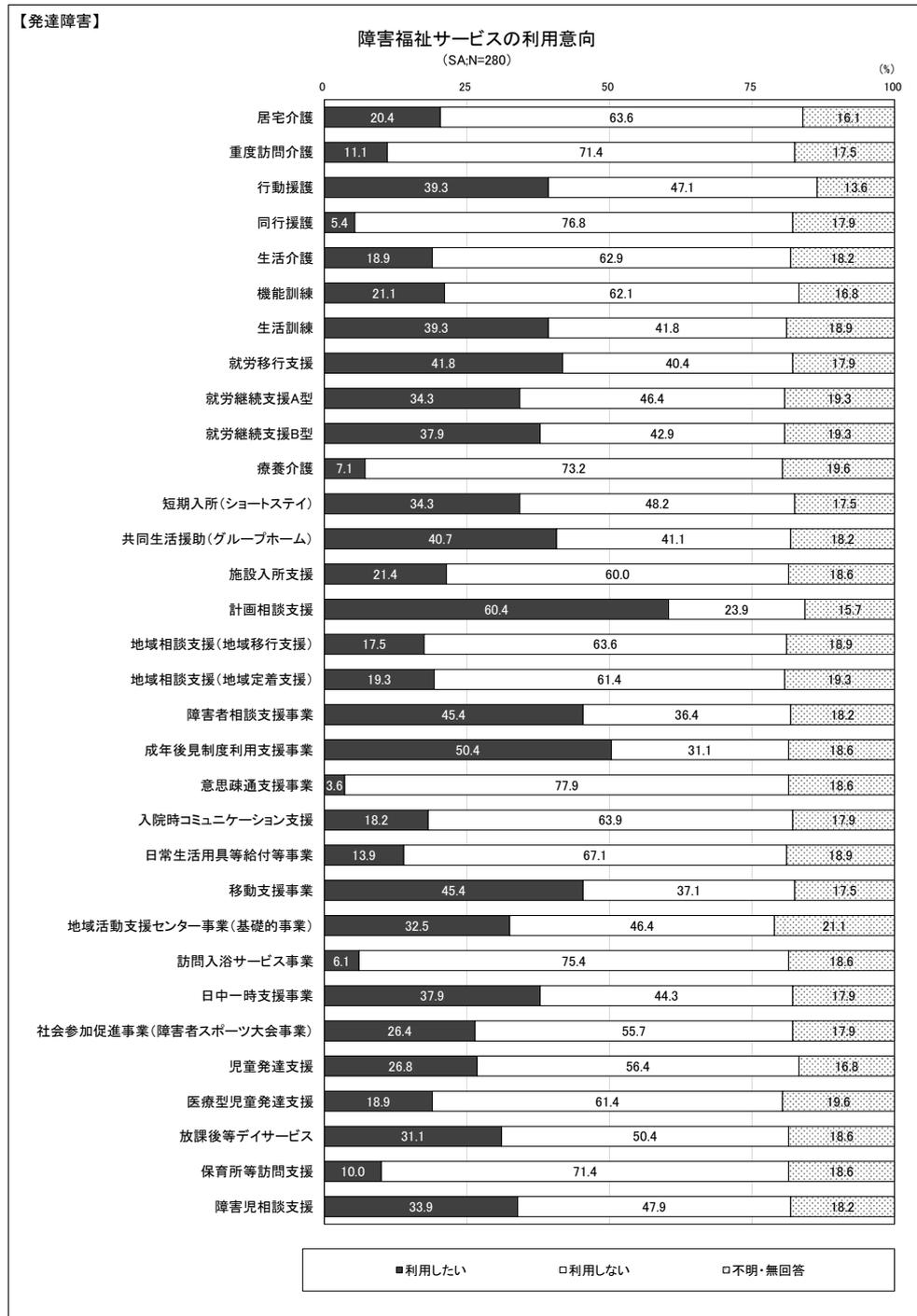
「利用していない」は「入院時コミュニケーション支援」が最も多く88.9%、次いで「意思疎通支援事業」「訪問入浴サービス事業」がそれぞれ88.6%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「計画相談支援」が最も多く60.4%、次いで「成年後見制度利用支援事業」が50.4%、「障害者相談支援事業」「移動支援事業」がそれぞれ45.4%などとなっています。

「利用しない」は「意思疎通支援事業」が最も多く77.9%、次いで「同行援護」が76.8%、「訪問入浴サービス事業」が75.4%などとなっています。

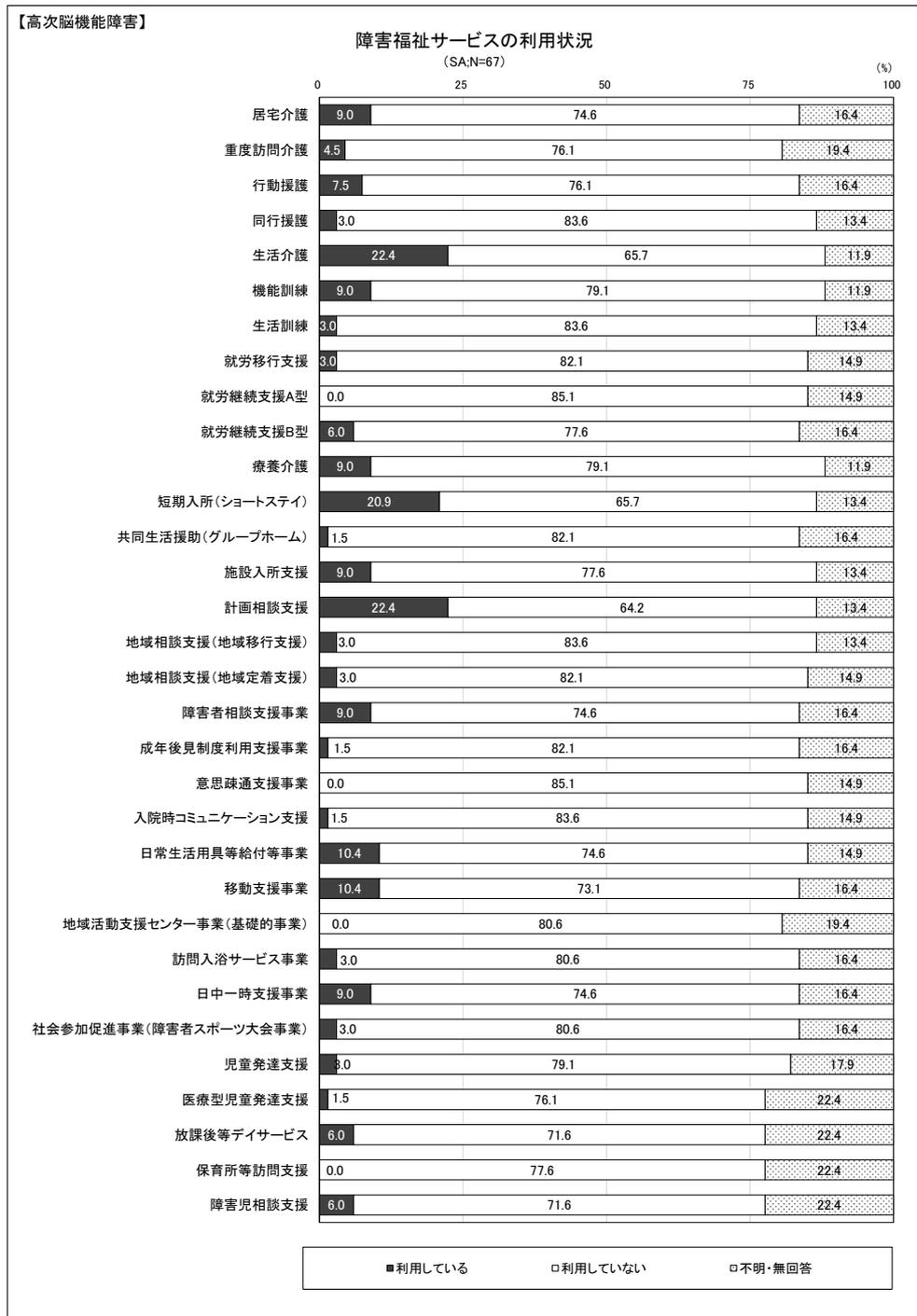


(高次脳機能障害)

③ 障害福祉サービスの利用状況

「利用している」は「生活介護」「計画相談支援」が最も多く22.4%、次いで「短期入所（ショートステイ）」が20.9%などとなっています。

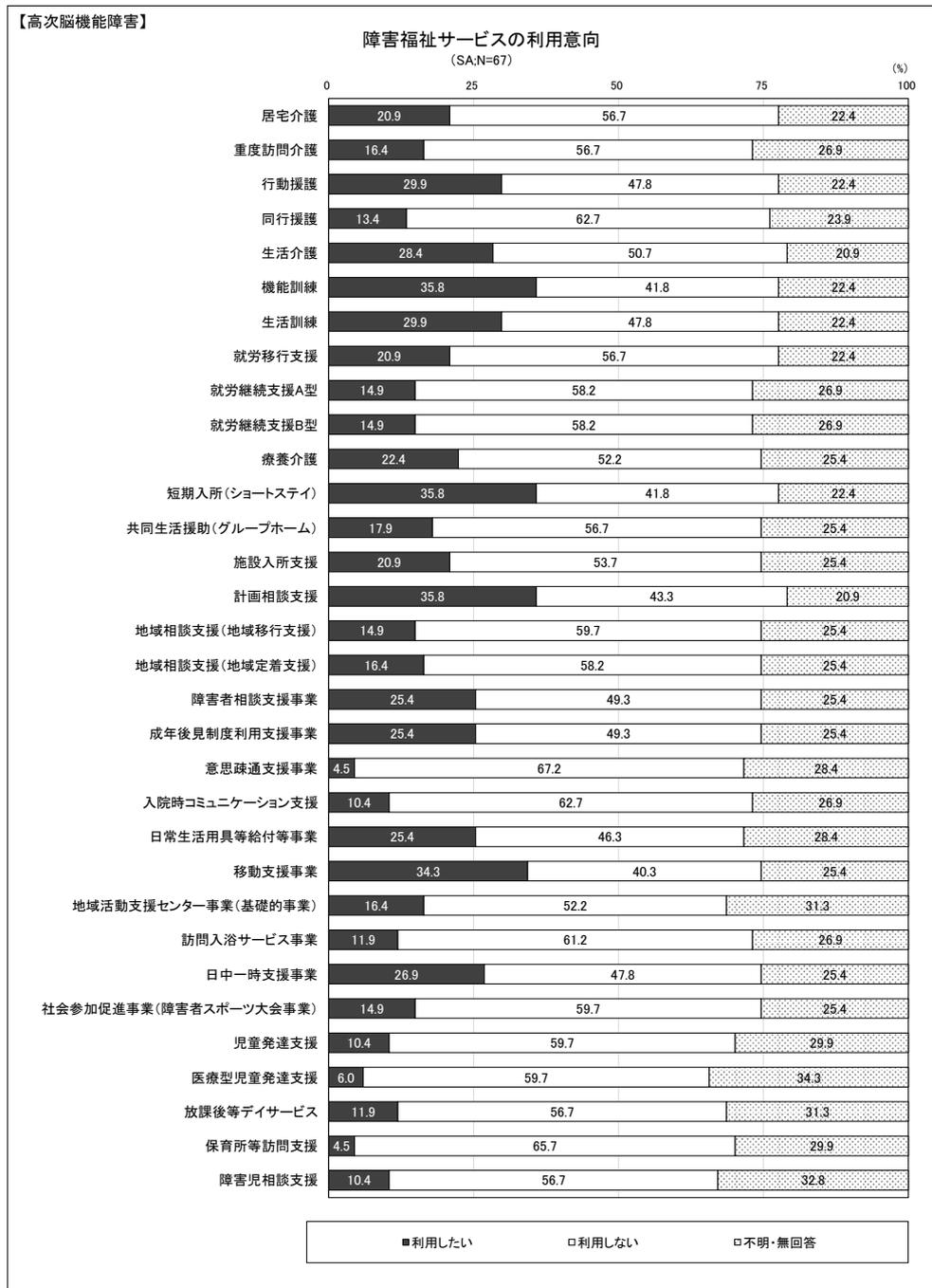
「利用していない」は「就労継続支援A型」「意思疎通支援事業」が最も多くそれぞれ85.1%、次いで「同行援護」「生活訓練」「地域相談支援（地域意向支援）」「入院時コミュニケーション支援」がそれぞれ83.6%などとなっています。



#### ④ 障害福祉サービスの利用意向

「利用したい」は「機能訓練」「短期入所（ショートステイ）」「計画相談支援」が最も多くそれぞれ35.8%、次いで「移動支援事業」が34.3%などとなっています。

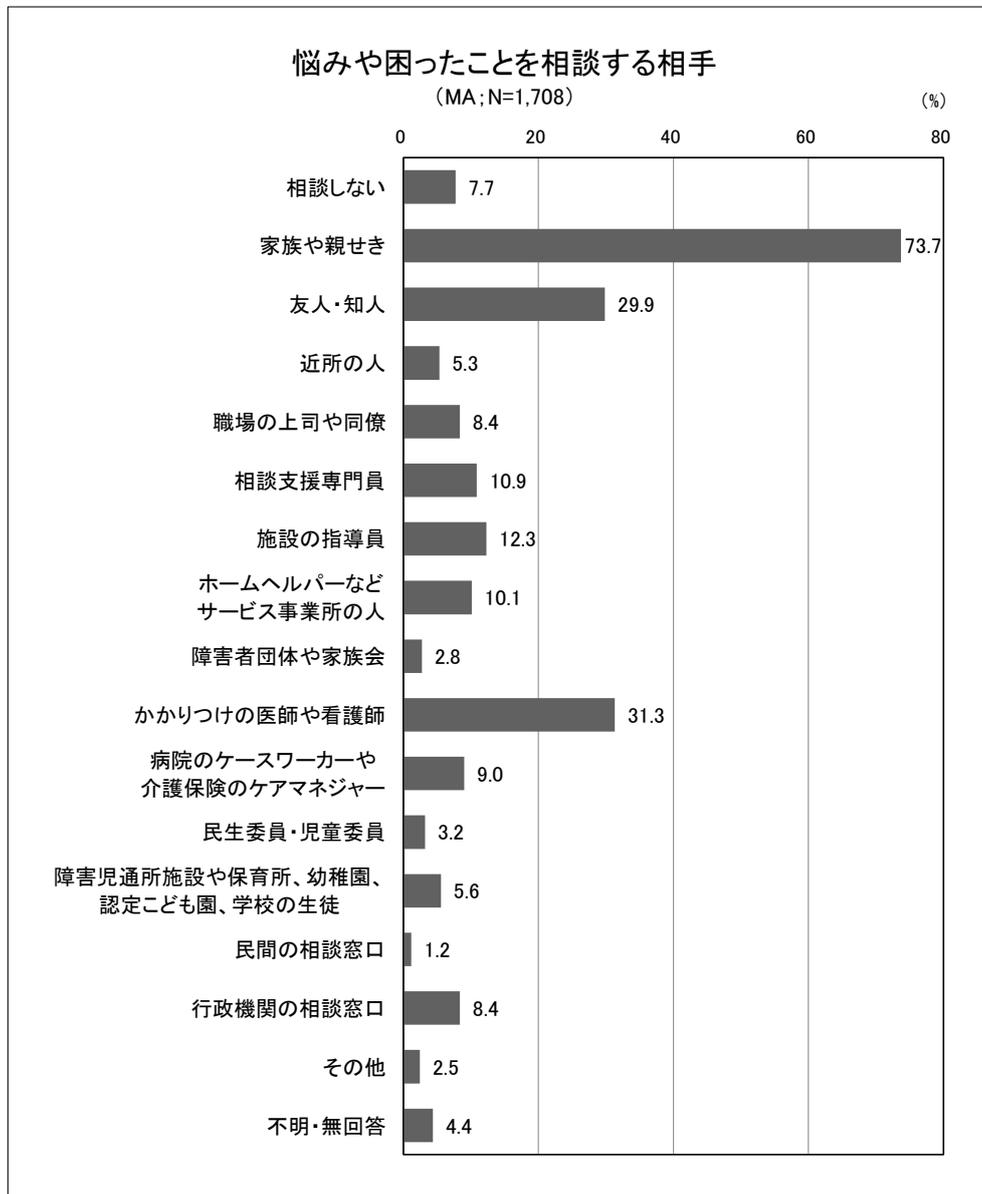
「利用しない」は「意思疎通支援事業」が最も多く67.2%、次いで「保育所等訪問支援」が65.7%、「同行援護」「入院時コミュニケーション支援」がそれぞれ62.7%などとなっています。



## (6) 相談相手について

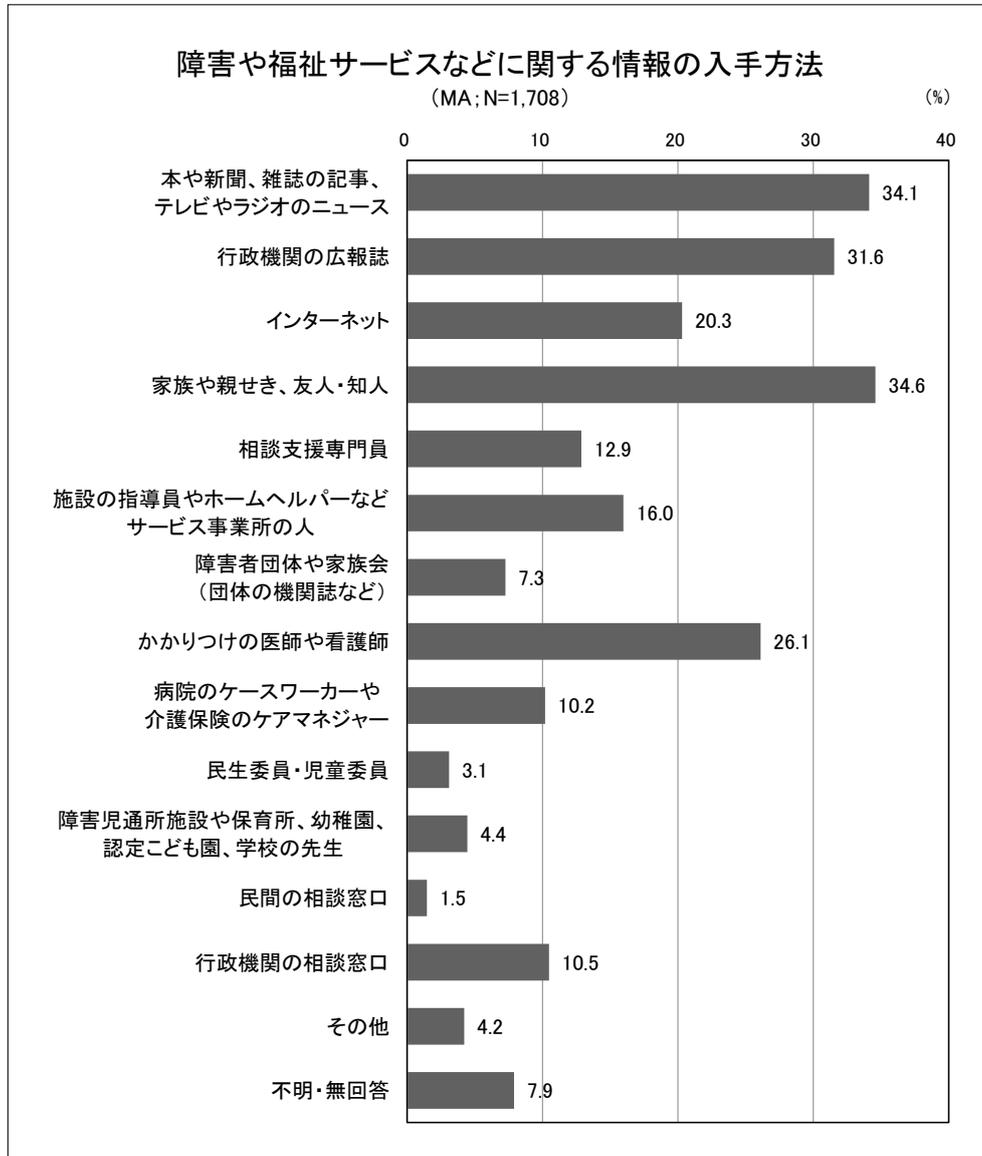
### ① 悩みや困ったことを相談する相手

「家族や親せき」が最も多く73.7%、次いで「かかりつけの医師や看護師」が31.3%、「友人・知人」が29.9%などとなっています。



## ② 障害や福祉サービスなどに関する情報の入手方法

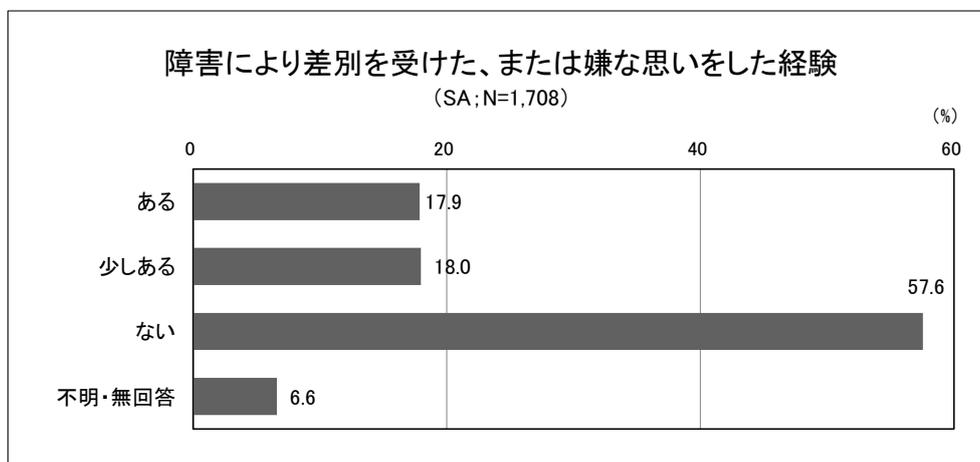
「家族や親せき、友人・知人」が最も多く34.6%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が34.1%、「行政機関の広報誌」が31.6%などとなっています。



## (7) 権利擁護について

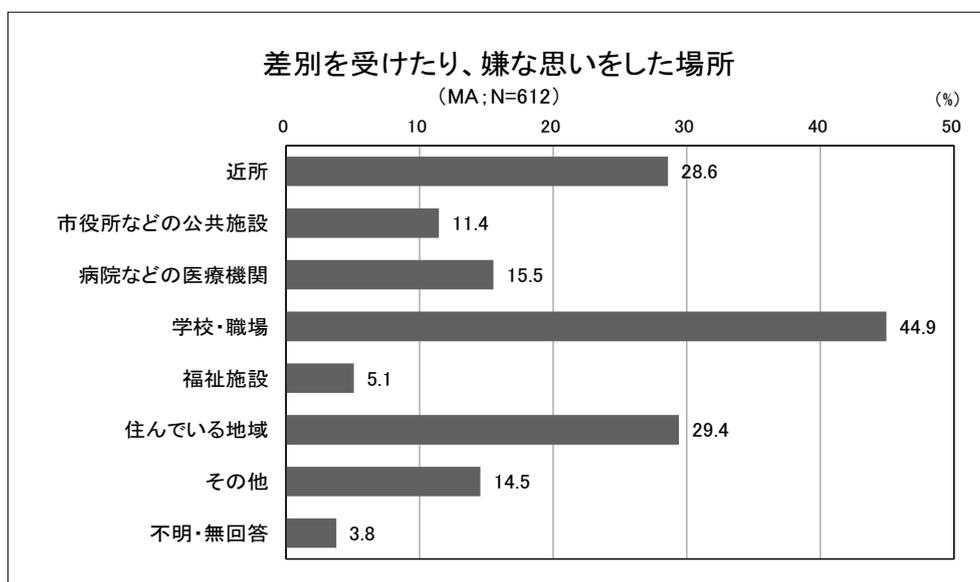
### ①-1 障害により差別を受けた、または嫌な思いをした経験

「ある」が17.9%、「少しある」が18.0%、「ない」が57.6%となっています。



### ①-2 差別を受けたり、嫌な思いをした場所

障害により差別を受けた、または嫌な思いをした経験のある人は612人であり、そのうち「学校・職場」が最も多く44.9%、「住んでいる地域」が29.4%、「近所」が28.6%などとなっています。



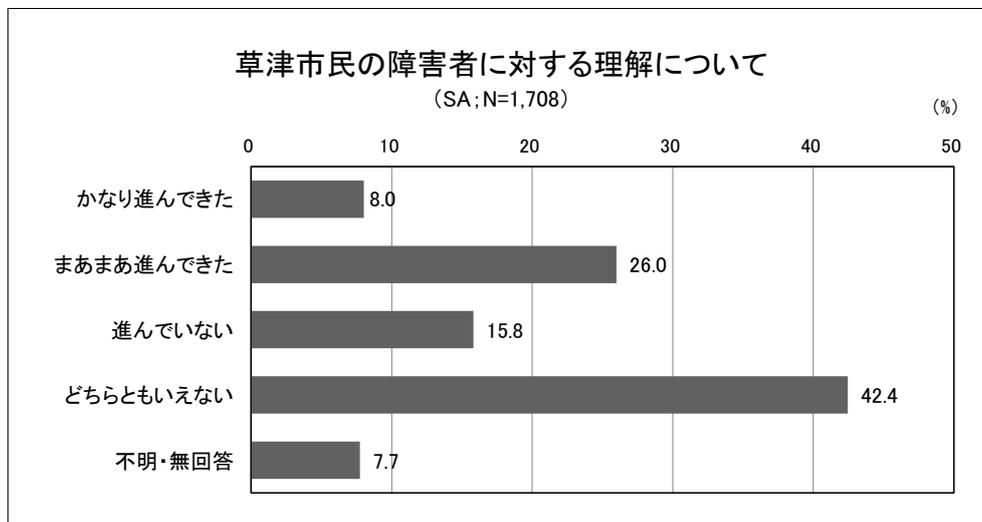
### 【差別を受けたり、嫌な思いをした具体的内容】

延べ334件の意見があり以下のように分類しました。

- ・不愉快な言動…………… 134
- ・いやがらせ行為…………… 59
- ・拒否・無視…………… 51
- ・蔑視・好奇の視線…………… 38
- ・その他…………… 52

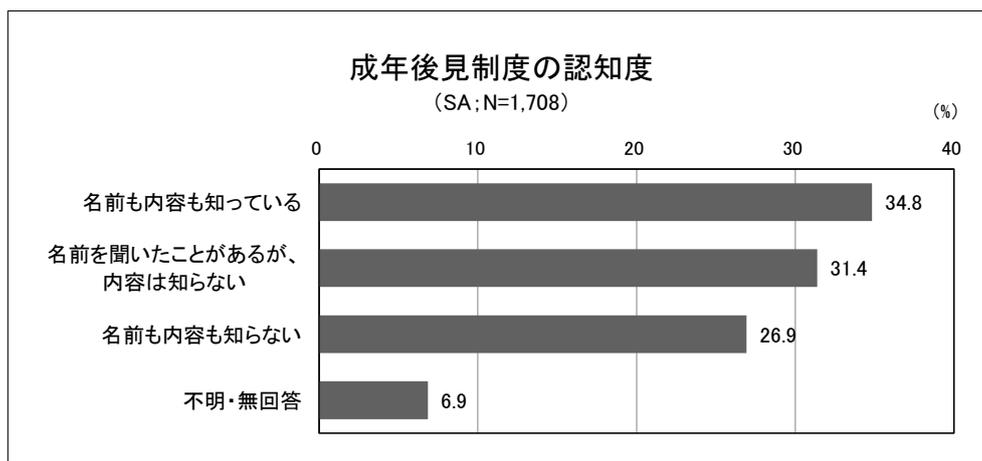
## ② 草津市民の障害者に対する理解について

「どちらともいえない」が最も多く42.4%、次いで「まあまあ進んできた」が26.0%、「進んでいない」が15.8%などとなっています。



## ③ 成年後見制度の認知度

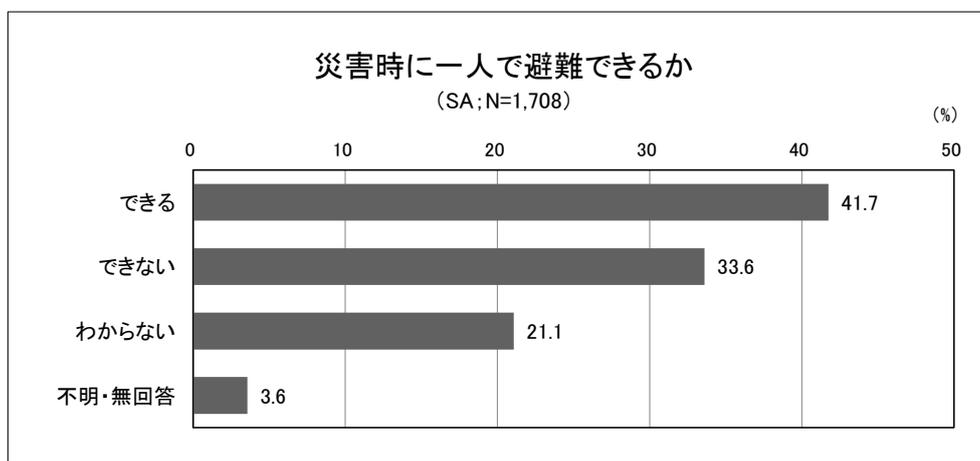
「名前も内容も知っている」が34.8%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.4%、「名前も内容も知らない」が26.9%などとなっています。



## (8) 災害時の避難等について

### ① 災害時に一人で避難できるか

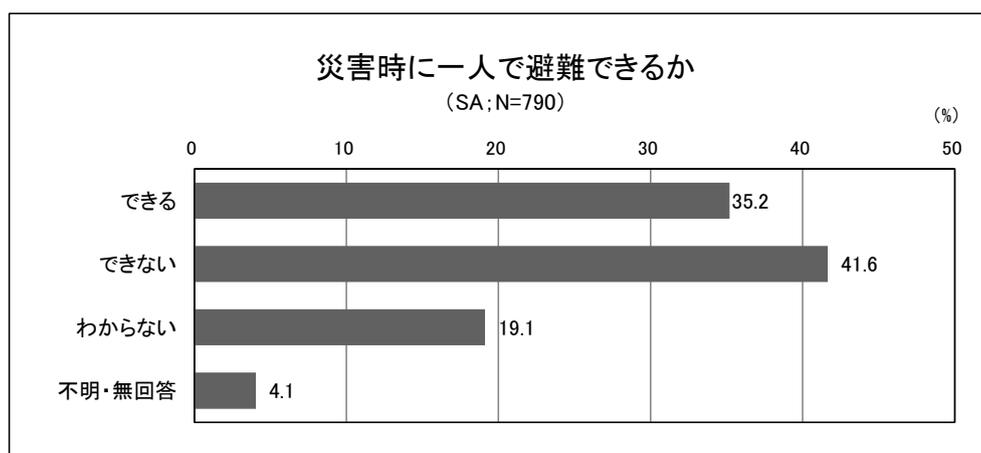
「できる」が41.7%、「できない」が33.6%、「わからない」が21.1%となっています。



### 【障害種別】

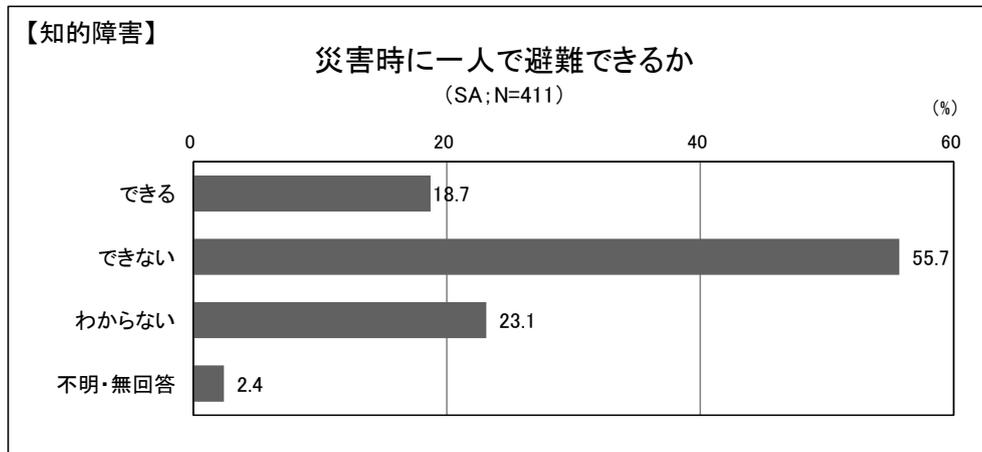
#### (身体障害)

「できる」が35.2%、「できない」が41.6%、「わからない」が19.1%となっています。



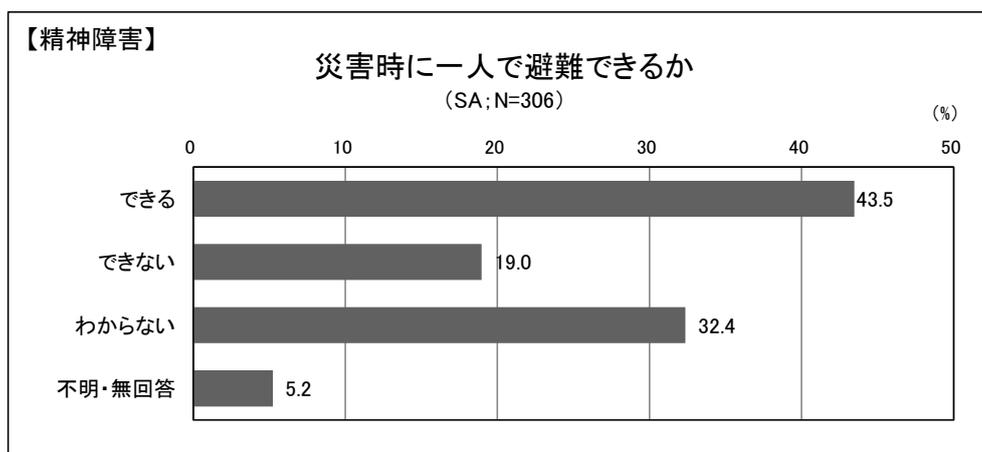
(知的障害)

「できる」が18.7%、「できない」が55.7%、「わからない」が23.1%となっています。



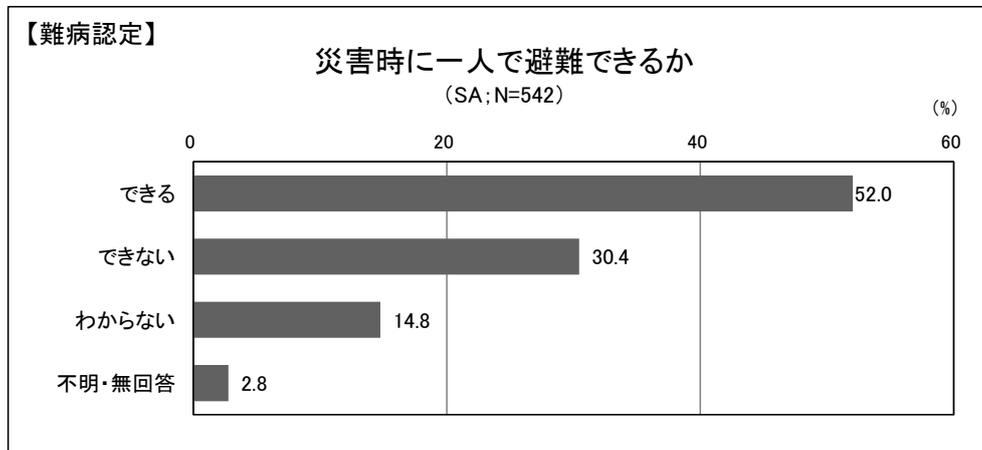
(精神障害)

「できる」が43.5%、「できない」が19.0%、「わからない」が32.4%となっています。



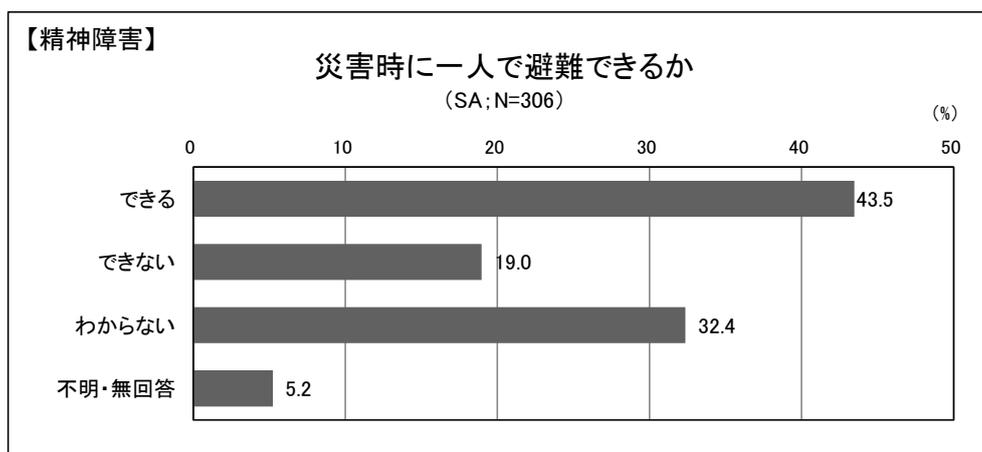
(難病認定)

「できる」が52.0%、「できない」が30.4%、「わからない」が14.8%となっています。



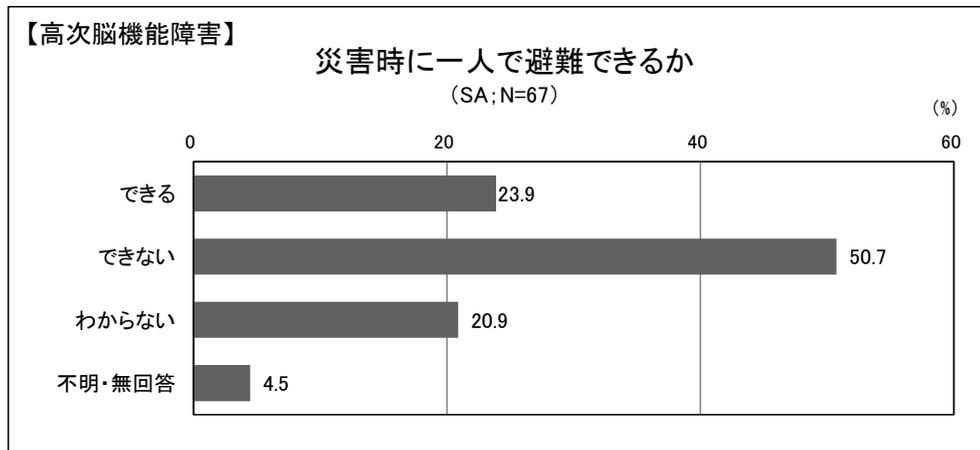
(発達障害)

「できる」が43.5%、「できない」が19.0%、「わからない」が32.4%となっています。



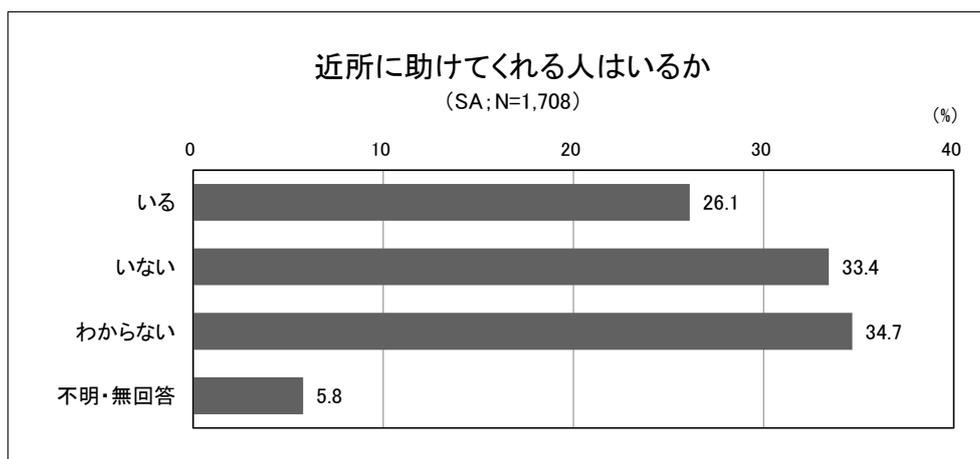
(難病指定)

「できる」が23.9%、「できない」が50.7%、「わからない」が20.9%となっています。



② 近所に助けしてくれる人はいるか

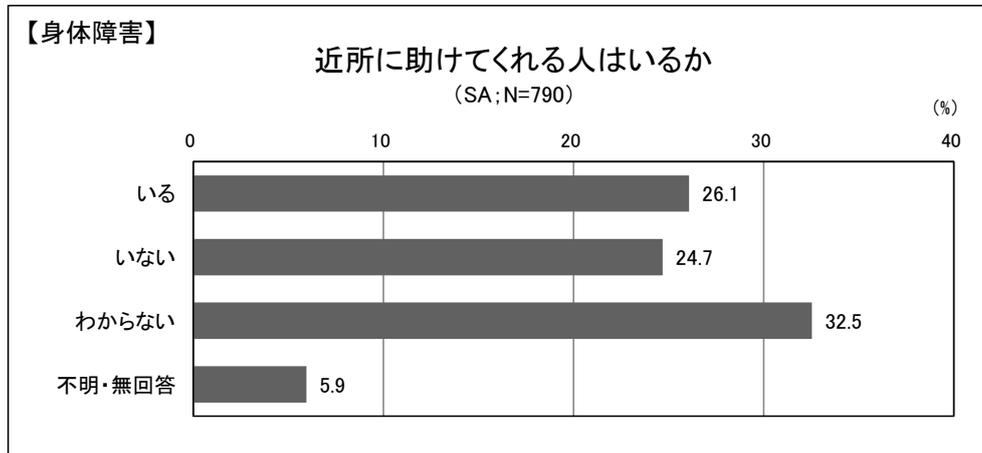
「いる」が26.1%、「いない」が33.4%、「わからない」が34.7%となっています。



## 【障害種別】

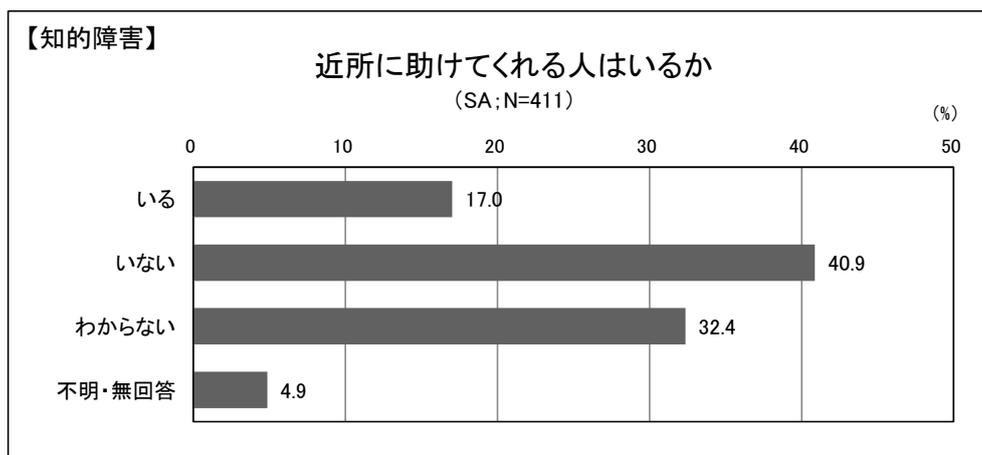
### (身体障害)

「いる」が26.1%、「いない」が24.7%、「わからない」が32.5%となっています。



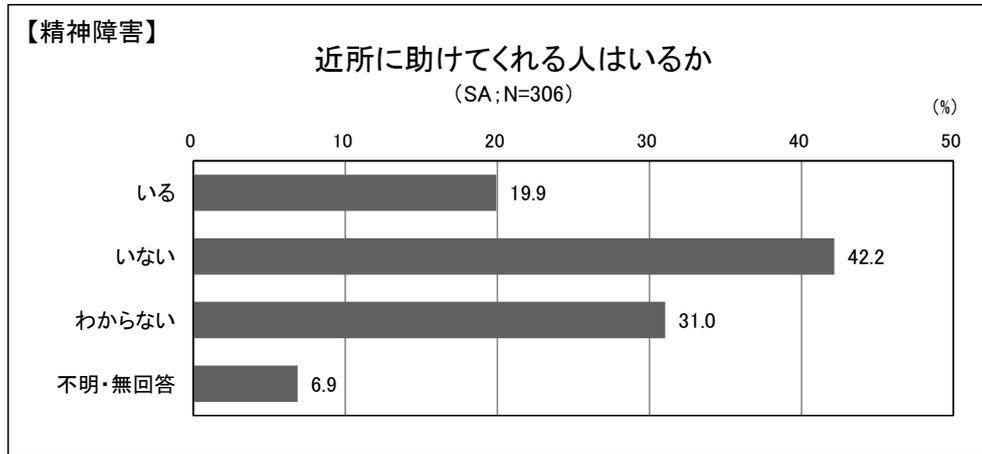
### (知的障害)

「いる」が17.0%、「いない」が40.9%、「わからない」が32.4%となっています。



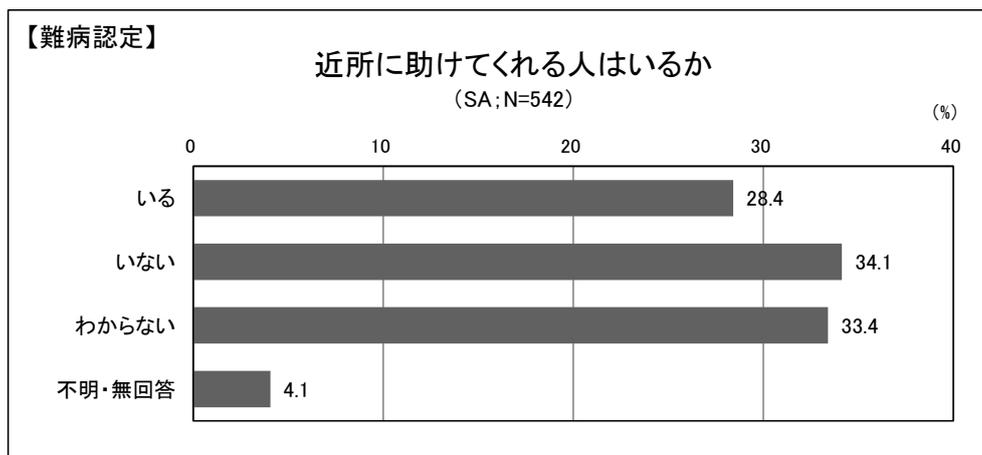
(精神障害)

「いる」が19.9%、「いない」が42.2%、「わからない」が31.0%となっています。



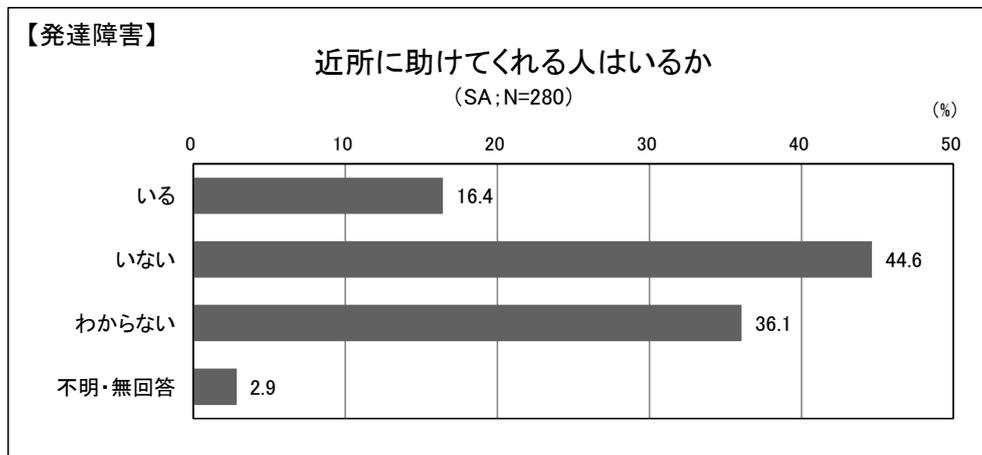
(難病認定)

「いる」が28.4%、「いない」が34.1%、「わからない」が33.4%となっています。



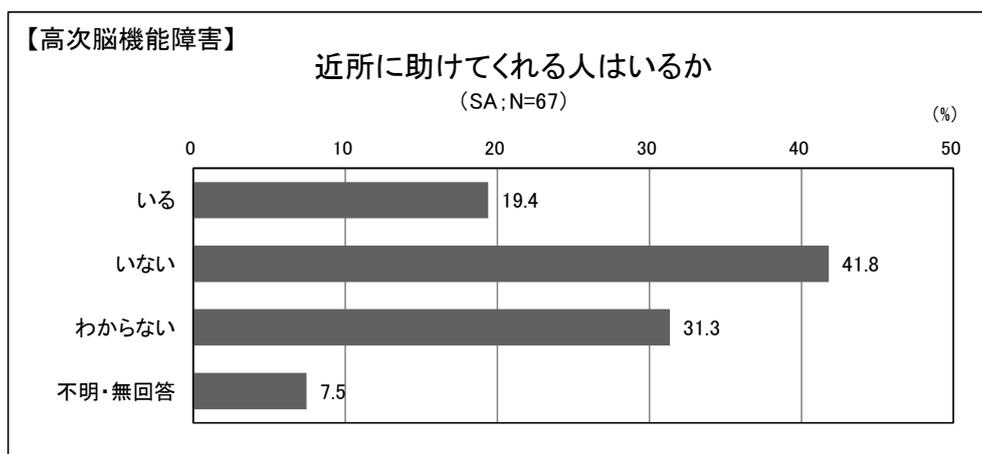
(発達障害)

「いる」が16.4%、「いない」が44.6%、「わからない」が36.1%となっています。



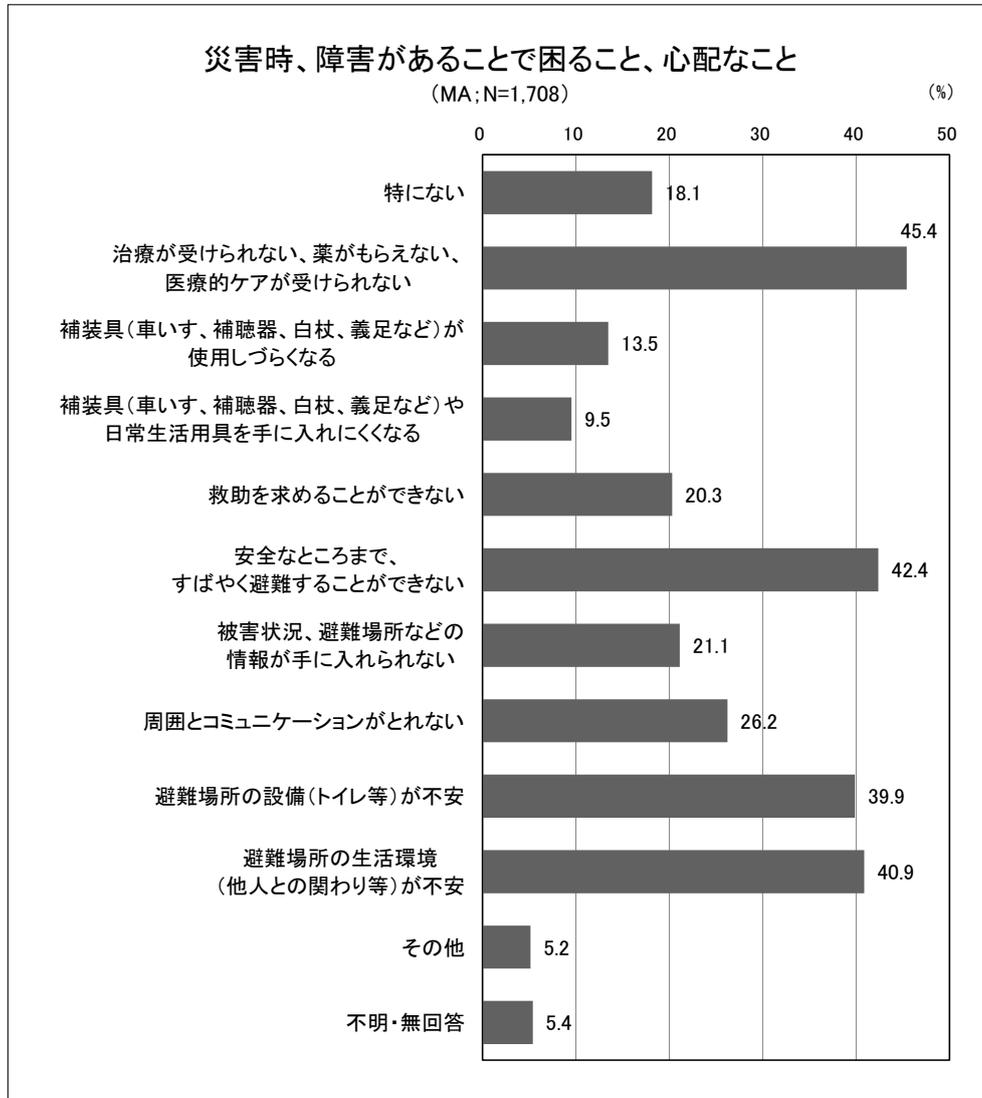
(高次脳機能障害)

「いる」が19.4%、「いない」が41.8%、「わからない」が31.3%となっています。



### ③ 災害時、障害があることで困ること、心配なこと

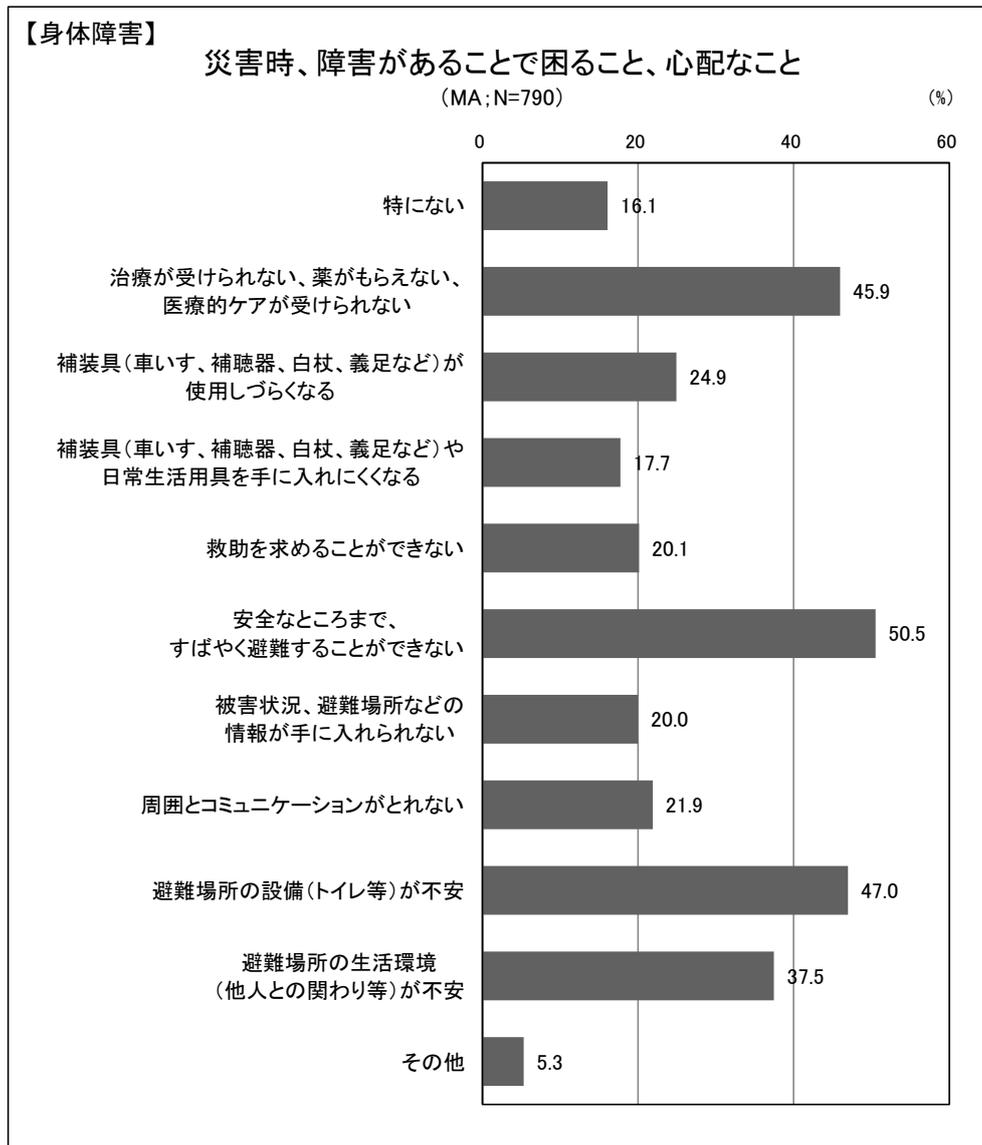
「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多く45.4%、次いで「安全なところまですばやく避難することができない」が42.4%、「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が40.9%などとなっています。



## 【障害種別】

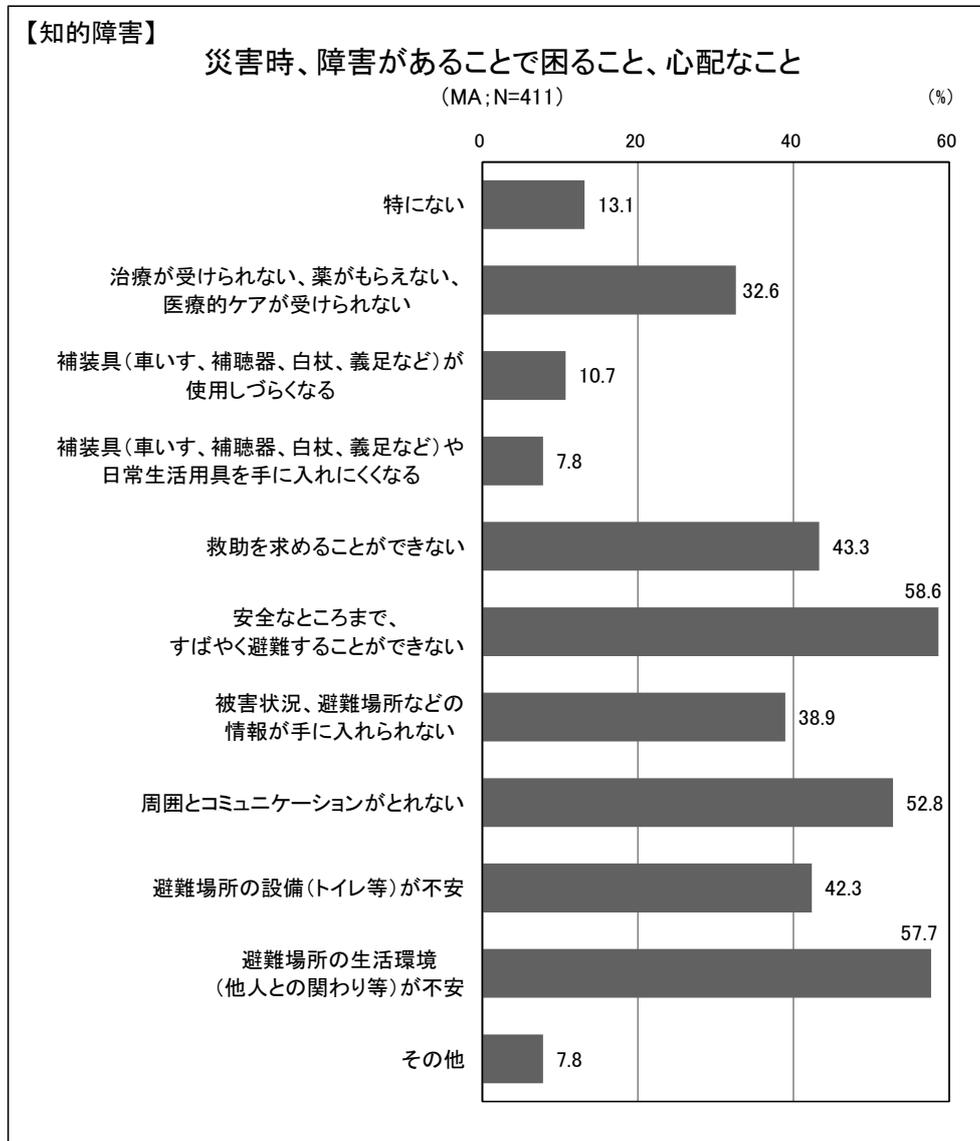
### (身体障害)

「安全なところまですばやく避難することができない」が最も多く50.5%、次いで「避難場所の設備（トイレ等）が不安」が47.0%、「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が45.9%などとなっています。



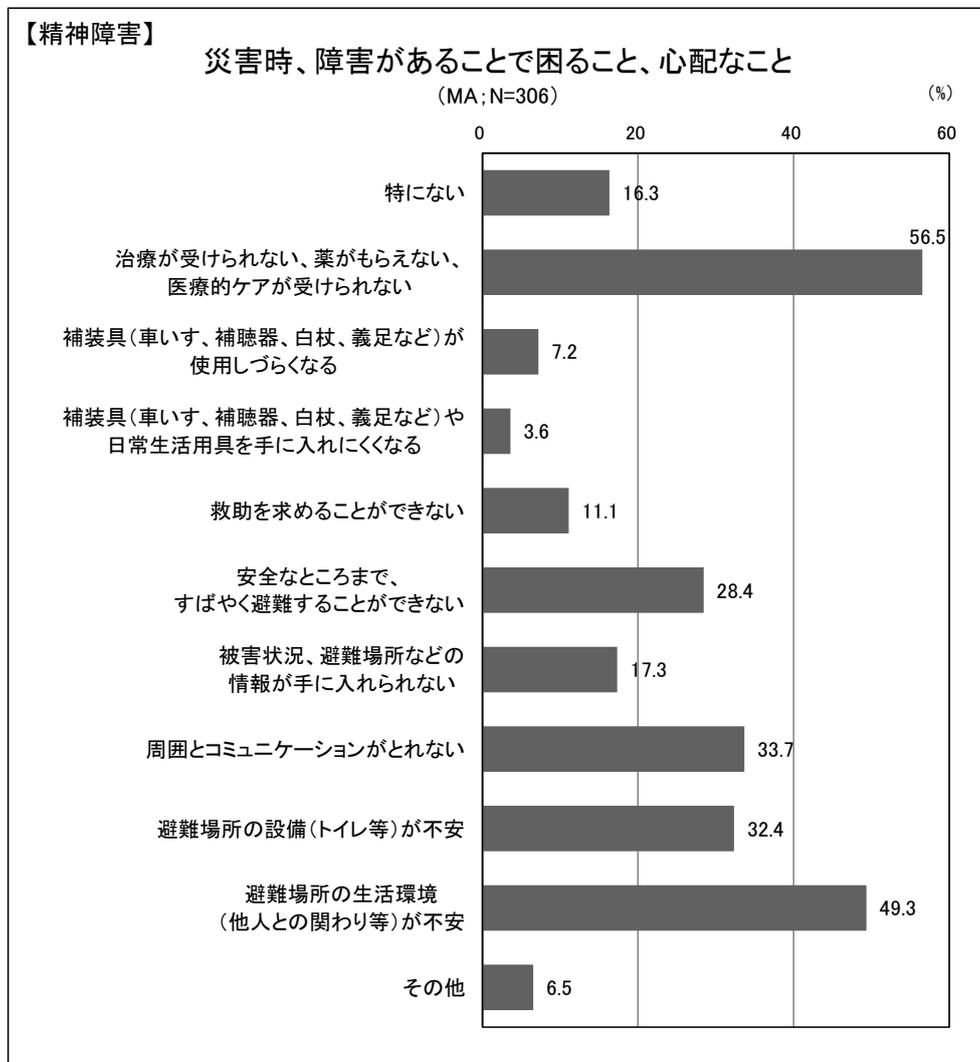
## (知的障害)

「安全なところまですばやく避難することができない」が最も多く58.6%、次いで「避難場所の生活環境(他人との関わり等)が不安」が57.7%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が52.8%などとなっています。



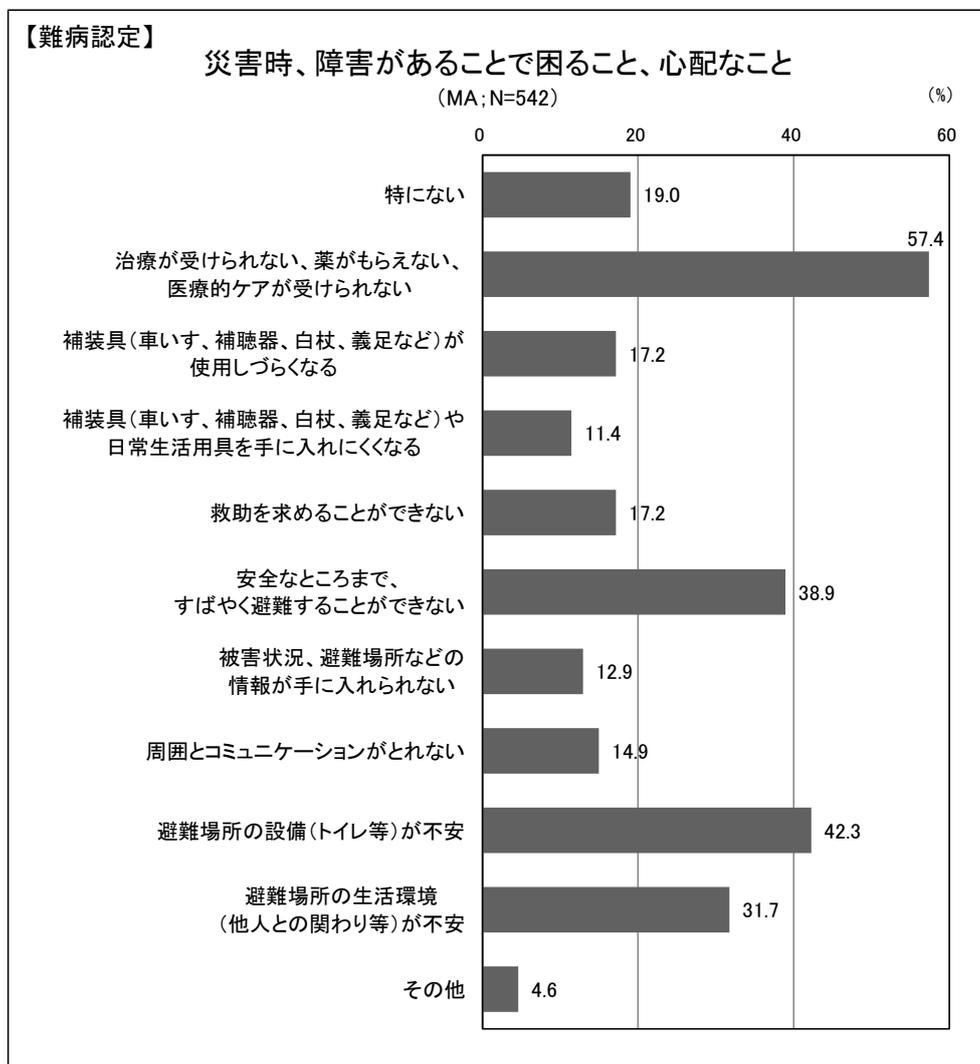
## (精神障害)

「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多く56.5%、次いで「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が49.3%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が33.7%などとなっています。



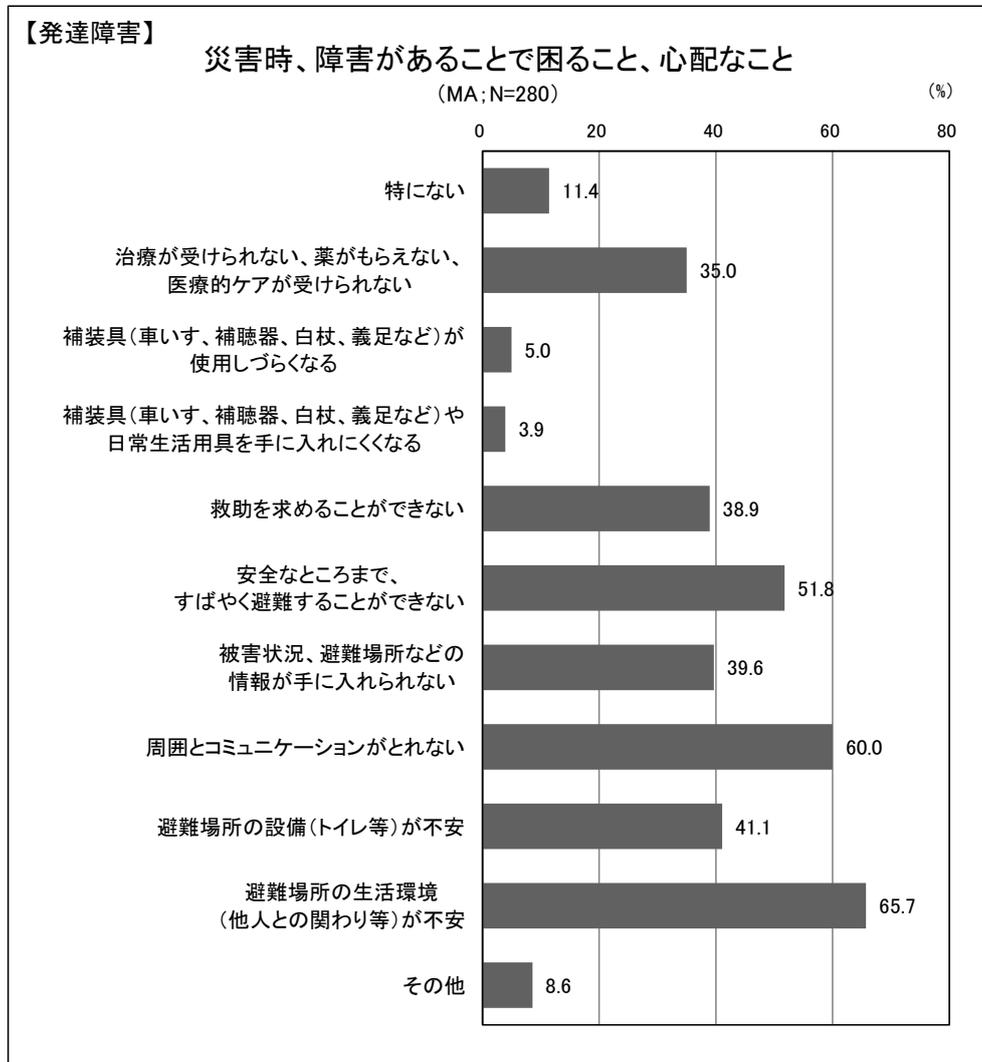
## (難病認定)

「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多く57.4%、次いで「避難場所の設備(トイレ等)が不安」が42.3%、「安全なところまですばやく避難することができない」が38.9%などとなっています。



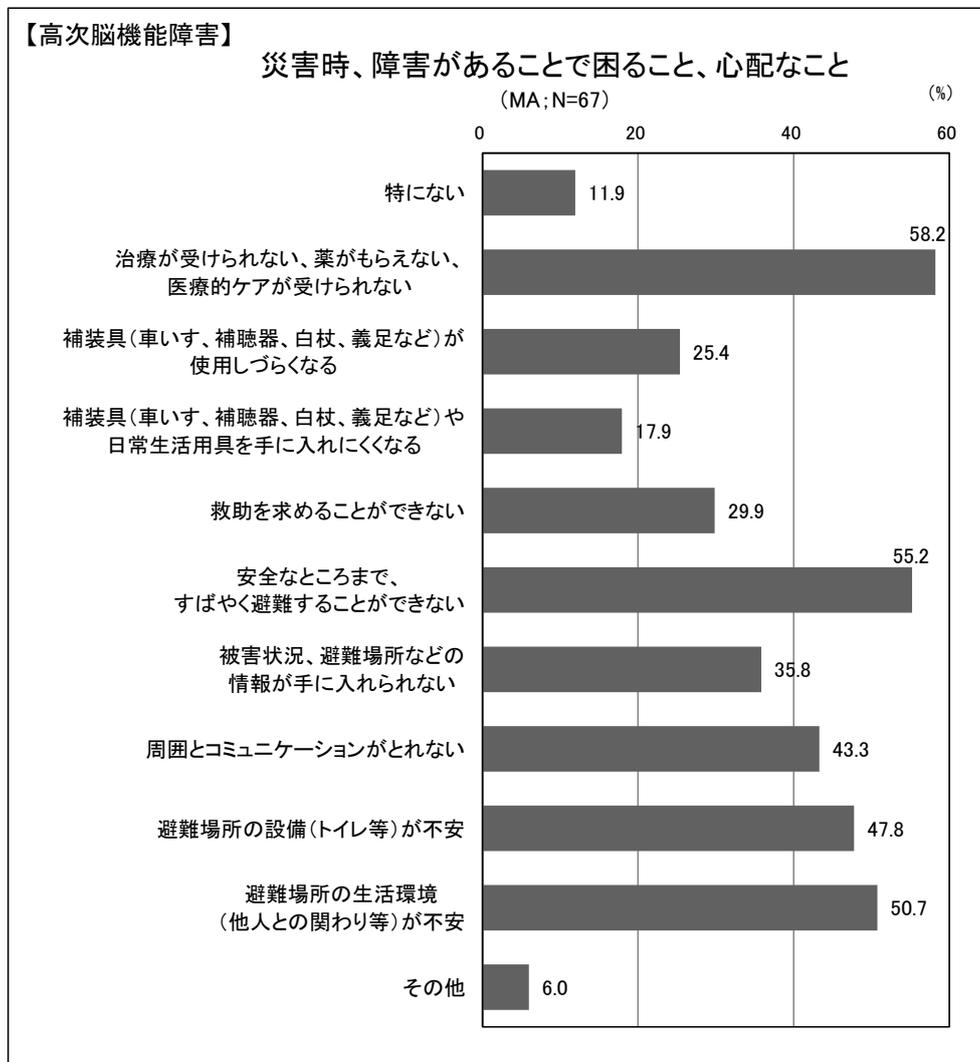
## (発達障害)

「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が最も多く65.7%、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が60.0%、「安全なところまですばやく避難することができない」が51.8%などとなっています。



## (高次脳機能障害)

「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が最も多く58.2%、次いで「安全なところまですばやく避難することができない」が55.2%、「避難場所の生活環境（他人との関わり等）が不安」が50.7%などとなっています。



## (9) 草津市の障害者施策について

### ① 各施策についての満足度

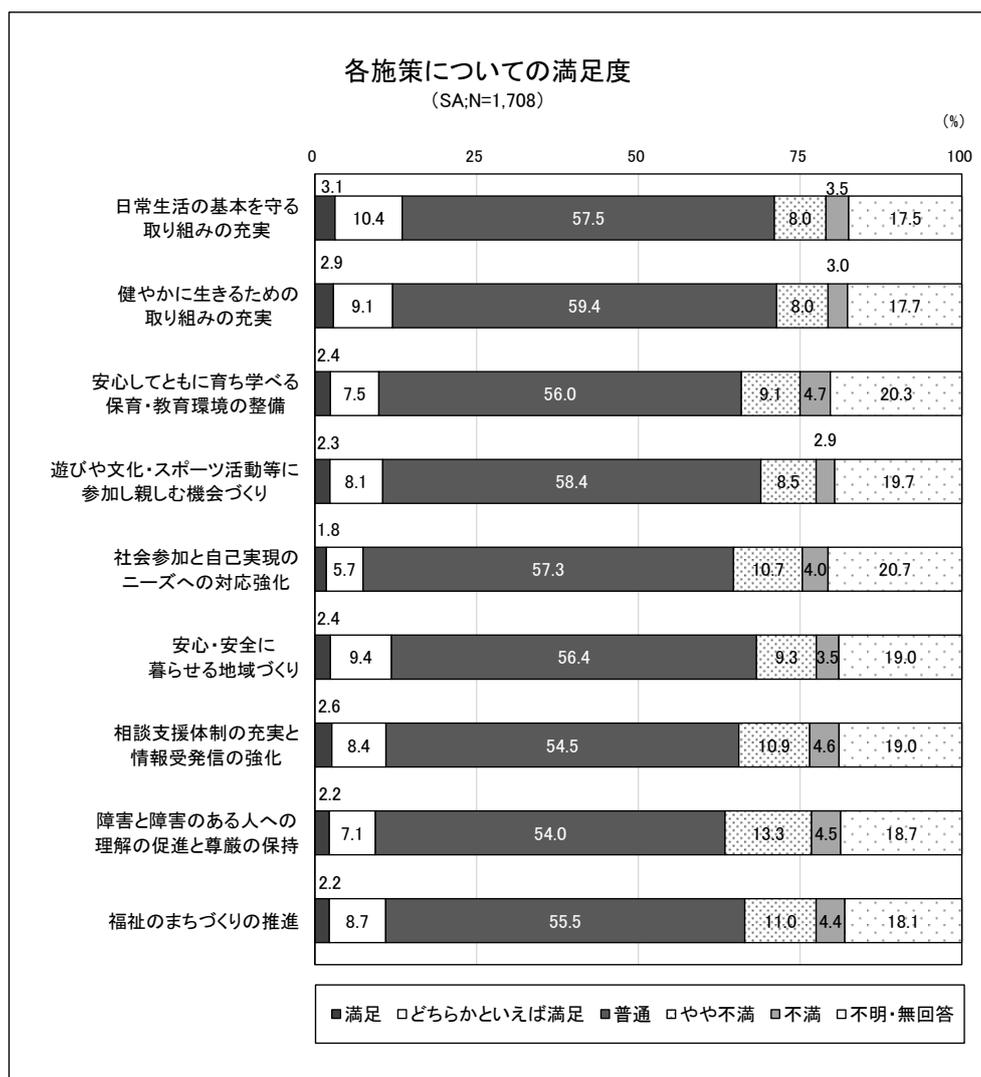
「満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く3.1%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」が2.9%、「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が2.6%などとなっています。

「どちらかといえば満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く10.4%、次いで「安心・安全に暮らせる地域づくり」が9.4%、「健やかに生きるための取り組みの充実」が9.1%などとなっています。

「普通」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く59.4%、次いで「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が58.4%、「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が57.5%などとなっています。

「やや不満」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く13.3%、次いで「福祉のまちづくりの推進」が11.0%、「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が10.9%などとなっています。

「不満」は「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が最も多く4.7%、次いで「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が4.6%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が4.5%などとなっています。



## ② 各施策についての重要度

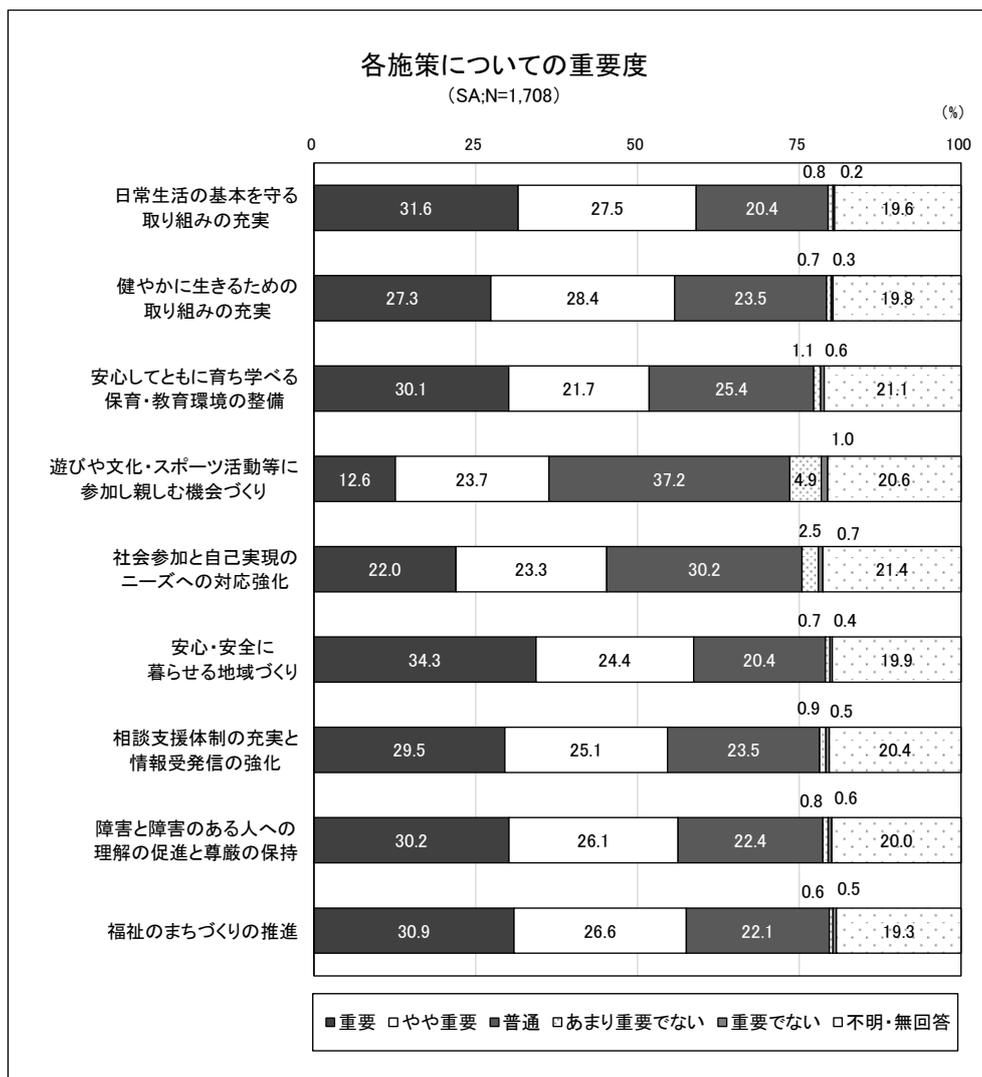
「重要」は「安心・安全に暮らせる地域づくり」が最も多く34.3%、次いで「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が31.6%、「福祉のまちづくりの推進」が30.9%などとなっています。

「やや重要」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く28.4%、次いで「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が27.5%、「福祉のまちづくりの推進」が26.6%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が26.1%などとなっています。

「普通」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く37.2%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が30.2%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が25.4%などとなっています。

「あまり重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く4.9%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が2.5%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が1.1%などとなっています。

「重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く12.6%、「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が23.3%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が30.1%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が30.2%、「福祉のまちづくりの推進」が30.9%などとなっています。



## 【障害種別】

### (身体障害)

#### ① 各施策についての満足度

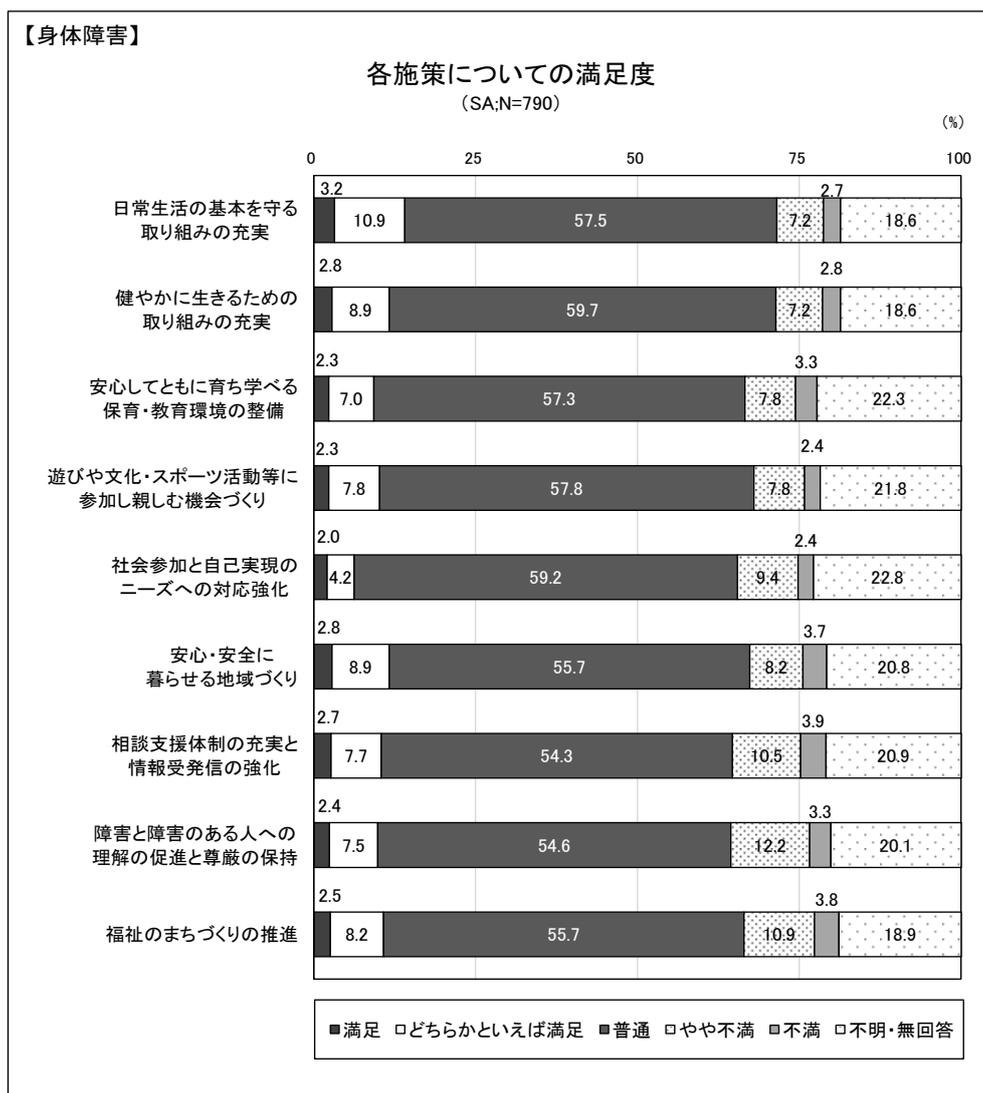
「満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く3.2%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」「安心・安全に暮らせる地域づくり」がそれぞれ2.8%などとなっています。

「どちらかといえば満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く10.9%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」「安心・安全に暮らせる地域づくり」がそれぞれ8.9%などとなっています。

「普通」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く59.7%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が59.2%、「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が57.8%などとなっています。

「やや不満」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く12.2%、次いで「福祉のまちづくりの推進」が10.9%、「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が10.5%などとなっています。

「不満」は「安心・安全に暮らせる地域づくり」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が最も多く3.9%、次いで「福祉のまちづくりの推進」が3.8%、「安全・安心に暮らせる地域づくり」が3.7%などとなっています。



## ② 各施策についての重要度

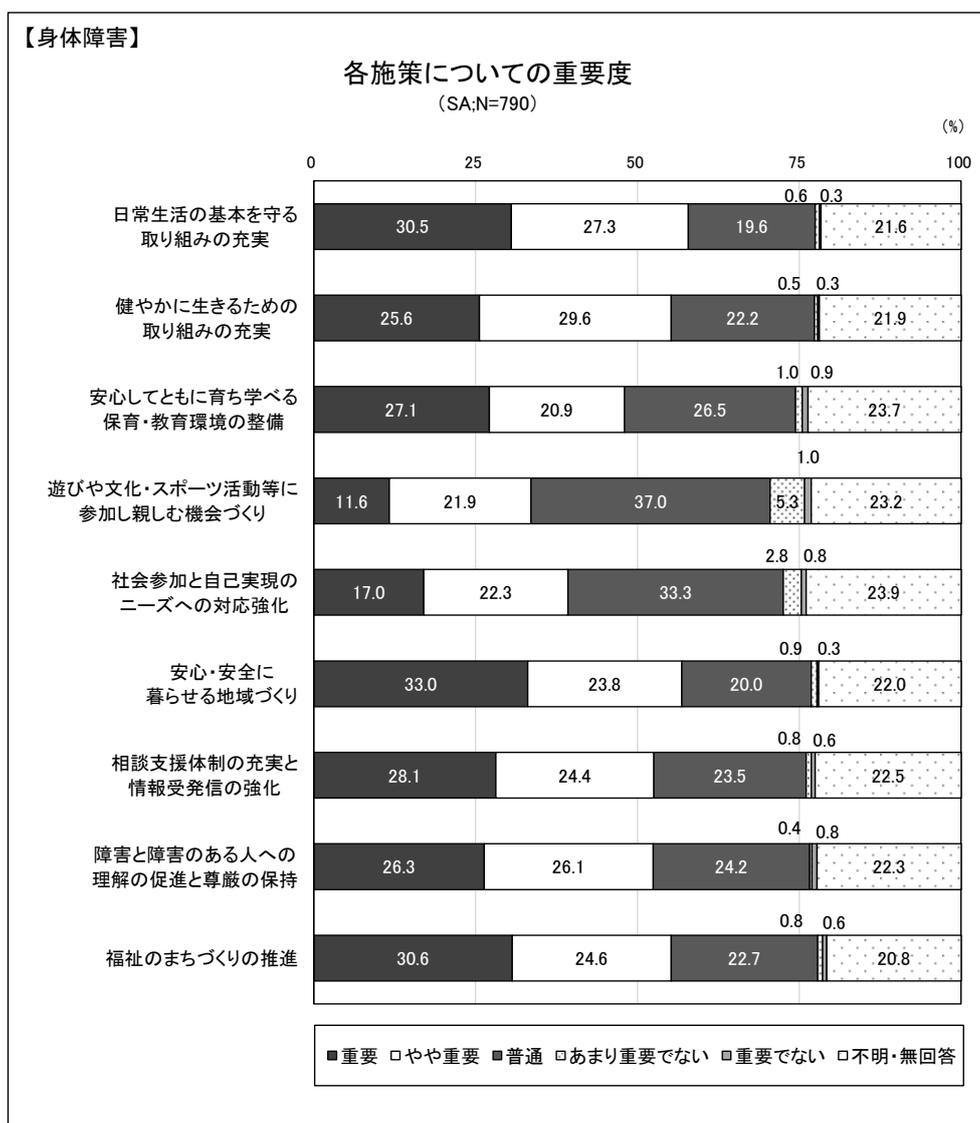
「重要」は「安全・安心に暮らせる地域づくり」が最も多く33.0%、次いで「福祉のまちづくりの推進」が30.6%、「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が30.5%などとなっています。

「やや重要」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く29.6%、次いで「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が27.3%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が26.1%などとなっています。

「普通」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く37.0%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が33.3%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が26.5%などとなっています。

「あまり重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く5.3%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が2.8%などとなっています。

「重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く1.0%、次いで「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が0.9%などとなっています。



(知的障害)

① 各施策についての満足度

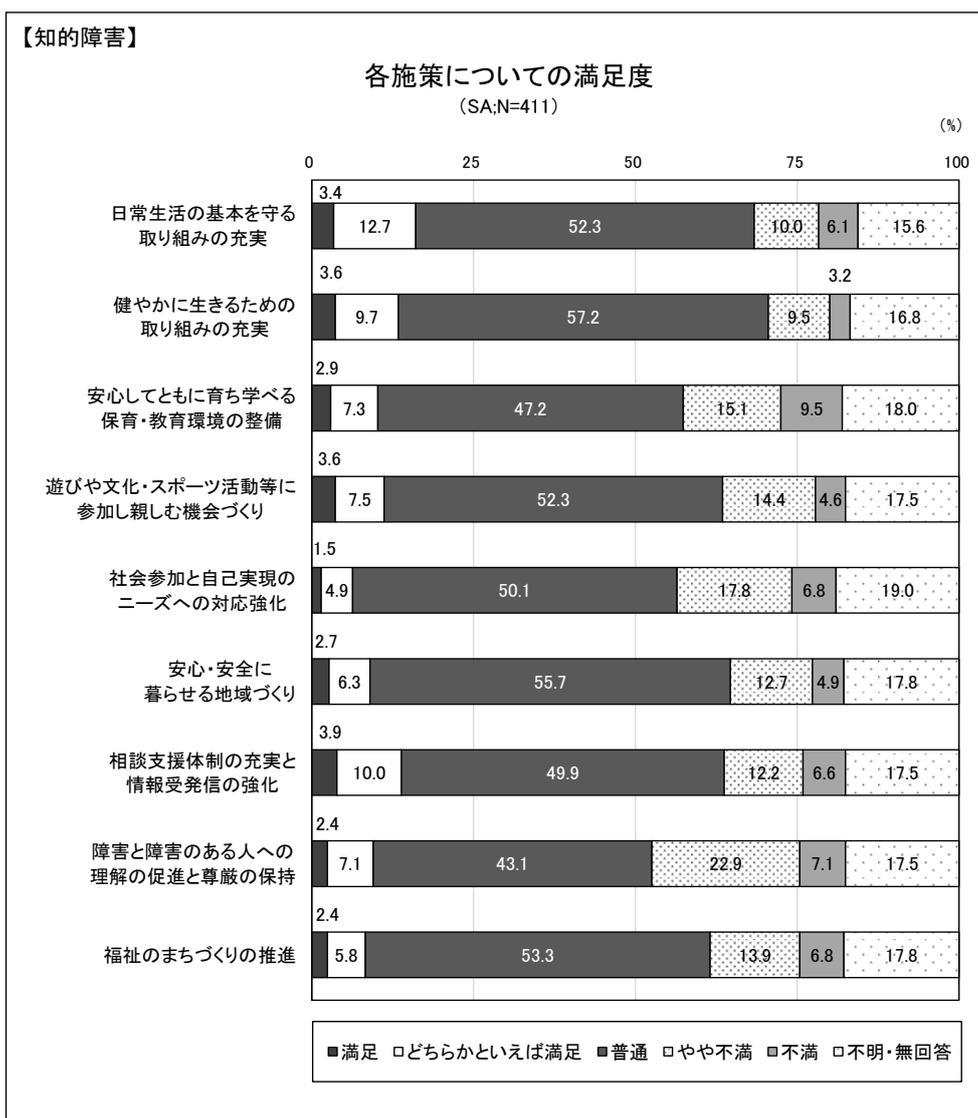
「満足」は「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が最も多く3.9%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」がそれぞれ3.6%などとなっています。

「どちらかといえば満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く12.7%、次いで「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が10.0%、「健やかに生きるための取り組みの充実」が9.7%などとなっています。

「普通」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く57.2%、次いで「安心・安全に暮らせる地域づくり」が55.7%、「福祉のまちづくりの推進」が53.3%などとなっています。

「やや不満」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く22.9%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が17.8%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が15.1%などとなっています。

「不満」は「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が最も多く9.5%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」「福祉のまちづくりの推進」がそれぞれ6.8%などとなっています。



## ② 各施策についての重要度

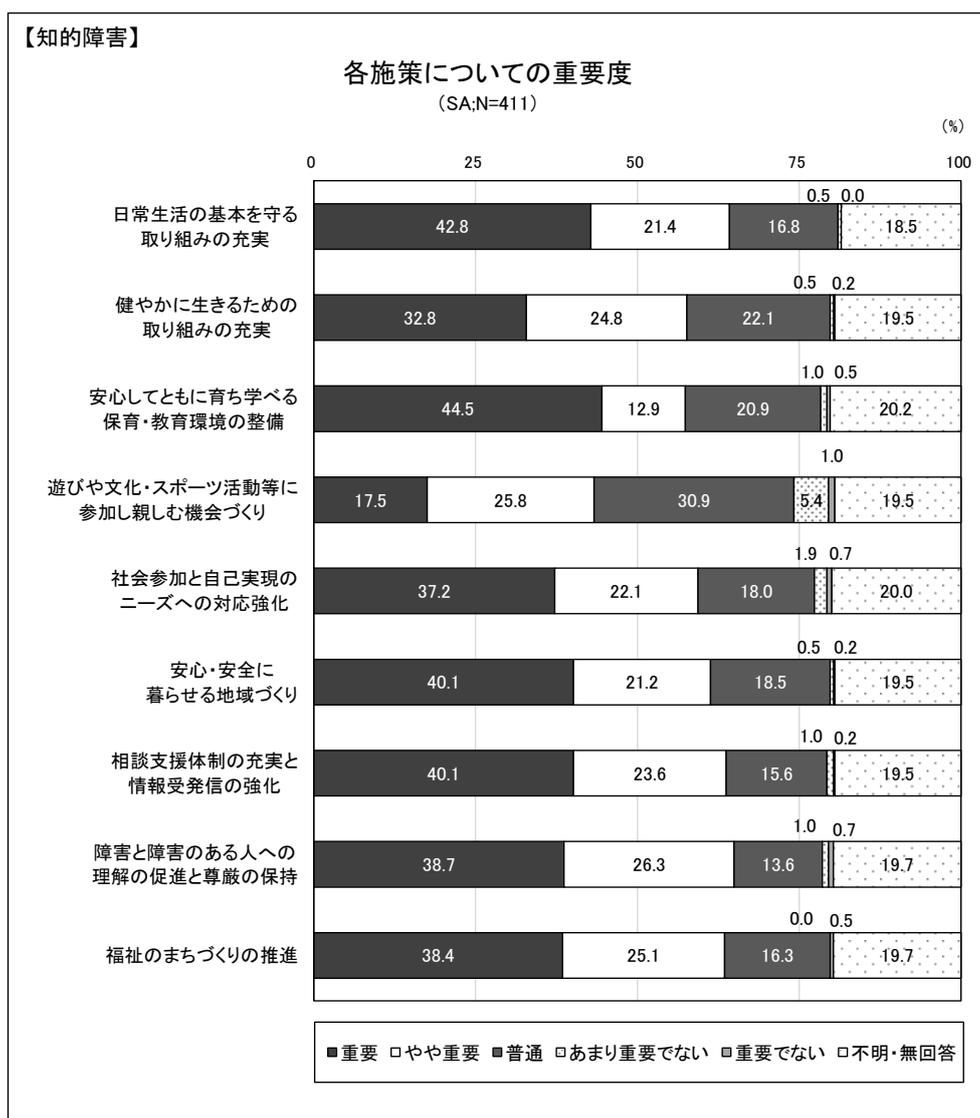
「重要」は「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が最も多く44.5%、次いで「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が42.8%、「安心・安全に暮らせる地域づくり」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」がそれぞれ40.1%などとなっています。

「やや重要」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く26.3%、次いで「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が25.8%、「福祉のまちづくりの推進」が25.1%などとなっています。

「普通」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く30.9%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」が24.8%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が20.9%などとなっています。

「あまり重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く5.4%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が1.9%、「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」がそれぞれ1.0%などとなっています。

「重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く19.5%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」がそれぞれ19.7%などとなっています。



(精神障害)

① 各施策についての満足度

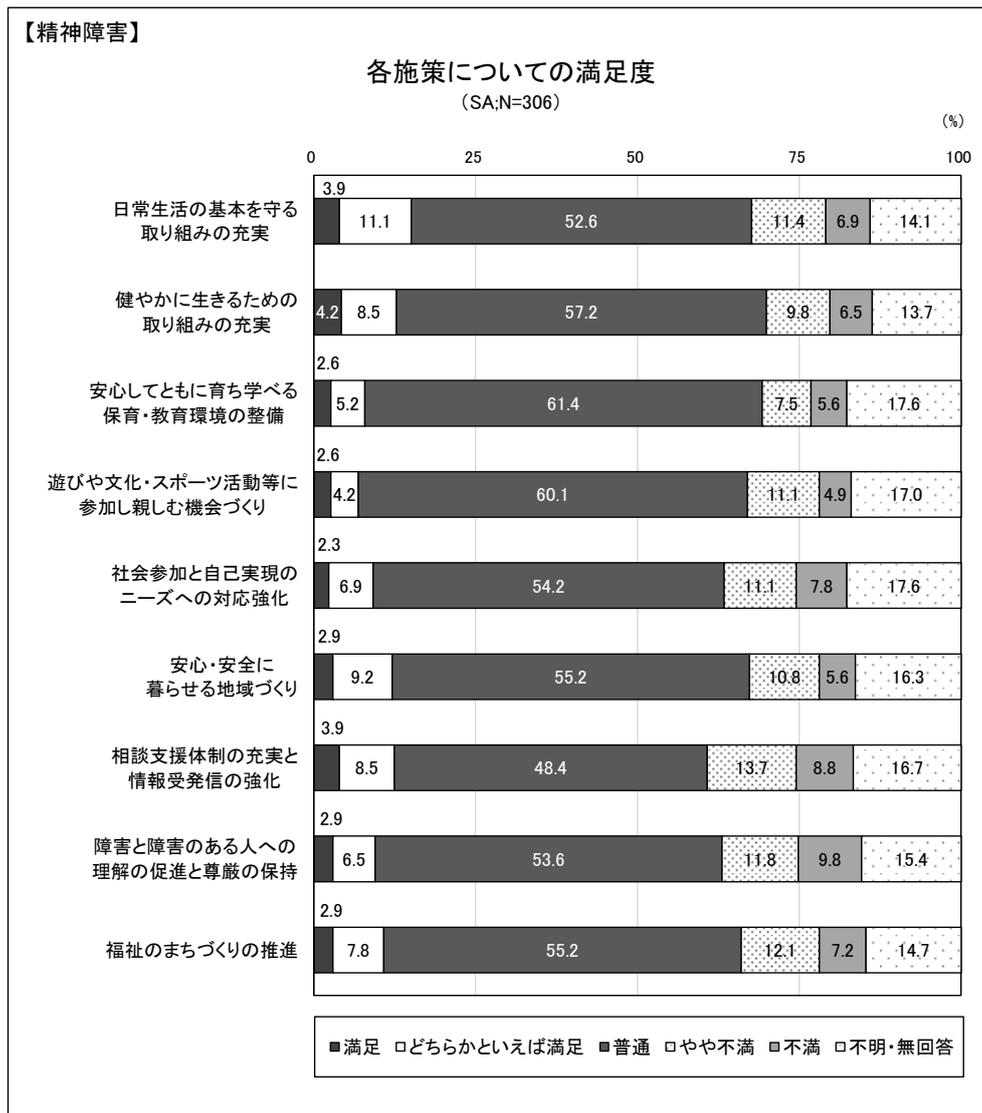
「満足」は「健やかに生きるための取り組みの充実」が最も多く4.2%、「日常生活の基本を守る取り組みの充実」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」がそれぞれ3.9%などとなっています。

「どちらかといえば満足」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く11.1%、次いで「安心・安全に暮らせる地域づくり」が9.2%、「健やかに生きるための取り組みの充実」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」がそれぞれ8.5%などとなっています。

「普通」は「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が最も多く61.4%、次いで「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が60.1%、「健やかに生きるための取り組みの充実」が57.2%などとなっています。

「やや不満」は「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が最も多く13.7%、次いで「福祉のまちづくりの推進」が12.1%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が11.8%などとなっています。

「不満」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く9.8%、次いで「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」が8.8%、「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が7.8%などとなっています。



## ② 各施策についての重要度

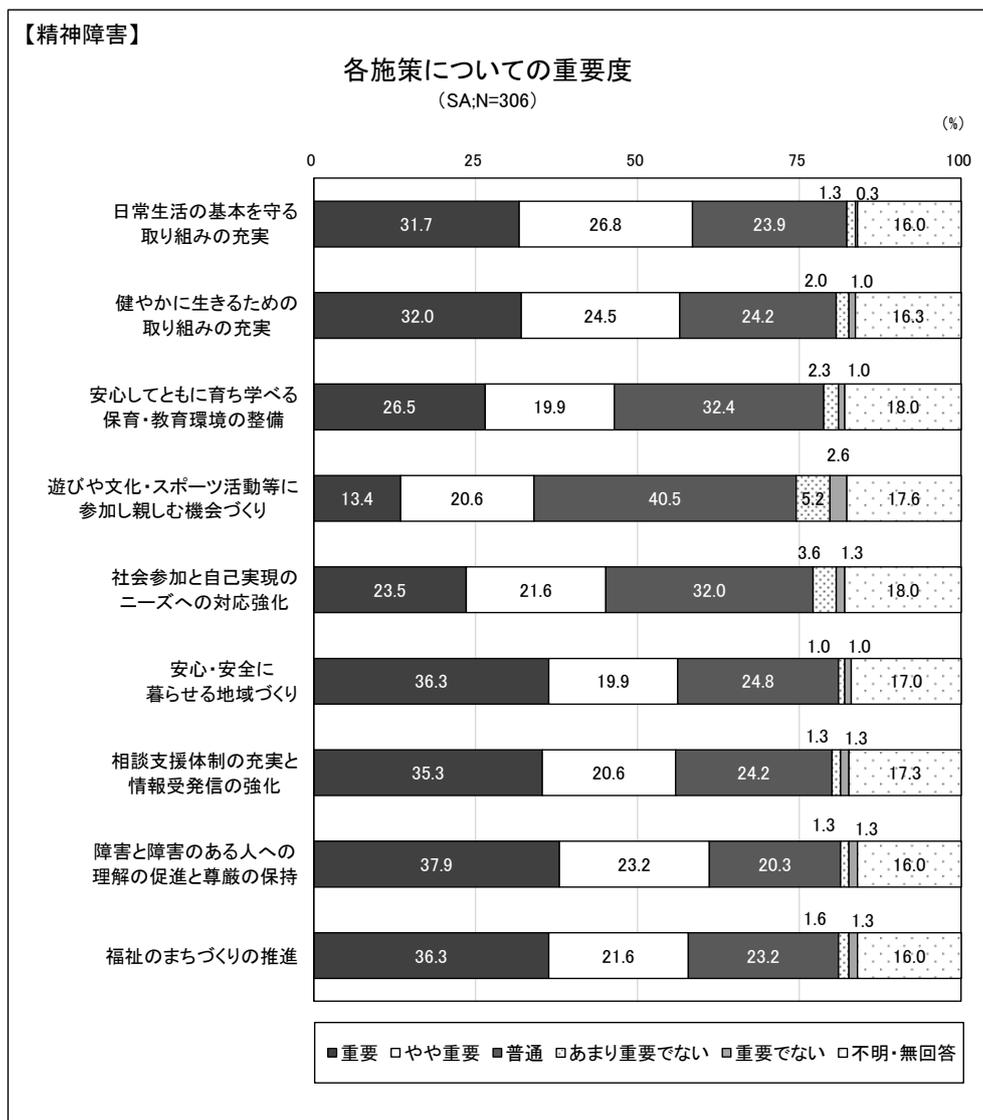
「重要」は「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が最も多く37.9%、次いで「安心・安全に暮らせる地域づくり」「福祉のまちづくりの推進」がそれぞれ36.3%などとなっています。

「やや重要」は「日常生活の基本を守る取り組みの充実」が最も多く26.8%、次いで「健やかに生きるための取り組みの充実」が24.5%、「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」が23.2%などとなっています。

「普通」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く40.5%、次いで「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が32.4%、「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が32.0%などとなっています。

「あまり重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く5.2%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」が3.6%、「安心してともに育ち学べる保育・教育環境の整備」が2.3%などとなっています。

「重要でない」は「遊びや文化・スポーツ活動等に参加し親しむ機会づくり」が最も多く13.4%、次いで「社会参加と自己実現のニーズへの対応強化」「相談支援体制の充実と情報受発信の強化」「障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持」「福祉のまちづくりの推進」がそれぞれ1.3%などとなっています。



## (10) 自由記述

延べ496件の意見があり、以下の分類で整理しています。

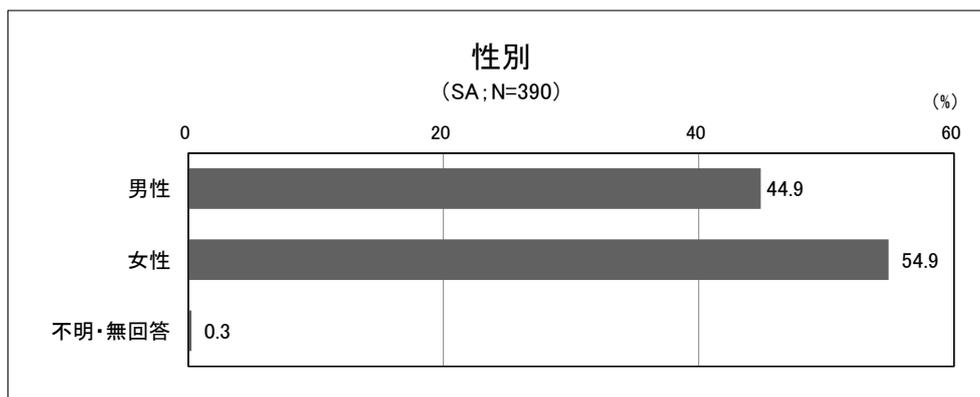
<u>行政の窓口対応や情報提供等について</u>	<u>157</u>
広報・情報提供の改善	47
担当窓口の対応改善	33
制度への疑問・改善	31
現状に満足	22
一般市民への障害者に対する普及啓発の充実	9
プライバシー保護の徹底	5
その他	12
<u>介護・医療について</u>	<u>126</u>
施設の増設	34
就労機会の増加	24
精神障害者への支援	21
相談窓口の設置	18
福祉人材の充足	14
介助者への支援	5
その他	12
<u>将来への不安</u>	<u>39</u>
親（介護者）世代の高齢化	29
災害時の対応・避難	10
<u>バリアフリーや移動の確保について</u>	<u>33</u>
交通網の改善	18
道路などのバリアフリー化の推進	8
移動支援事業の改善	4
駐車場の整備	3
<u>教育環境等について</u>	<u>27</u>
小・中・高等学校の改善	19
幼稚園・保育園の改善	6
放課後デイサービスの改善	2

地域コミュニティや地域活動について	19
障害者への配慮・理解の促進	13
スポーツ・文化活動への参加推進	6
経済的支援について	17
医療費の補助	7
交通費の補助	3
生活費の補助	3
その他	4
その他	78
アンケート調査について	56
その他	22

## 4. 市民対象調査の結果

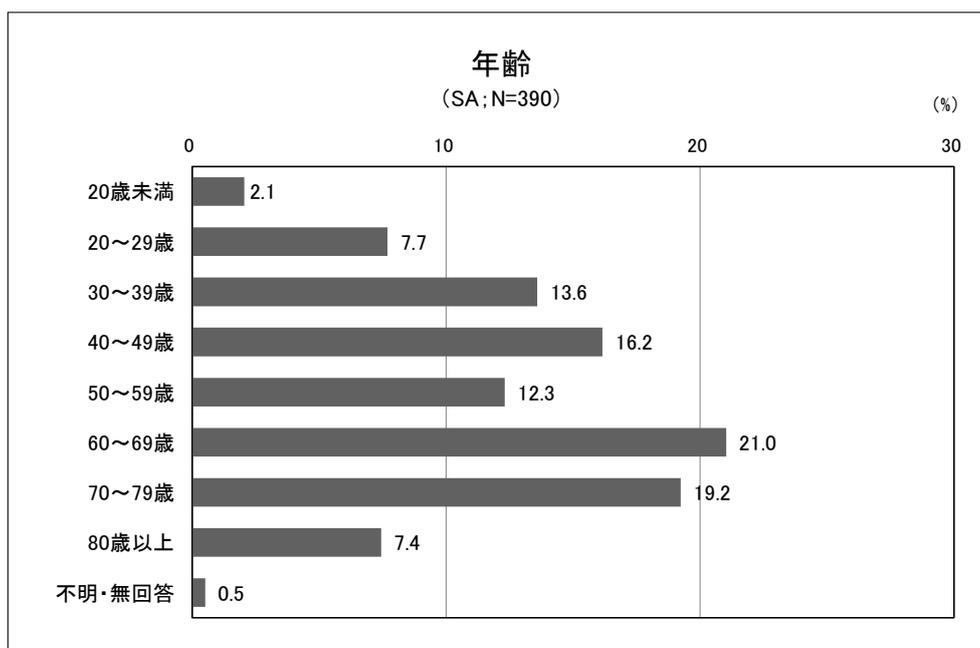
### ① 性別

「男性」が44.9%、「女性」が54.9%となっています。



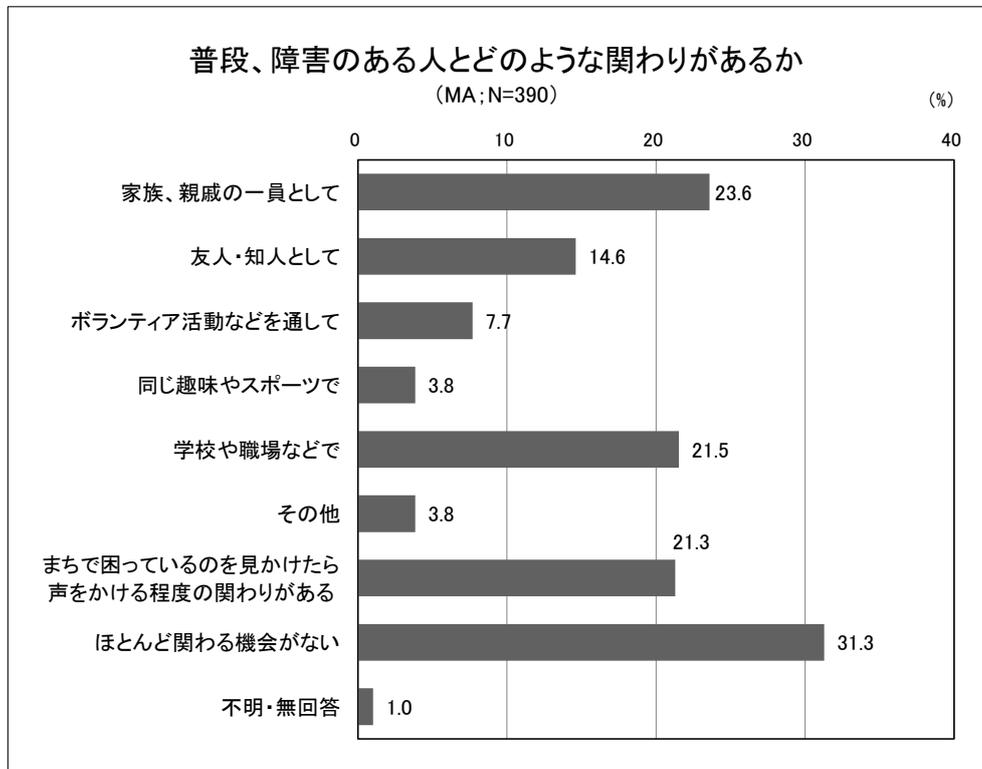
### ② 年齢

「60～69歳」が最も多く21.9%、次いで「70～79歳」が19.2%、「40～49歳」が16.2%、「30～39歳」が13.6%などとなっています。



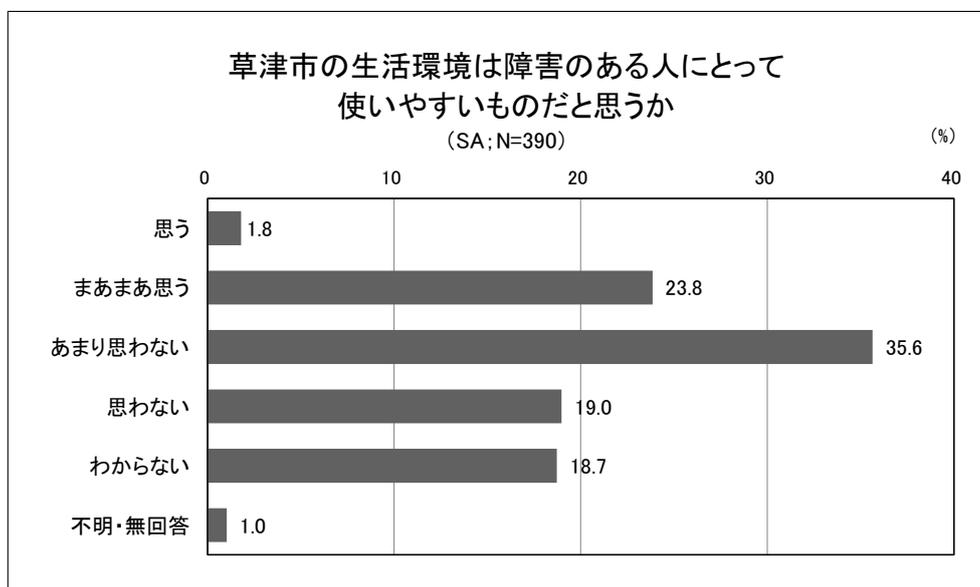
### ③ 普段、障害のある人とどのような関わりがあるか

「ほとんど関わる機会がない」が最も多く31.3%、次いで「家族、親戚の一員として」が23.6%、「学校や職場などで」が21.5%、「まちで困っているのを見かけたら声をかける程度の関わりがある」が21.3%などとなっています。



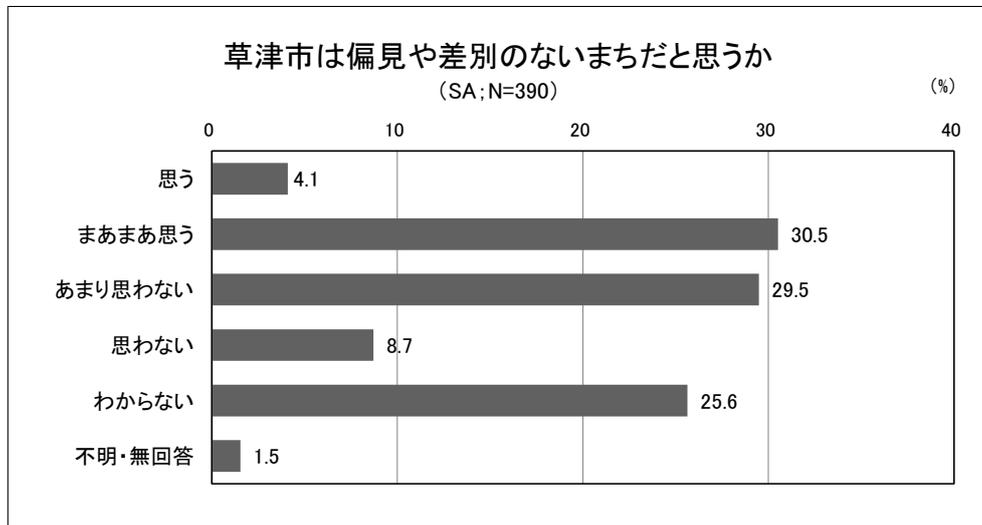
④ 草津市の生活環境は障害のある人にとって使いやすいものだと思うか

「あまり思わない」が最も多く35.6%、次いで「まあまあ思う」が23.8%、「思わない」が19.0%、「わからない」が18.7%などとなっています。



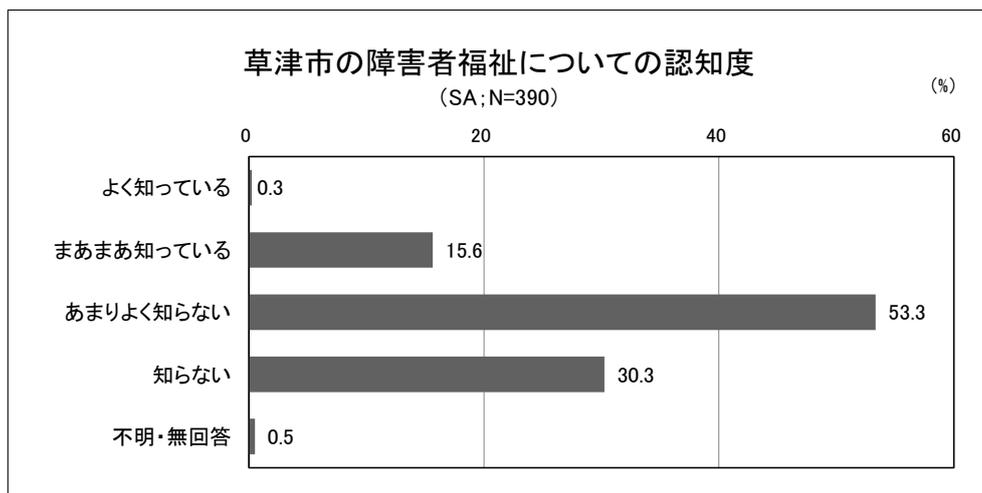
### ⑤ 草津市は偏見や差別のないまちだと思うか

「まあまあ思う」が最も多く30.5%、次いで「あまり思わない」が29.5%、「わからない」が25.6%などとなっています。



### ⑥ 草津市の障害者福祉についての認知度

「あまりよく知らない」が最も多く53.3%、次いで「知らない」が30.3%、「まあまあ知っている」が15.6%などとなっています。

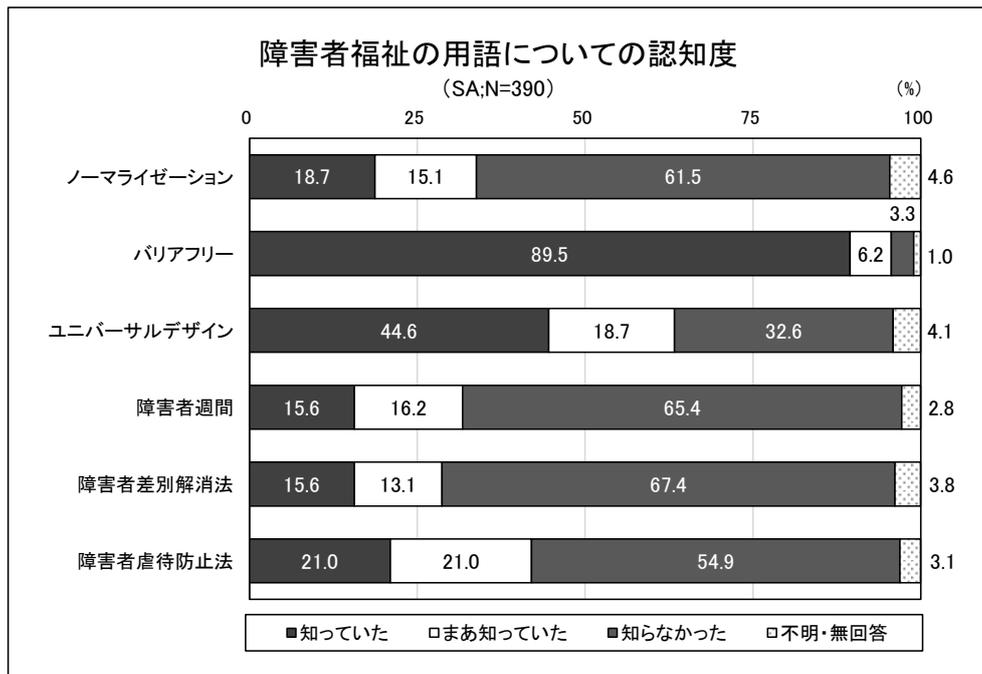


## ⑦ 障害者福祉の用語についての認知度

「知っていた」は「バリアフリー」が最も多く89.5%、次いで「ユニバーサルデザイン」が44.6%、「ノーマライゼーション」が18.7%などとなっています。

「まあ知っていた」は「ユニバーサルデザイン」が最も多く18.7%、次いで「障害者週間」が16.2%、「ノーマライゼーション」が15.1%などとなっています。

「知らなかった」は「障害者差別解消法」が最も多く67.4%、次いで「障害者週間」が65.4%、「ノーマライゼーション」が61.5%などとなっています。



⑧ 障害のある人々に関わるボランティア活動や交流活動についての関心

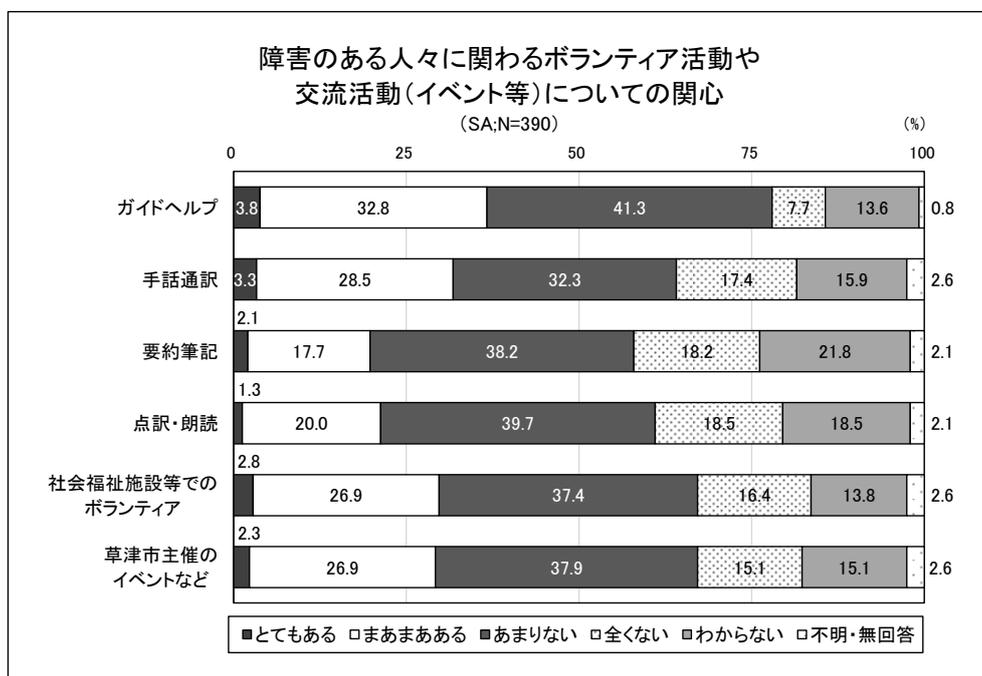
「とてもある」は「ガイドヘルプ」が最も多く3.8%、次いで「手話通訳」が3.3%、「社会福祉施設等でのボランティア」が2.8%などとなっています。

「まあまあある」は「ガイドヘルプ」が最も多く32.8%、次いで「手話通訳」が28.5%、「社会福祉施設等でのボランティア」「草津市主催のイベントなど」がそれぞれ26.9%などとなっています。

「あまりない」は「ガイドヘルプ」が最も多く41.3%、次いで「点訳・朗読」が39.7%、「要約筆記」が38.2%などとなっています。

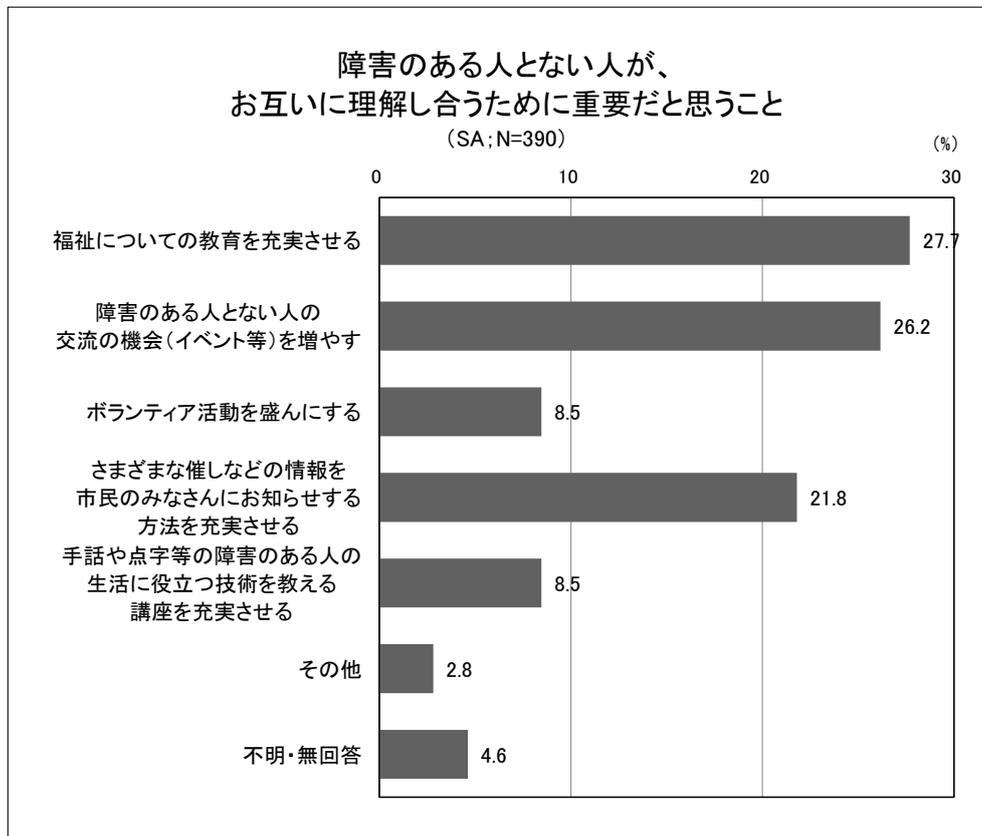
「全くない」は「点訳・朗読」が最も多く18.5%、次いで「要約筆記」が18.2%、「手話通訳」が17.4%などとなっています。

「わからない」は「要約筆記」が最も多く21.8%、次いで「点訳・朗読」が18.5%、「手話通訳」が15.9%などとなっています。



⑨ 障害のある人とない人が、お互いに理解し合うために重要だと思うこと

「福祉についての教育を充実させる」が最も多く27.7%、次いで「障害のある人とない人の交流の機会(イベント等)を増やす」が26.2%、「さまざまな催しなどの情報を市民のみなさんにお知らせする方法を充実させる」が21.8%などとなっています。



⑩ 自由記述

延べ82件の意見があり、以下の分類で整理しています。

- ・ 障害者への配慮・理解の促進について ..... 16
- ・ バリアフリーや移動の確保について ..... 12
- ・ 行政の制度や施策について ..... 11
- ・ 障害者に関する情報・知識不足について ..... 8
- ・ 学校教育について ..... 7
- ・ 一般市民への障害者に対する普及啓発について ..... 5
- ・ 地域コミュニケーションについて ..... 5
- ・ 就労環境・支援について ..... 5
- ・ その他 ..... 13

**資料**  
**アンケート調査票**

# ①障害者手帳所持者対象調査

## 福祉に関するアンケート調査票

皆様には日頃から市福祉行政に御協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、今後策定を予定している「障害者計画」「障害福祉計画」の資料となるほか、草津市が福祉を進める上での貴重な資料となります。

調査の対象は、身体障害者手帳を持っている人のうちの一部の人、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている全ての人です。

よりよい草津市をつくるため、御協力いただきますようお願いいたします。なお、草津市個人情報保護条例に基づき、プライバシーには十分注意いたします。

### <御記入にあたってのお願い>

- このアンケートには、お名前を書いていただく必要はありません。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的にその内容を御記入ください。
- 御記入いただきましたアンケートは、一緒に入っていた封筒に入れて、切手を貼らずに平成29年1月31日までに、ポストに入れてください。

【この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします】

滋賀県草津市草津三丁目13番30号 草津市健康福祉部障害福祉課  
電話：(077) 561-2363 ファクス：(077) 561-2480  
電子メール：shogaifukushi@city.kusatsu.lg.jp

平成29年1月 草津市

問1 当アンケートにお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

ご本人	1. 御本人
ふほ	2. 父母
そふほ	3. 祖父母
	4. きょうだい
かそくいがい かいじょしゃ	5. 家族以外の介助者など
た	6. その他 ( )

ご本人以外の方がお答えいただく場合は、わかる範囲でご本人の状況についてお答えください。

あなた(宛名の方)の年齢・性別などについてお聞きします

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成28年11月末日現在)

まん 歳

--

問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「6」に〇をつけてください。

ふほ	1. 父母
そふほ	2. 祖父母
	3. きょうだい
はいぐうしゅ おっと つま	4. 配偶者(夫または妻)
こ	5. 子ども
かそくいがい ひと	6. 家族以外の人
ひとり ひと	7. いない(一人で暮らしている)
た	8. その他 ( )

(問4で「1」～「5」を答えた方)

問5 現在、一緒に暮らしているあなたの家族は、あなたを含め何人ですか。

あなたを含め

--

にんかそく 人家族

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ お風呂	1	2	3
④ 着替え	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人に、自分の考えを伝える	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

(問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を答えた方)

問7 あなたを介助してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	2. ホームヘルパー・施設職員 3. その他 ( ) 4. 頼める人がいない
-------	--

(問7で「1」を答えた方)

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方はどなたですか。また、その方の年齢、健康状態をお答えください。

① 介助の中心となる家族 (○は1つだけ)

1. 父	4. 祖母	7. 姉	10. 妻
2. 母	5. 兄	8. 妹	11. 子ども
3. 祖父	6. 弟	9. 夫	12. その他 ( )

② 介助の中心となる家族の年齢 (平成28年11月末日現在)

満  歳

③ 介助の中心となる家族の健康状態 (○は1つだけ)

1. よい                      2. ふう                      3. よくない

あなたの障害の状況についてお聞きします

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 4. 4級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 5. 5級 |           |
| 3. 3級 | 6. 6級 |           |

(問9で「1」～「6」を答えた方)

問10 身体障害者手帳の主たる障害をお答えください。(〇は1つだけ)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 視覚障害           | 4. 肢体不自由             |
| 2. 聴覚障害・平衡機能障害    | 5. 内部障害(心臓、腎臓、呼吸器など) |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 |                      |

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- |       |       |       |       |           |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. A1 | 2. A2 | 3. B1 | 4. B2 | 5. 持っていない |
|-------|-------|-------|-------|-----------|

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- |       |       |       |           |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問13 あなたは難病との診断を受けたことがありますか。(〇は1つだけ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

※難病とは、治療法が確立しておらず、慢性の経過を辿る疾病をいいます。

問14 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※発達障害とは、自閉症、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問15 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくみ合わない」等の症状があります。

問16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 医療的ケアは受けていない    | 8. 中心静脈栄養 (IVH)      |
| 2. 気管切開            | 9. 透析                |
| 3. 人工呼吸器 (レスピレーター) | 10. カテーテル留置          |
| 4. 吸入              | 11. ストーマ (人工肛門・人工膀胱) |
| 5. 吸引              | 12. 在宅酸素             |
| 6. 胃ろう・腸ろう         | 13. インシュリン注射         |
| 7. 鼻腔経管栄養          | 14. その他 ( )          |

住まいや暮らしについてお聞きします

問17 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 一人で暮らしている                             |
| 2. 家族と暮らしている                             |
| 3. グループホームで暮らしている                        |
| 4. 福祉施設 (障害者支援施設、高齢者支援施設、児童福祉施設) で暮らしている |
| 5. 病院に入院している                             |
| 6. その他 ( )                               |

(問17で「4」または「5」を答えた方)

問18 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

- |                    |
|--------------------|
| 1. 今のまま生活したい       |
| 2. グループホームなどを利用したい |
| 3. 家族と一緒に生活したい     |
| 4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい |
| 5. その他 ( )         |

とい くさつし す ちいき せいかつ しえん おも  
 問19 あなたが草津市に住んで地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思  
 いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅で医療的ケアなどが適切に受けられること
2. 障害者にとって住みやすい家が準備されていること
3. 必要な福祉サービスが適切に利用できること
4. 生活するための訓練等が充実していること
5. 仕事に就くための訓練等が充実していること
6. 生活に必要なお金の負担が軽減されること
7. 相談できる場所や人等が充実していること
8. 緊急時に助けてくれる人がいること
9. 地域の人達に障害や病気に対する理解があること
10. 障害者同士や趣味が同じ人が集まる団体、クラブやサークルがあること
11. 障害者を支援することを目的としたボランティア団体があること
12. その他 ( )

とい げんざい せいかつ こま ぶあん おも  
 問20 あなたは現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

1. 特に困っていることはない
2. 緊急時に相談できる窓口がない
3. 身の回りの支援をしてくれる人がいない
4. 一緒に暮らす人がいない
5. 働くところがない
6. 生活に必要なお金が足りない
7. 趣味や生きがいが見つけれない
8. 生活をするうえで必要な情報が得られない
9. 自分の健康や体力に自信がない
10. 家族など介助者の健康状態に不安がある
11. 一緒に暮らしている家族との関係が気になる
12. 地域の中に親しい人がいない
13. 気軽に行ける病院がない
14. 将来的に生活する住まい、または施設があるかどうか不安である
15. その他 ( )

日中活動や就労についてお聞きします

問21 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日外出する   | 3. めったに外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | 4. まったく外出しない |

(問22・問23は、問21で「4」以外を答えた方)

問22 あなたは誰と一緒に外出することが多いですか。(〇は1つだけ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 父母・祖父母・きょうだい | 4. ヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者(夫または妻)   | 5. その他( )     |
| 3. 子ども          | 6. 一人で外出する    |

問23 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 通勤・通学・(幼稚園、保育所等に)通園・通所 | 6. 趣味やスポーツをする   |
| 2. 訓練やりハビリに行く             | 7. グループ活動に参加する  |
| 3. 病院に行く                  | 8. 散歩に行く        |
| 4. 買い物に行く                 | 9. 地域のイベントに参加する |
| 5. 友人・知人に会う               | 10. その他( )      |

問24 外出する時に困ることや、外出しようと思ったときにとりやめたりすることはありますか。(〇は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(問24で「1」を答えた方)

問25 それはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない      |
| 2. 電車やバスの乗り降りが難しい                |
| 3. 道路(歩道)や駅に階段や段差が多い             |
| 4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい          |
| 5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) |
| 6. 家族やヘルパー、ボランティアなどの介助者が確保できない   |
| 7. 外出にお金がかかる(交通費やヘルパーの利用料金など)    |
| 8. 周囲の目が気になる                     |
| 9. 発作など突然の体調不良が心配である             |
| 10. 困った時にどうすればいいのか心配である          |
| 11. 休憩できる場所が少ない                  |
| 12. その他( )                       |

問26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労移行支援、就労継続支援A型・B型を含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院等で過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. 特別支援学校(小中高等部)に通っている
11. 一般の高校、小中学校に通っている
12. 幼稚園、保育所、認定こども園などに通っている
13. 障害児の通所施設に通っている
  - 利用している通所サービスに〇をしてください
  - a 児童発達支援                      b 医療型児童発達支援
  - c 放課後等デイサービス          d 保育所等訪問支援
14. その他( )

(問26で「1」を答えた方)

問27 どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障害への配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他( )

問28 あなたには働く意欲がありますか。(〇は1つだけ)

1. ある
2. ない

(問28で「1」を答えた方)

問29 あなたは現在、仕事(就労移行支援、就労継続支援A型・B型を含む)をしていますか。(〇は1つだけ)

1. している
2. していない

問30 収入を得る仕事に就くために、職業訓練（職業訓練校、トライアル雇用など、ハローワークを通じた訓練）を受けたいと思いますか。（〇は1つだけ）

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問31 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに〇）

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数、時間差出勤等の配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の上司や同僚に障害の理解があること
6. 職場で介助や援助等が受けられること
7. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
8. 企業ニーズに合った就労訓練
9. 仕事についての職場外での相談対応、支援
10. その他（ ）

問32 病院に関係することで、あなたが困っていることはありますか。（〇は1つだけ）

- |       |         |
|-------|---------|
| 1. ある | 2. 特にない |
|-------|---------|

（問32で「1」を答えた方）

問33 それはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 通院するときに手助けしてくれる人がいない
2. 専門的な治療を行う病院が身近にない
3. 専門的なりハビリができる施設が身近にない
4. ちょっとした病気やけがのときに受け入れてくれる病院が身近にない
5. 障害が理由で治療を受けにくい診療科がある（例：歯科・整形外科など）
6. 気軽に診てくれる医師がいない
7. 交通費の負担が大きい
8. 医療費の負担が大きい
9. その他（ ）

しょうがいふくし とうりよう き  
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 利 用 に つ い て お 聞 き し ま す

とい しょうがいしえんくぶん にんてい う  
問34 あなたは障 害 支 援 区 分 の 認 定 を 受 け て い ま す か。 (〇は1つだけ)

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	7. 受けていない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	

とい かいごほけんせいど ようかいごにんてい  
問35 あなたは介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

1. 要支援1	3. 要介護1	5. 要介護3	7. 要介護5
2. 要支援2	4. 要介護2	6. 要介護4	8. 受けていない

とい つぎ りよう こんごりよう かんが  
問36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。  
(①から③のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を  
回答(番号に〇)してください)

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
きゅうれい 記入例	1か2どちらかに必ず 〇をしてください。		1か2どちらかに必ず 〇をしてください。	
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を 行います	①	2	1	②
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を 行います	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方 に、自宅で入浴や排せつ、食事などの 介助や外出時の移動の支援を行います	1	2	1	2
③ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難 で常に介護が必要な方に、行動するとき 危険を回避するために必要な介助や 外出時の移動の支援などを行います	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
<p>④ 同行援護  <small>しかくしょうがい</small> <small>いどう</small> <small>いちじる</small> <small>こんなん</small>            視覚障害により移動が著しく困難な  <small>かた</small> <small>がいしゆつ</small> <small>ひつよう</small> <small>しょうぼう</small> <small>ていきよう</small> <small>いどう</small>            方に、外出に必要な情報の提供や移動  <small>しえん</small> <small>おこな</small>            の支援などを行います</p>	1	2	1	2
<p>⑤ 生活介護  <small>せいかつがいご</small>  <small>かね</small> <small>かいご</small> <small>ひつよう</small> <small>かた</small> <small>しせつ</small> <small>にゅうよく</small> <small>はい</small>            常に介護が必要な方に、施設で入浴や排  <small>しょくじ</small> <small>かいご</small> <small>そうさくてきかつどう</small>            せつ、食事の介護や創作的活動などの  <small>さかい</small> <small>ていきよう</small>            機会を提供します</p>	1	2	1	2
<p>⑥ 機能訓練  <small>きんのうくんれん</small>  <small>じりつ</small> <small>にちじょうせいけつ</small> <small>しゃかいせいけつ</small>            自立した日常生活や社会生活ができるよう、  <small>いってい</small> <small>まかん</small> <small>しんたいきものこうじょう</small>            一定の期間における身体機能向上のため  <small>ひつよう</small> <small>くんれん</small> <small>おこな</small>            に必要な訓練を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑦ 生活訓練  <small>せいかつくんれん</small>  <small>じりつ</small> <small>にちじょうせいけつ</small> <small>しゃかいせいけつ</small>            自立した日常生活や社会生活ができるよう、  <small>いってい</small> <small>まかん</small> <small>せいけつのもりよくこうじょう</small>            一定の期間における生活能力向上のため  <small>ひつよう</small> <small>くんれん</small> <small>おこな</small>            に必要な訓練を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑧ 就労移行支援  <small>しゅうらういこうしえん</small>  <small>つうじょう</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>はたら</small> <small>かた</small> <small>いってい</small>            通常の事業所で働きたい方に、一定の  <small>まかん</small> <small>しゅうらう</small> <small>ひつよう</small> <small>ちしき</small> <small>のうりよく</small> <small>こうじょう</small>            期間、就労に必要な知識や能力の向上  <small>くんれん</small> <small>おこな</small>            のための訓練を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑨ 就労継続支援A型  <small>しゅうらうけいぞくしえん</small> <small>かた</small>  <small>つうじょう</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>こよう</small> <small>こんなん</small>            通常の事業所で雇用されることが困難  <small>こようけいやく</small> <small>もと</small> <small>はたら</small> <small>かのう</small>            で、雇用契約に基づいて働くことが可能  <small>かた</small> <small>しゅうらう</small> <small>さかい</small> <small>ていきよう</small> <small>せいさんかつどう</small>            な方に、就労の機会の提供や生産活動  <small>た</small> <small>かつどう</small> <small>さかい</small> <small>ていきよう</small> <small>ちしき</small>            その他の活動の機会の提供、知識や  <small>のうりよく</small> <small>こうじょう</small> <small>くんれん</small> <small>おこな</small>            能力の向上のための訓練を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑩ 就労継続支援B型  <small>しゅうらうけいぞくしえん</small> <small>かた</small>  <small>つうじょう</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>こよう</small> <small>こんなん</small>            通常の事業所で雇用されることが困難  <small>こようけいやく</small> <small>もと</small> <small>はたら</small> <small>こんなん</small>            で、雇用契約に基づいて働くことが困難  <small>かた</small> <small>しゅうらう</small> <small>さかい</small> <small>ていきよう</small> <small>せいさんかつどう</small>            な方に、就労の機会の提供や生産活動  <small>た</small> <small>かつどう</small> <small>さかい</small> <small>ていきよう</small> <small>ちしき</small>            その他の活動の機会の提供、知識や  <small>のうりよく</small> <small>こうじょう</small> <small>くんれん</small> <small>おこな</small>            能力の向上のための訓練を行います</p>	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
<p>⑪ 療養介護</p> <p>医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供します</p>	1	2	1	2
<p>⑫ 短期入所（ショートステイ）</p> <p>在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、障害者（児）が施設に短期間入所し、入浴や排せつ、食事の介護などを行います</p>	1	2	1	2
<p>⑬ 共同生活援助（グループホーム）</p> <p>夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑭ 施設入所支援</p> <p>主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、入浴や排せつ、食事の介護などの支援を行います</p>	1	2	1	2
<p>⑮ 計画相談支援</p> <p>障害者（児）一人一人の課題解決や適切なサービス利用のためのサービス等利用計画を作成します</p>	1	2	1	2
<p>⑯ 地域相談支援（地域移行支援）</p> <p>入所施設や精神科病院から退所・退院する人の地域への移行を支援します</p>	1	2	1	2
<p>⑰ 地域相談支援（地域定着支援）</p> <p>入所施設や精神科病院から退所・退院した人の地域生活の継続を支援します</p>	1	2	1	2
<p>⑱ 障害者相談支援事業</p> <p>相談、情報提供、虐待防止、権利擁護のために必要な支援を行います</p>	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑱ せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業 はんだんのうりよく ふじゅうざん しょうがい かた たい 判断能力が不十分な障害のある方に対して けいやくとう てきせつ おこな して契約等が適切に行われるようにす る、成年後見制度の利用を支援します せいねんこうけんせいど りよう しえん	1	2	1	2
⑳ いしそつうしえんじぎょう 意思疎通支援事業 しゅわつうやく ようやくひっさしゅはけん (手話通訳・要約筆記者派遣) しゅわつうやく ようやくひっさ おこな ひと 手話通訳や要約筆記などを行う人の はけん おこな 派遣などを行います	1	2	1	2
㉑ にゅういんじ しえん 入院時コミュニケーション支援 はつごこんなん せつう いしそつう はか 発語困難などの理由で意思疎通を図ることが むずか ひと にゅういん とさ いし かんごし 難しい人が入院した時に、医師や看護師との しえん ひと はけん コミュニケーションを支援する人を派遣します	1	2	1	2
㉒ にちじょうせいけつようどうさきゅうどうじぎょう 日常生活用具等給付等事業 じゅうど しょうがい かた たい にちじょうせいけつ 重度の障害のある方に対し、日常生活を べんり ようぐ さきゅう 便利にするための用具を給付します	1	2	1	2
㉓ いどうしえんじぎょう 移動支援事業 がいしゅつ いどう しえん 外出などの移動を支援します	1	2	1	2
㉔ ちいきかつどうしえん じぎょう きそくてきじぎょう 地域活動支援センター事業（基礎的事業） そうさくてきかつどう せいさんかつどう きかい ていぎょう 創作的活動や生産活動の機会を提供します	1	2	1	2
㉕ ほうちんにゅうよく じぎょう 訪問入浴サービス事業 じたく よくそう はこ にゅうよく 自宅に浴槽を運び、入浴サービスを ていきょう 提供します	1	2	1	2
㉖ にちちゅういちしえんじぎょう 日中一時支援事業 にちちゅう かつどう ば かくほ しえん 日中における活動の場の確保を支援します	1	2	1	2
㉗ しゃかいさんかそくしんじぎょう しょうがいしゅ たいかいじぎょう 社会参加促進事業（障害者スポーツ大会事業） しょうがいしゅ たいかい かいさい 障害者スポーツ大会を開催します	1	2	1	2
㉘ じどうはつだつしえん 児童発達支援 にちじょうせいけつ きまんでき どうさ しどう 日常生活における基本的な動作の指導、 ちしきぎのう しゅうとく しゅうだんせいけつ てきおう 知識技能の習得、集団生活への適応 くんれん しえん おこな 訓練などの支援を行います	1	2	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用したい	りよう 利用しない
いりょうがたじどうほつたつしえん ⑲ 医療型児童発達支援 じどう ほつたつじょうきょう いりょうめん たいおう 児童の発達状況や医療面での対応の ひつようど こうりよ じどうほつたつしえん 必要度を考慮して、児童発達支援および ちりょう おこな 治療を行います	1	2	1	2
ほろかごどう ⑳ 放課後等デイサービス がっこう じゆぎょうしゅうりょうご がっこう きょうこうひ かよ 学校の授業終了後や学校の休校日に通い、 せいかつのもりよくこうじょう ひつよう くんれん 生活能力向上のために必要な訓練や しゃがい こうりゆう そくしん しえん おこな 社会との交流の促進などの支援を行います	1	2	1	2
ほいくしよどうほうちんしえん ㉑ 保育所等訪問支援 ほいくしよどう ほうちん しょうがいじ たい た 保育所等を訪問し、障害児に対して、他 じどう しょうだんせいかつ てきおう の児童との集団生活への対応のための せんもんてき しえん おこな 専門的な支援などを行います	1	2	1	2
しょうがいじ そうだんしえん ㉒ 障害児相談支援 しょうがいじ ひとりひとり かだい かいけつ てきせつ 障害児一人一人の課題解決や適切なサ りよう しょうがいじしえん りようけいかく ービス利用のための障害児支援利用計画 とうりょうけいかく さくせい (サービス等利用計画)を作成します	1	2	1	2

相談相手についてお聞きします

問37 あなたは、普段悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談しない (理由: \_\_\_\_\_)
2. 家族や親せき
3. 友人・知人
4. 近所の人
5. 職場の上司や同僚
6. 相談支援専門員
7. 施設の指導員
8. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
9. 障害者団体や家族会
10. かかりつけの医師や看護師
11. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
12. 民生委員・児童委員
13. 障害児通所施設や保育所、幼稚園、認定こども園、学校の先生
14. 民間の相談窓口
15. 行政機関の相談窓口
16. その他 ( \_\_\_\_\_ )

問38 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. 相談支援専門員
6. 施設の指導員やホームヘルパーなどサービス事業所の人
7. 障害者団体や家族会 (団体の機関誌など)
8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
10. 民生委員・児童委員
11. 障害児通所施設や保育所、幼稚園、認定こども園、学校の先生
12. 民間の相談窓口
13. 行政機関の相談窓口
14. その他 ( \_\_\_\_\_ )

権利擁護についてお聞きします

問39 あなたは、障害があることで差別を受けた、または嫌な思いをしたことがありますか。

(〇は1つだけ)

1. ある	2. 少しある	3. ない
-------	---------	-------

(問39で、「1」または「2」を答えた方)

問40 どのような場所で差別を受けたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 近所	5. 福祉施設
2. 市役所などの公共施設	6. 住んでいる地域
3. 病院などの医療機関	7. その他( )
4. 学校・職場	

それはどのような場合でしたか。差し支えない範囲で御記入ください。


問41 あなたは草津市民の障害者に対する理解は進んできたと思いますか。

(〇は1つだけ)

1. かなり進んできた	3. 進んでいない
2. まあまあ進んできた	4. どちらともいえない

問42 成年後見制度について御存じですか。(〇は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

※成年後見制度とは、判断能力が不十分なために財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で支援する制度です。

さいがいじ ひなんとう  
災害時の避難等についてお聞きします

とい かじ じしんとう さいがいじ ひとり ひなん  
問43 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

1. できる                      2. できない                      3. わからない

とい かそく ふざい ばあい ひとりく ばあい きんじょ たす ひと  
問44 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。  
(〇は1つだけ)

1. いる                      2. いない                      3. わからない

とい かじ じしんとう さいがいじ しょうがい こま しんぱい  
問45 火事や地震等の災害時、障害があることで困ること、心配なことはありますか。  
(あてはまるものすべてに〇)

1. 特(とく)にない
2. 治療(ちりょう)が受けられない、薬(くすり)がもらえない、医療的(いりょうてき)ケア(けあ)が受けられない
3. 補装具(ほそうぐ) (車(くるま)いす、補聴器(ほちようき)、白杖(はくじょう)、義足(ぎそく)など)が使用(しよう)しづらくなる
4. 補装具(ほそうぐ) (車(くるま)いす、補聴器(ほちようき)、白杖(はくじょう)、義足(ぎそく)など)や日(にち)常(じょう)生活(せいかつ)用具(ようぐ)を手(て)に入れ(い)にくくなる
5. 救(きゆう)助(じゆ)を求める(もとめる)ことができない
6. 安全(あんぜん)なところまで、すばやく避難(ひなん)することができない
7. 被害(ひがい)状(じょう)況(きやう)、避難場所(ひなんばしょ)などの情(じやう)報(ほう)が手(て)に入れ(い)られない
8. 周囲(しゅうい)とコミュニケーションがとれない
9. 避難場所(ひなんばしょ)の設(せつ)備(び) (トイレ等(とう))が不安(ふあん)
10. 避難場所(ひなんばしょ)の生(せい)活(かつ)環(かん)境(きやう) (他人(たにん)との関(か)わり等(とう))が不安(ふあん)
11. その他(その他( ))

草津市の障害者施策についてお聞きします

問46 下記の草津市障害者計画（後期計画）の施策の体系を御参考にお答えください。各施策についてどれくらい満足していますか、またどれくらい重要だと思えますか。

草津市障害者計画（後期計画）の施策の体系

<p>1. 障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実</p>	<p>1-1 日常生活の基本を守る 取り組みの充実</p>	<p>①訪問系・日中活動系サービスの充実 ②居住系サービスの充実 ③地域生活支援事業の充実 ④発達支援センターの取り組みの推進 ⑤障害福祉サービス等の適正な運営 ⑥家族等への支援 ⑦基本的な生活に係る経済的支援</p>
	<p>1-2 健やかに生きるための 取り組みの充実</p>	<p>①疾患の予防と早期発見・早期対応 ②精神疾患の予防と早期対応 ③いのちと健康を守る保健・医療対応等の充実</p>
	<p>1-3 安心してともに育ち学べる 保育・教育環境の整備</p>	<p>①就学前教育保育の充実 ②学校教育の充実 ③生涯を通じる、一貫した発達・学習支援体制づくり ④保育士・教職員の資質向上 ⑤保育・学習環境の基盤</p>
	<p>1-4 遊びや文化・スポーツ活動等に 参加し親しみ機会づくり</p>	<p>①障害者福祉センター・余暇活動支援センター等の取り組みの推進 ②スポーツ、レクリエーション活動への支援 ③参加のバリアの解消</p>
	<p>1-5 社会参加と自己実現の ニーズへの対応強化</p>	<p>①就労相談の充実 ②一貫就労の確保 ③福祉的就労の場等の充実 ④就労に向けた訓練の充実 ⑤職場定着への支援 ⑥就労支援体制の充実</p>
	<p>1-6 安心・安全に暮らせる 地域づくり</p>	<p>①防犯対策、防災・災害時対策の充実 ②孤立化を防ぐ取り組みの推進 ③地域福祉活動の推進</p>
	<p>1-7 相談支援体制の充実と 情報発信の強化</p>	<p>①相談支援・ケアマネジメントの充実 ②情報発信の強化</p>
<p>2. 障害と障害のある人への理解の促進と尊厳の保持</p>		<p>①障害者の人権や障害に対する教育・啓発活動の充実 ②ふれあい・交流の機会拡充 ③当事者団体活動等の促進 ④権利擁護システムの充実 ⑤虐待防止対策の充実</p>
<p>3. 福祉のまちづくりの推進</p>		<p>①当事者の参画による福祉のまちづくりの推進 ②住居・住まわりのバリアフリー化 ③コミュニケーション支援事業の充実 ④障害のある人の外出・移動の確保</p>

①から⑨のそれぞれについて、「満足度」と「重要度」の両方を回答（番号に○）してください

	満足度					重要度				
	満足	ど ご ざ ら か と い え ば	普通	やや 不 満	不 満	重要	やや 重要	普通	あまり 重要 でない	重要 でない
記入例	いずれかに必ず○をしてください。					いずれかに必ず○をしてください。				
① 日常生活の基本を守る 取り組みの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
① 日常生活の基本を守る 取り組みの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 健やかに生きるための 取り組みの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 安心してともに育ち学 べる保育・教育環境の 整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 遊びや文化・スポーツ活 動等に参加し親しむ機 会づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 社会参加と自己実現の ニーズへの対応強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 安心・安全に暮らせる地 域づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ 相談支援体制の充実 と情報受発信の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧ 障害と障害のある人 への理解の促進と尊厳 の保持	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨ 福祉のまちづくりの 推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

さいご しょうがいふくし ぎょうせい とく なに ごいけん じゆう ご  
最後に、障害福祉サービスや行政の取り組みについて、何か御意見がありましたら、自由に御  
記入ください。

しつもん いじょう ごきょうりょく  
質問は以上です。御協力ありがとうございました。

②難病認定者対象；一部

ふくし かん ちょうさひょう  
福祉に関するアンケート調査票

みなさま ひごろ しらくしぎょうせい こきょうりょく  
皆様には日頃から市福祉行政に御協力をいただき、ありがとうございます。

ちょうさ こんごさくてい よてい しょうがいしゃけいかく しょうがいふくしけいかく しりょう  
このアンケート調査は、今後策定を予定している「障害者計画」「障害福祉計画」の資料  
くさつし ふくし すず うえ きちょう しりょう  
となるほか、草津市が福祉を進める上での貴重な資料となります。

ちょうさ たいしょう しんたいしょうがいしゃてちょう も ひと いちぶ ひと りょういくてちょう せいしん  
調査の対象は、身体障害者手帳を持っている人のうちの一部の人、療育手帳・精神  
しょうがいしゃほけんふくしてちょう とくていしっかん していなんびょう いりょうじゆきゆうしゃしょう も すべ ひと  
障害者保健福祉手帳、特定疾患（指定難病）医療受給者証を持っている全ての人です。

くさつし こきょうりょく ねが  
よりよい草津市をつくるため、御協力をいただきますようお願いいたします。なお、  
くさつしこじんじょうほうほ こじょうれい もと じゅうぶんちゅうい  
草津市個人情報保護条例に基づき、プライバシーには十分注意いたします。

ごきにゅう ねが  
＜御記入にあたってのお願い＞

- このアンケートには、お名前を書いていただく必要はありません。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的に  
ないよう ごきにゅう  
その内容を御記入ください。
- ごきにゅう いっしょ はい ろうとう い きって は  
御記入いただきましたアンケートは、一緒に入っていた封筒に入れて、切手を貼らず  
へいせい ねん がつ にち い  
に平成29年1月31日までに、ポストに入れてください。

ちょうさ かん と あ か き ねが  
【この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします】  
しがけんくさつしくさつさんちょうめ ほん ごう くさつしけんこうふくしじやうがいはくしか  
滋賀県草津市草津三丁目13番30号 草津市健康福祉部障害福祉課  
でんわ  
電話：(077) 561-2363 ファクス：(077) 561-2480  
でんし  
電子メール：shogaifukushi@city.kusatsu.lg.jp

へいせい ねん がつ くさつし  
平成29年1月 草津市

くさつしやくしょ そうつ どうよう すて こかいとう  
草津市役所から送付された同様のアンケートに、既に御回答になりましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

こた ひつよう こへんそう  
お答えいただく必要はありません。そのまま御返送ください。

とひ どう こた  
問1 当アンケートにお答えいただくのはどなたですか。(Oは1つだけ)

1. 御本人	2. 父母
	3. 祖父母
	4. きょうだい
	5. 家族以外の介助者など
	6. その他 ( )

ごほんにんがいがいの かた こた  
御本人以外の方がお答えいただく  
場合は、わかる範囲でご本人の  
状況についてお答えください。

あなた (宛名の方) の年齢・性別などについてお聞きします

とひ ねんれい こた へいせい ねん がつまつじつげんざい  
問2 あなたの年齢をお答えください。(平成28年11月末日現在)

まん  さい  
満 歳

とひ せいべつ こた  
問3 あなたの性別をお答えください。(Oは1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

とひ げんざい いっしょく ひと  
問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてにO)

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「6」にOをつけてください。

1. 父母	6. 家族以外の人
2. 祖父母	7. いない(一人で暮らしている)
3. きょうだい	8. その他 ( )
4. 配偶者(夫または妻)	
5. 子ども	

とひ こた かた  
(問4で「1」～「5」を答えた方)

とひ げんざい いっしょく かせく ふく なんにん  
問5 現在、一緒に暮らしているあなたの家族は、あなたを含め何人ですか。

あなたを含め  人家族

※3 ページ以降、障害者手帳所持者対象調査票と同一。

### ③市民対象

## 草津市障害者保健福祉に関する調査

御協力をお願い

皆様には日頃から市福祉行政に御協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、今後策定を予定している「障害者計画」「障害福祉計画」の資料となるほか、草津市が福祉を進める上での貴重な資料となります。

調査の対象は、住民基本台帳から無作為にお選びした 1,000 人の市民の方です。

よりよい草津市をつくるため、御協力いただきますようお願いいたします。なお、草津市個人情報保護条例に基づき、プライバシーには十分注意いたします。

### <御記入にあたってのお願い>

- 1 このアンケートには、お名前を書いていただく必要はありません。
- 2 お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。また、記入欄には、具体的にその内容を御記入ください。
3. 御記入いただきましたアンケートは、一緒に入っていた封筒に入れて、切手を貼らずに平成 29 年 1 月 31 日までに、ポストに入れてください。

【この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします】

滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号 草津市健康福祉部障害福祉課  
電話：(077) 561-2363 ファクス：(077) 561-2480  
電子メール：shogaifukushi@city.kusatsu.lg.jp

平成 29 年 1 月 草津市



問7 次の言葉を知っていますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ノーマライゼーション	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった
バリアフリー	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった
ユニバーサルデザイン	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった
障害者週間	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった
障害者差別解消法	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった
障害者虐待防止法	1. 知っていた	2. まあ知っていた	3. 知らなかった

◆用語説明

【ノーマライゼーション】：ノーマライゼーションとは、一般的には「障害のある人を含む社会的支援の必要なすべての人達に、普通の市民の通常の生活状態を提供すること」を目的として掲げる概念であり、通常化や正常化等と邦訳されます。1950年代のデンマークで知的障害者に対する巨大な収容施設保護による諸弊害の批判や反省の中から誕生し、60年代以降スウェーデンその他の北欧諸国に波及して、今日では国際的に普及しています。

【バリアフリー/ユニバーサルデザイン】：バリアフリーとは、もともと建築物や道路において段差など移動に係る物理的な障壁（バリア）を取り除くことを指しますが、ノーマライゼーションの考え方の普及等に伴って、徐々に意味・内容が拡大され、今日では、障害のある人の社会参加の障壁となるもの全般を取り除くことをいい、障壁には、物理的なものだけでなく、社会的、心理的、制度的なものをも含みます。また、バリアフリーに類してユニバーサルデザインという考え方があり、こちらは「できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること」と定義されます。バリアフリーが障壁に対処するのに対して、ユニバーサルデザインは障害の有無、年齢、性別、国籍、人種等にかかわらず多様な人々が気持ちよく使えるようにあらかじめ都市や生活環境を計画する考え方です。

【障害者週間】：国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」（12月9日）に代わるものとして設定されました。「障害者週間」の期間は、毎年12月3日から12月9日までの1週間です。この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等においては、様々な意識啓発に係る取り組みを展開します。

【障害者差別解消法】：国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成25年6月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定され、平成28年4月1日から施行されました。

【障害者虐待防止法】：この法律は平成23年6月24日に公布され、平成24年10月1日から、国や地方公共団体、障害者福祉施設従事者等、使用者などに障害者虐待の防止等のための責務を課すとともに、障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した者に対する通報義務を課すなどしています。

問8 障害のある人々に関わるボランティア活動や交流活動(イベント等)について関心がありますか。以下のそれぞれについて、当てはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

【ガイドヘルプ（外出時の介助・誘導・見守り）】

1. とてもある	2. まあまあある	3. あまりない
4. 全くない	5. わからない	

【手話通訳】

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. あまりない |
| 4. 全くない  | 5. わからない  |          |

【要約筆記】

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. あまりない |
| 4. 全くない  | 5. わからない  |          |

【点訳・朗読】

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. あまりない |
| 4. 全くない  | 5. わからない  |          |

【社会福祉施設等でのボランティア（話し相手、講師、介助援助、行事手伝い等）】

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. あまりない |
| 4. 全くない  | 5. わからない  |          |

【草津市主催のイベントなど（支援、参加等）】

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. あまりない |
| 4. 全くない  | 5. わからない  |          |

問9 障害のある人となない人が、お互いに理解し合うために重要だと思うことは次のうちどれだと思いますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 福祉についての教育を充実させる                     |
| 2. 障害のある人となない人の交流の機会（イベント等）を増やす        |
| 3. ボランティア活動を盛んにする                      |
| 4. さまざまな催しなどの情報を市民のみなさんにお知らせする方法を充実させる |
| 5. 手話や点字等の障害のある人の生活に役立つ技術を教える講座を充実させる  |
| 6. その他（ )                              |

■障害者福祉について、御意見等がございましたら自由に御記入ください。

.....
.....
.....

質問は以上です。御協力ありがとうございました。